

Zoomをカメラオンで参加のお願い



本日、皆様と円滑なコミュニケーションを図り、実りある会議にするため、大変恐縮ですが、全員の方に「カメラオン」での参加をお願いしております。

お手数をおかけして誠に申し訳ございませんが、何卒ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



カメラオフでのご参加は
ご遠慮いただいております。



目のたるみとほろい、線

を理解する

オンラインセミナー



Zoomをカメラオンで参加のお願い



本日、皆様と円滑なコミュニケーションを図り、実りある会議にするため、大変恐縮ですが、全員の方に「カメラオン」での参加をお願いしております。

お手数をおかけして誠に申し訳ございませんが、何卒ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



カメラオフでのご参加は
ご遠慮いただいております。





よろしく
お願いします

目のたるみとほろい、線

を理解する

オンラインセミナー



鈴木 正道

経歴：2008年 理学療法士免許取得

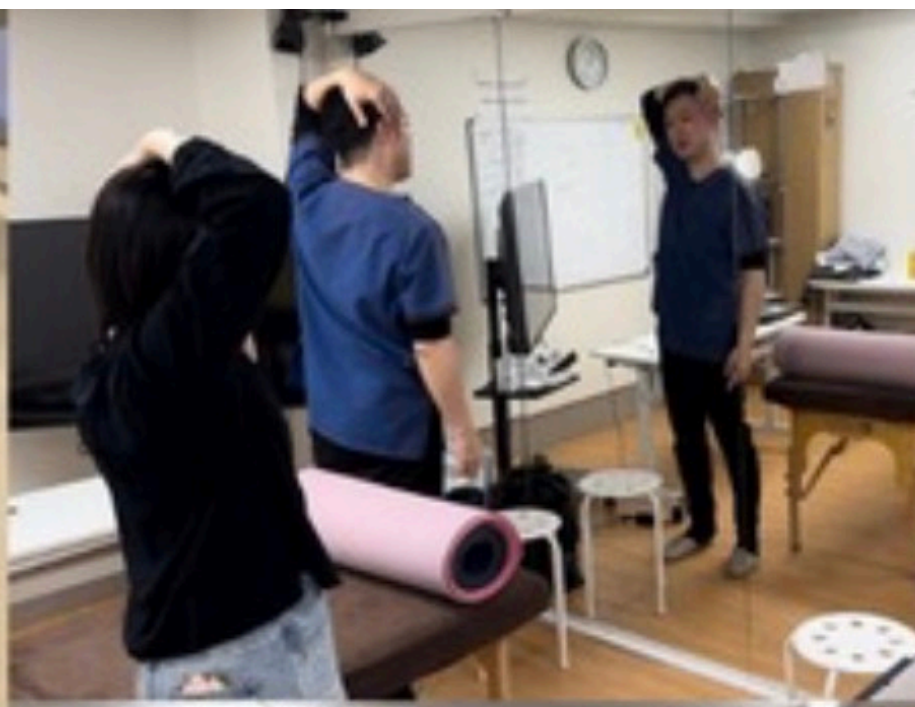
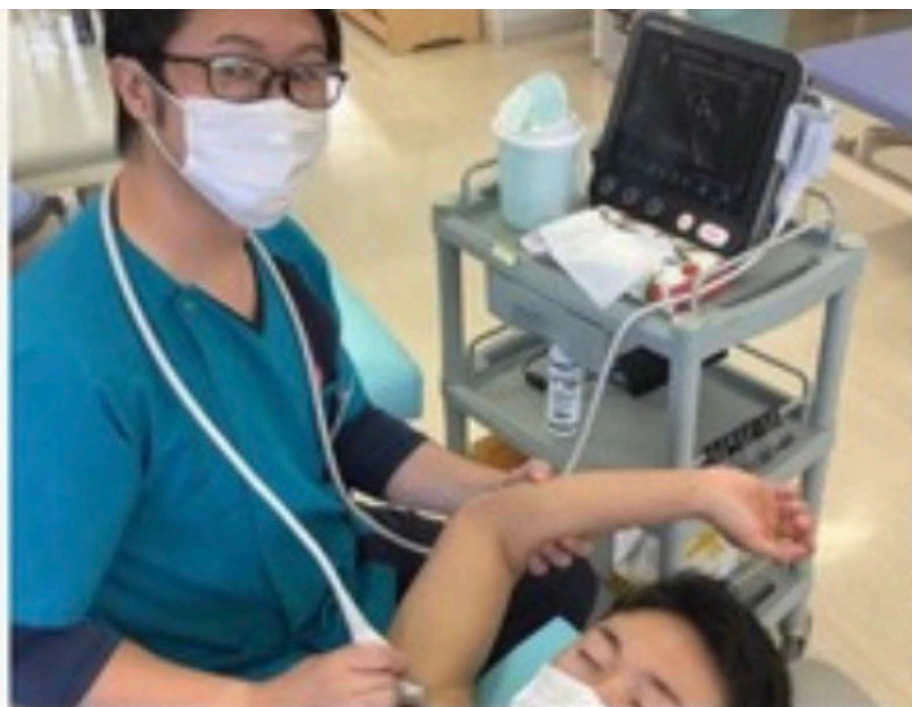
理学療法士としてリハ病院、整形外科にて管理職を経験、中枢神経疾患、難病、整形外科患者のリハビリを行う。

2016年美容整体サロンリセットボディ開院

2017年よりAllアプローチ協会関東支部長に就任頭蓋内臓心理学セミナー、栄養セミナー講師、小顔整体セミナー講師。

2023年整体・ピラティススタジオオークセラピーラボテクニカルアドバイザー就任

2024年セラピストライフ美容整体、小顔整体講師就任



内臓治療×頭蓋仙骨療法で自律神経障害 に対応できるセラピストになりませんか？

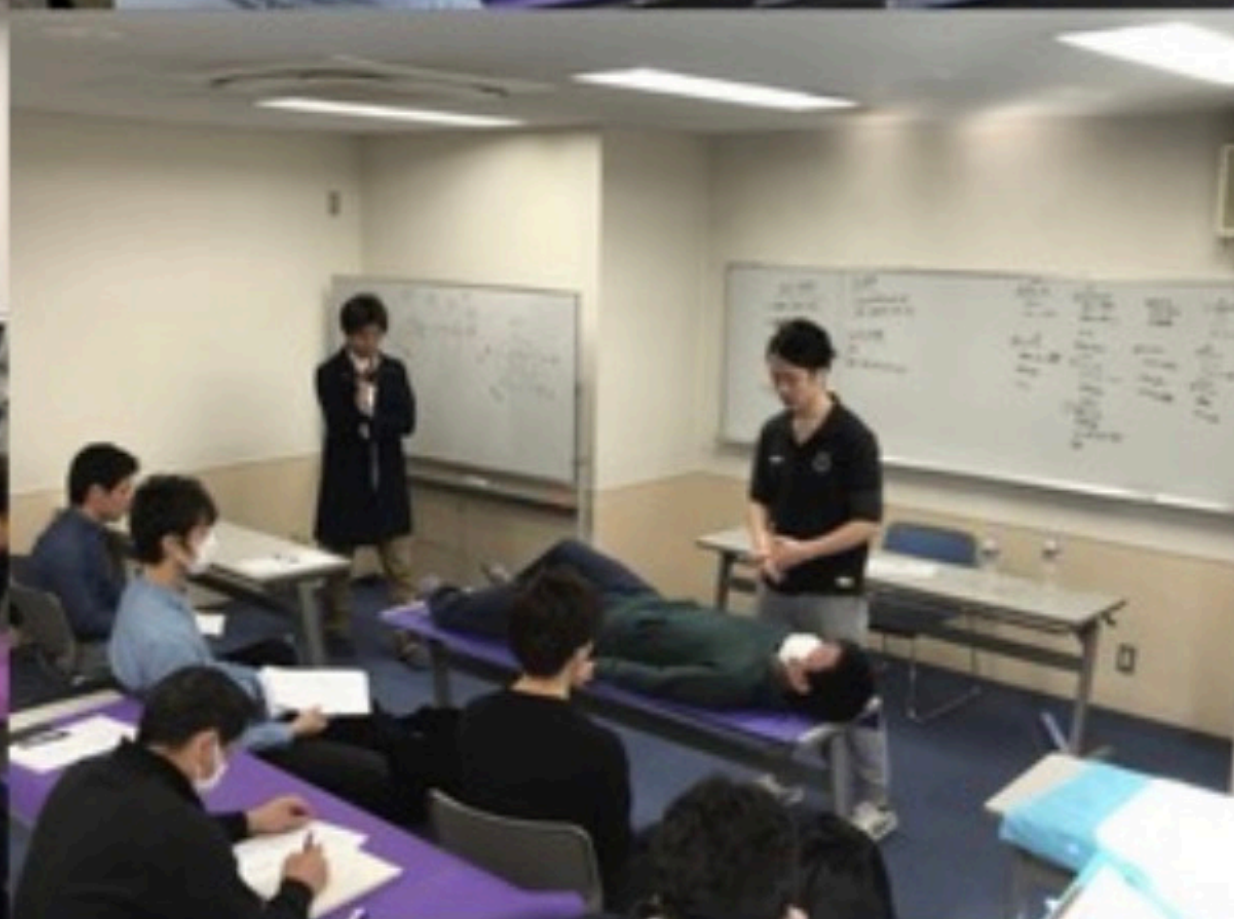
～筋膜・骨格治療だけでは治せない～

- ・便秘・冷え性・頭痛・アレルギー・花粉症
 - ・生理痛・PMS・浮腫・リウマチ・風邪・精神病など
- 症状別の対応策・アプローチを完全指導

「内臓治療×頭蓋仙骨療法セミナー」

自律神経障害をマスターするための講座

【人数限定】でオンライン開催決定



栄養学を学び患者様に根本的治療を
したいと思っているあなたへ

栄養学プロフェッショナル認定コース

基礎栄養学

ファスティング

酵素栄養学

スポーツ栄養学

分子栄養学

栄養指導スキル

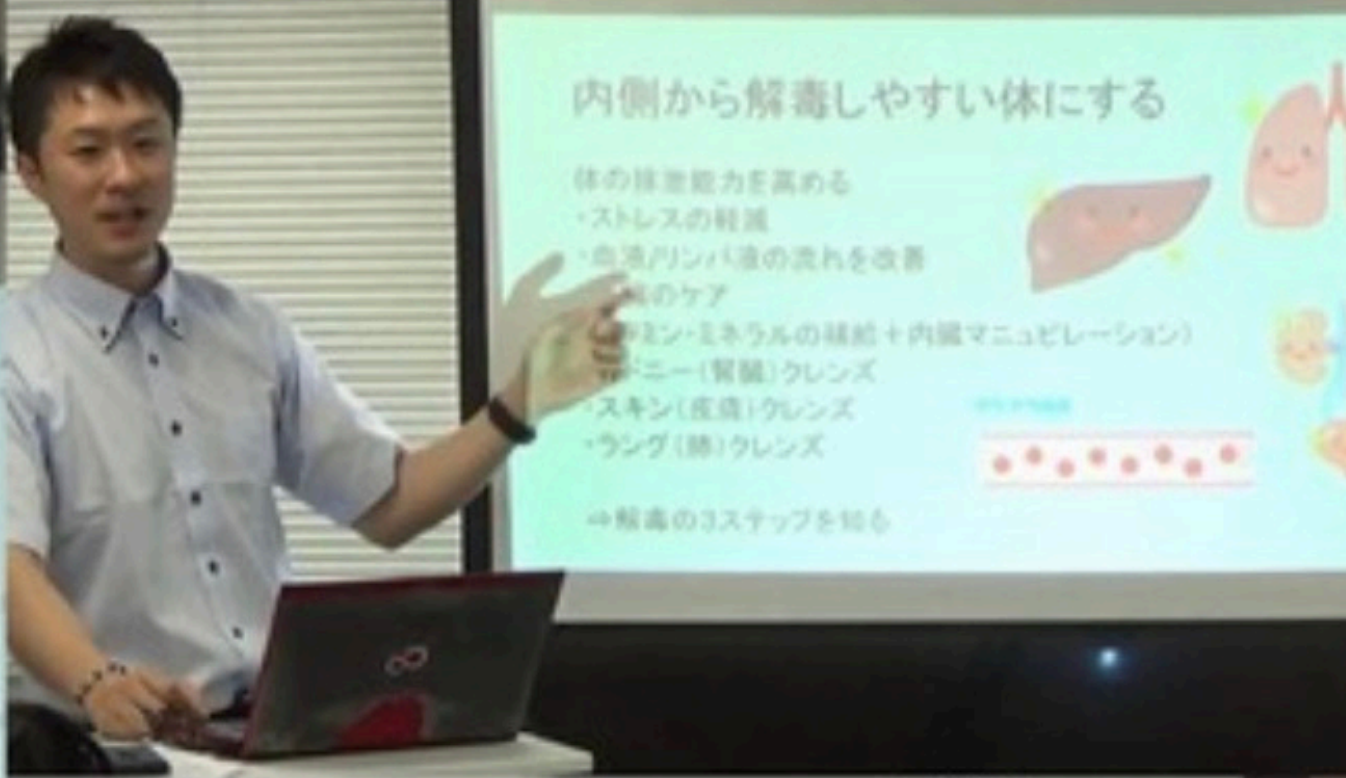
自律神経障害から見た栄養スキル

7つの栄養学が全て学べる
唯一の栄養実践型セミナー

数百万以上かけた栄養指導ノウハウを全て伝授!!

、今なら7大特典 + WEBセミナー付き /

臨床を栄養学で大幅に変える4ヶ月コース



目的別の脳波に導ける


瞑想ファッショナルヘッドエステ

たった5分でお客さん
完全熟睡

— 最新の —

瞑想ファッショナルヘッドエステセミナー





目注NGなパターン、SIBO

芸能人にも実践してる

小顔矯正

テクニック

無料で学べる小顔矯正セミナー

セラピストライフ 鈴木正道

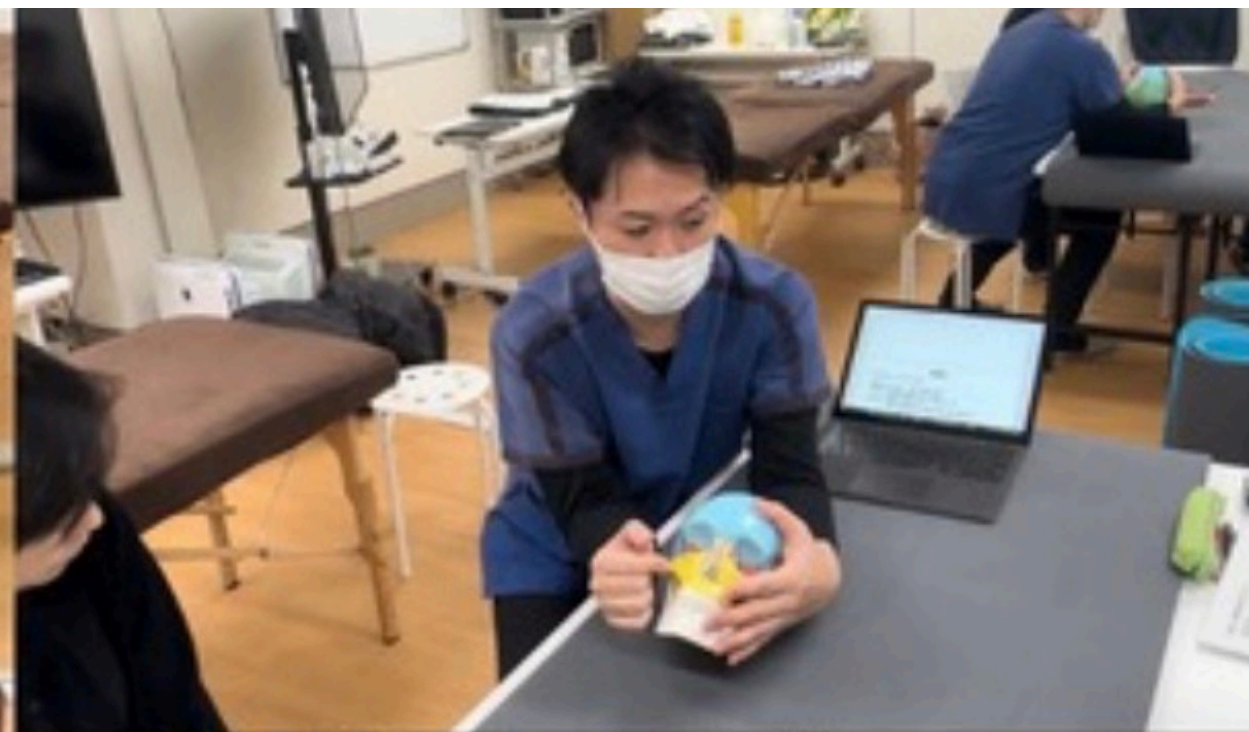
未経験素人から施術単価3万円を実現!



今だけ 21大特典

スキル アップ

セミナー 無料招待



小顔矯正の基本的な流れ

小顔の基本

← リスク・注意点(原理・原則)

全体像 ←

・解剖

(リンパ、皮膚、筋肉、靱帯)

・運動

(筋の作用、代償動作)

・生理

(美容栄養、皮膚の生理、

細胞の生理、自律神経背景)

←

病理

・ほうれい線

・フェイスライン

・クマ

・ゴルゴライン

・マリオネットライン

・眉間やおでこのシワ

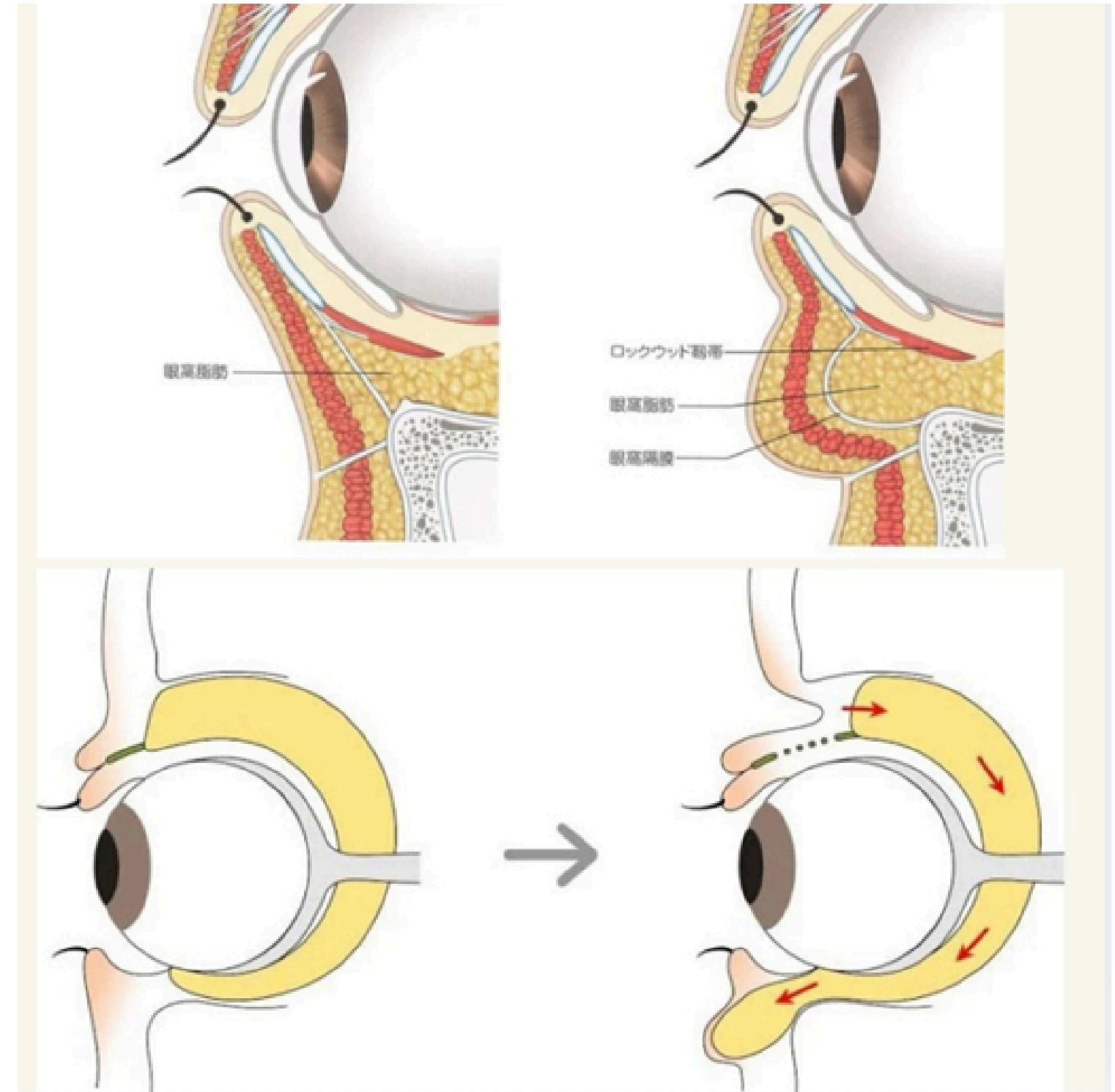
←

明
メカニズムを解剖・生理・運動学的に説

←

評価・治療・テクニック・トレーニング

バギーアイ

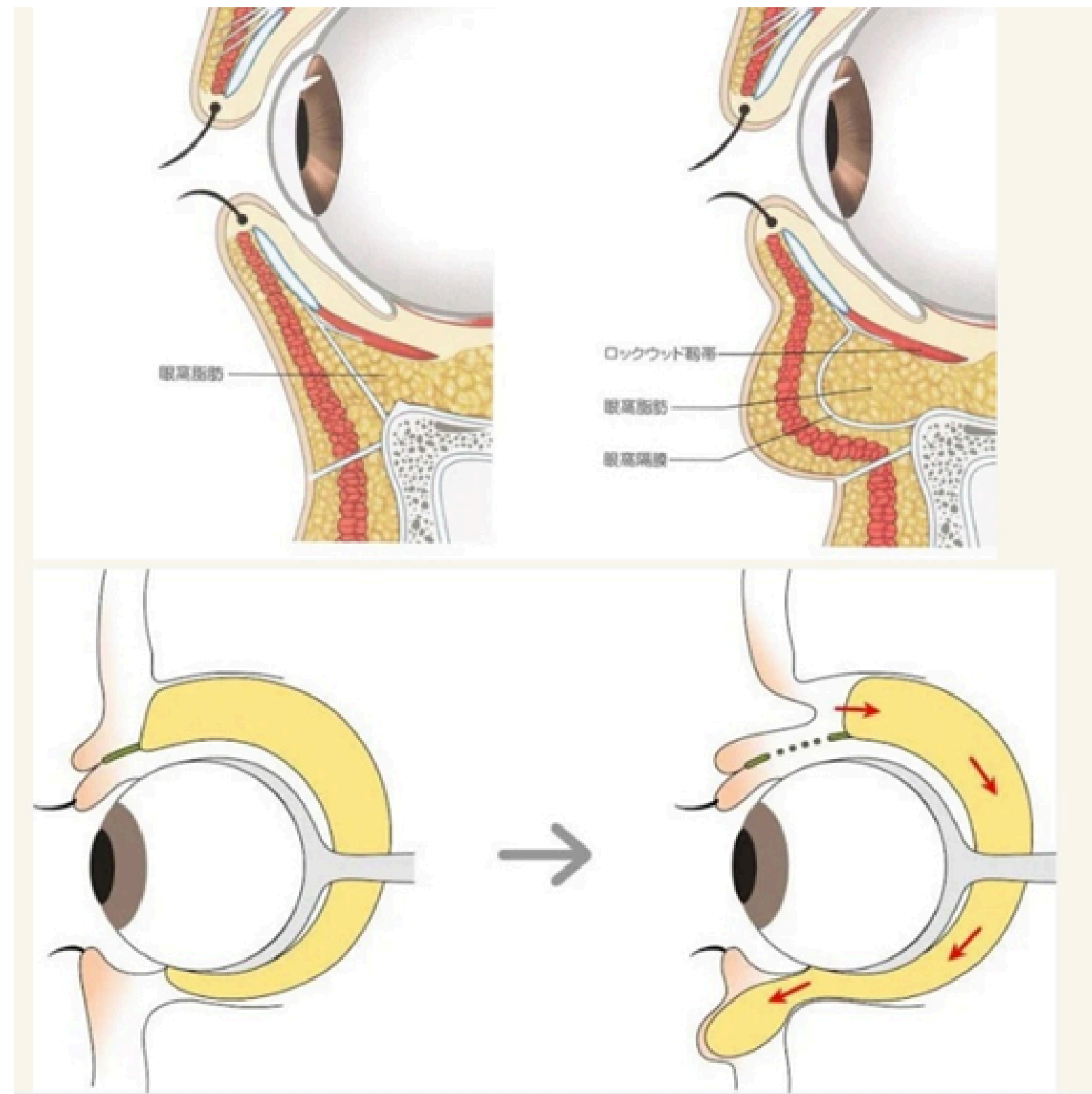


1：目の周りの加齢変化

- ①側頭骨や頬骨の萎縮による目の**外側の皮膚**の下垂
- ②眼瞼を挙上する構造の変化による眼瞼下垂
- ③**下瞼（したまぶた）の突出**
- ④目周りの皮膚の弛緩によるシワや小じわの出現
- ⑤シミや慢性炎症の結果として目周りに起こる色素沈着
- ⑥毛包の老化によるまつ毛の萎縮

③下瞼の突出については

下瞼の皮膚の弾力性の低下、眼輪筋の萎縮や弛緩などが組み合わさり、下眼瞼の脆弱性が生じる。これらの結果、眼窩脂肪が下眼瞼の皮下に突出し皮膚が裏側から圧排されることでBaggy eyelidと呼ばれる変化が起きます。
(瞼が袋状に膨らんだ状態)

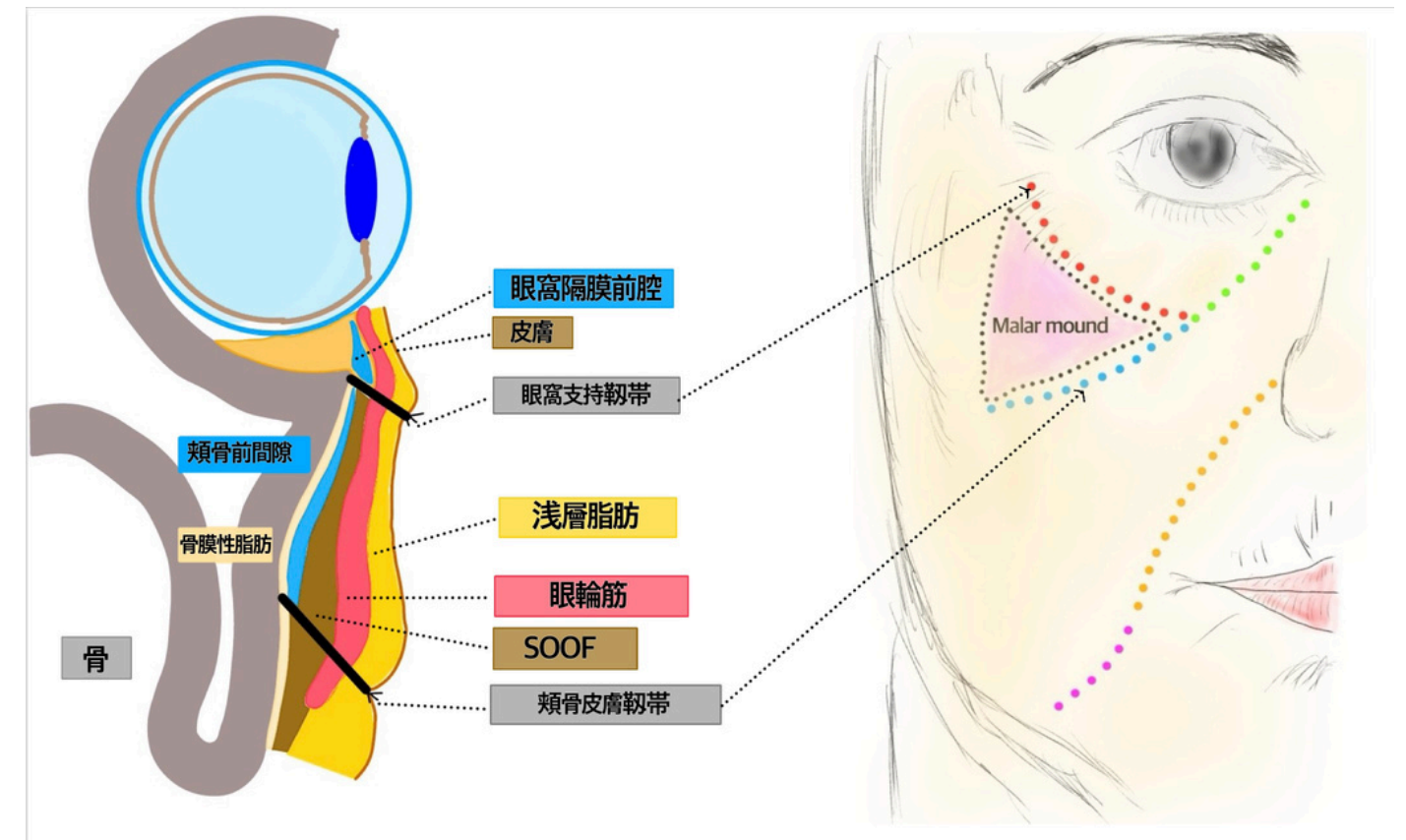


2：バギーアイの原因

Baggy eyelidはGoldbergらの報告では、以下の6つの要因が複合して生じていると報告されています。

- **眼窩脂肪の脱出**
- 眼瞼の浮腫
- **ティアトラフの陥凹増大**
(目頭の下から斜め下に向かって走るくぼみ)
- **皮膚弾性の低下**
- 眼輪筋の突出
- Malar moundの三角形の隆起

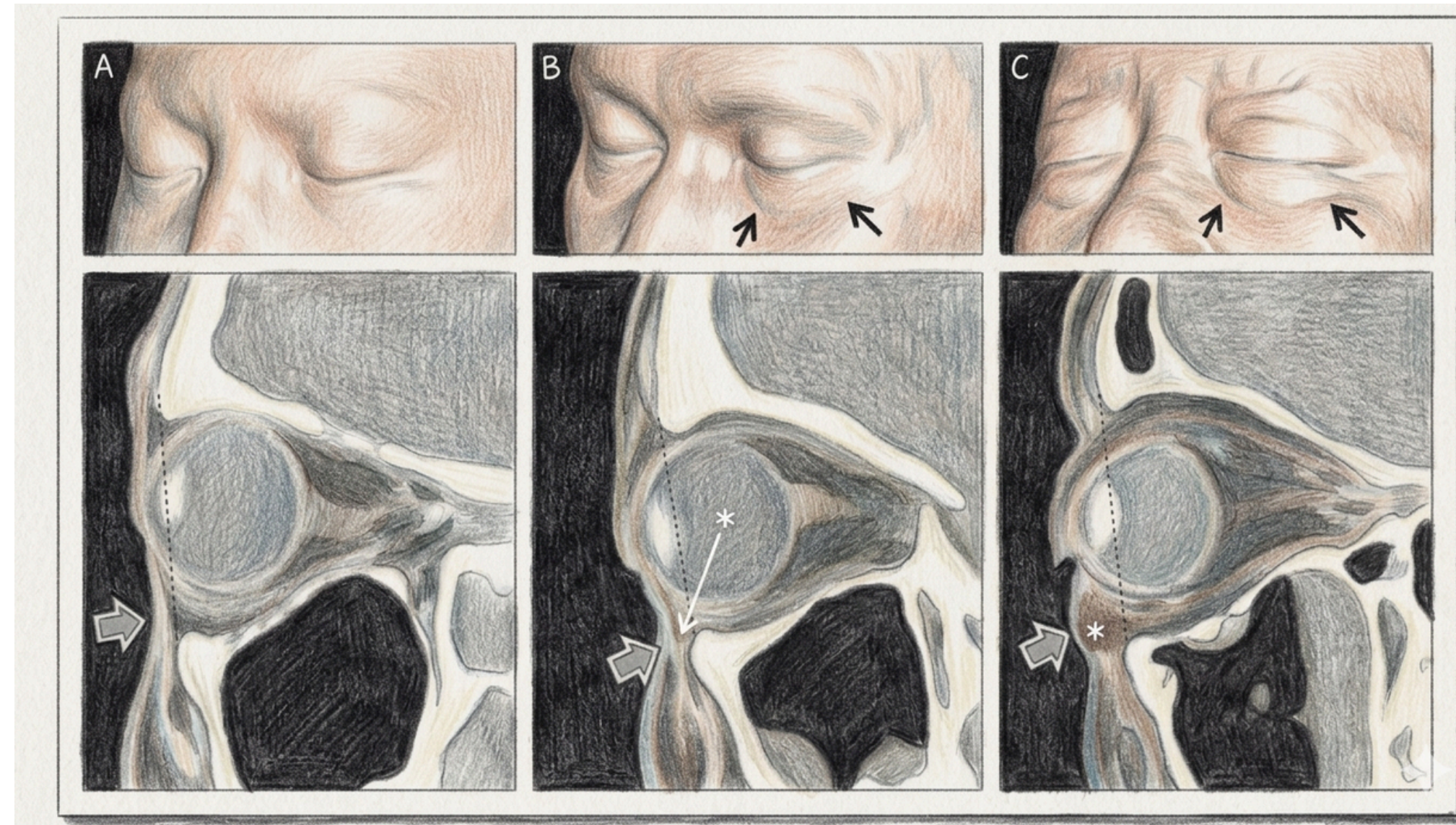
そのうえでGoldbergは、baggy eyelidの増大に大きな影響があるのは前述の6つの要因のうち、眼窩脂肪の脱出と下眼瞼の皮膚の弛緩、tear troughの陥凹増大の3つだと考察している。



さらに奥田らの報告では、

眼窩脂肪の突出は眼輪筋の非薄化と強い相関があり、
CT/MRIでの画像解析での研究報告があり、
年代別にみると眼輪筋の厚みは
20～29歳で平均値2.7mm前後であるが
30～54歳で2.2mm前後、
55～79歳で1.7mm前後となり、

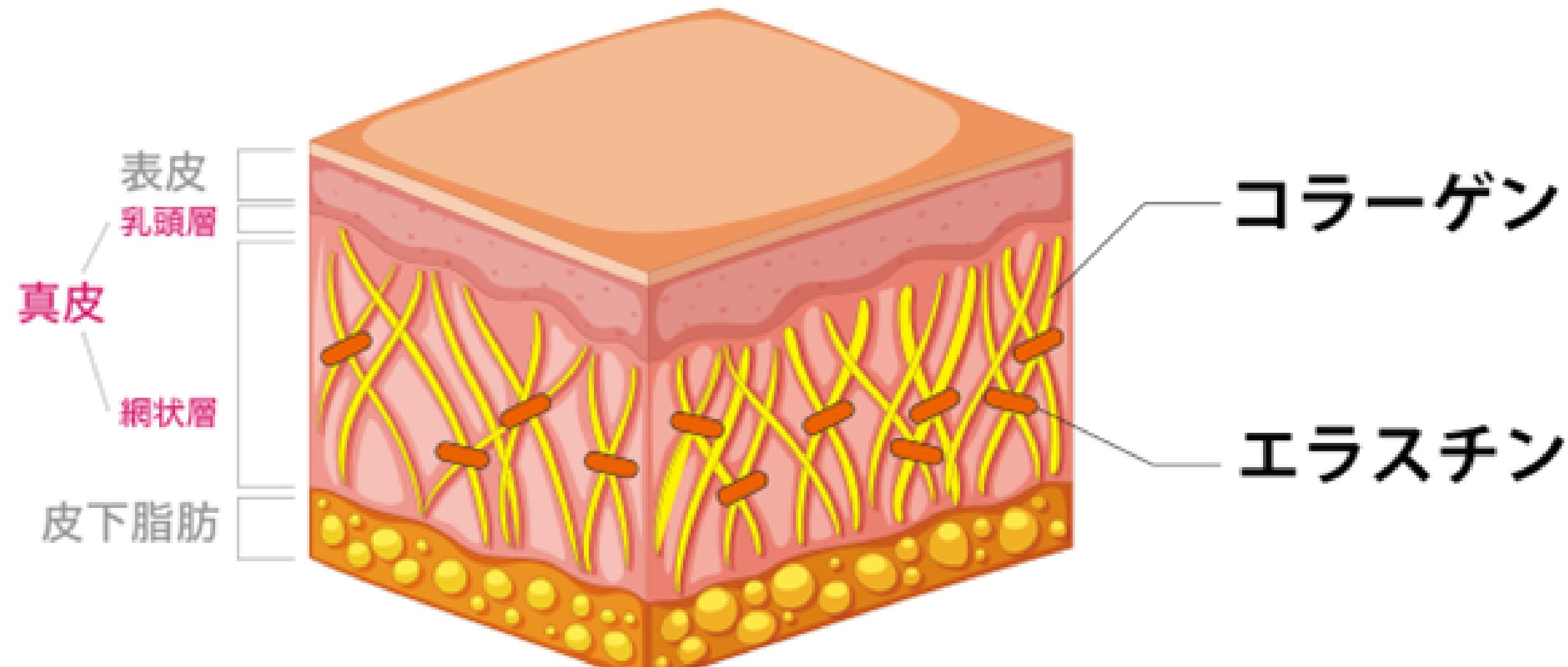
眼窩脂肪の突出度は
20～29歳で平均値1.6mm前後であるが、
30～54歳で3.3mm前後、
55～79歳で5.7mm前後となり、
その傾向は年齢を重ねると
顕著になっていると報告している。



3：目の周りの皺ができるメカニズム

露光部では表面から1～3mm程度の真皮内の深さに日光性弾性繊維変性が起き、非露光部より早く弾性繊維の機能は失われ、本来皮膚の伸展後に収縮するはずの部分が伸びきった状態となる。

結果として伸びきった部分の余分の真皮網状層が折れ曲がり、シワが形成される。加えて繰り返される運動負荷などにより、真皮網状層の膠原繊維側の配列の不均一性が増し、さらにシワが深く大きくなる。

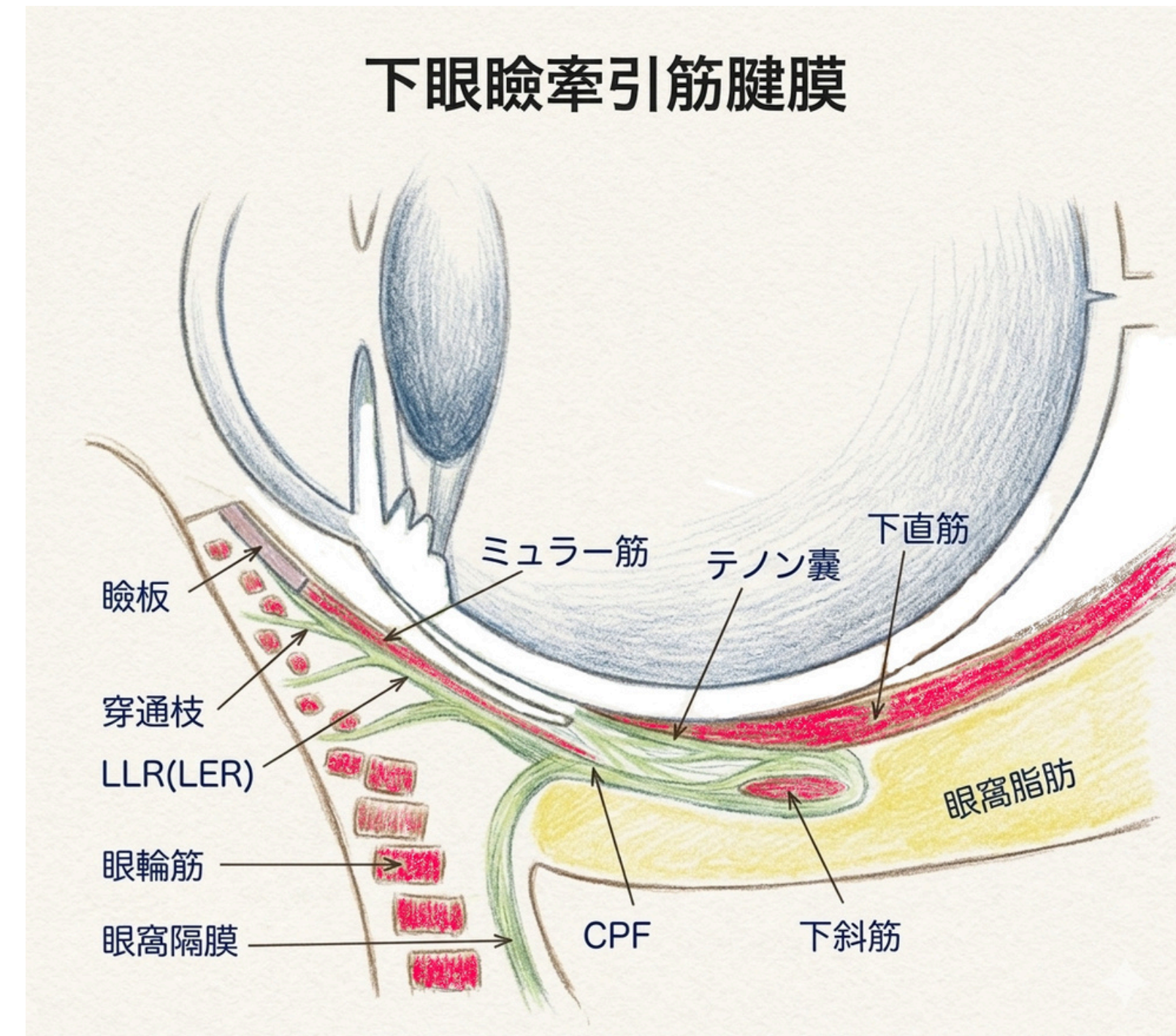


4：下眼瞼筋という構造を調べてみた

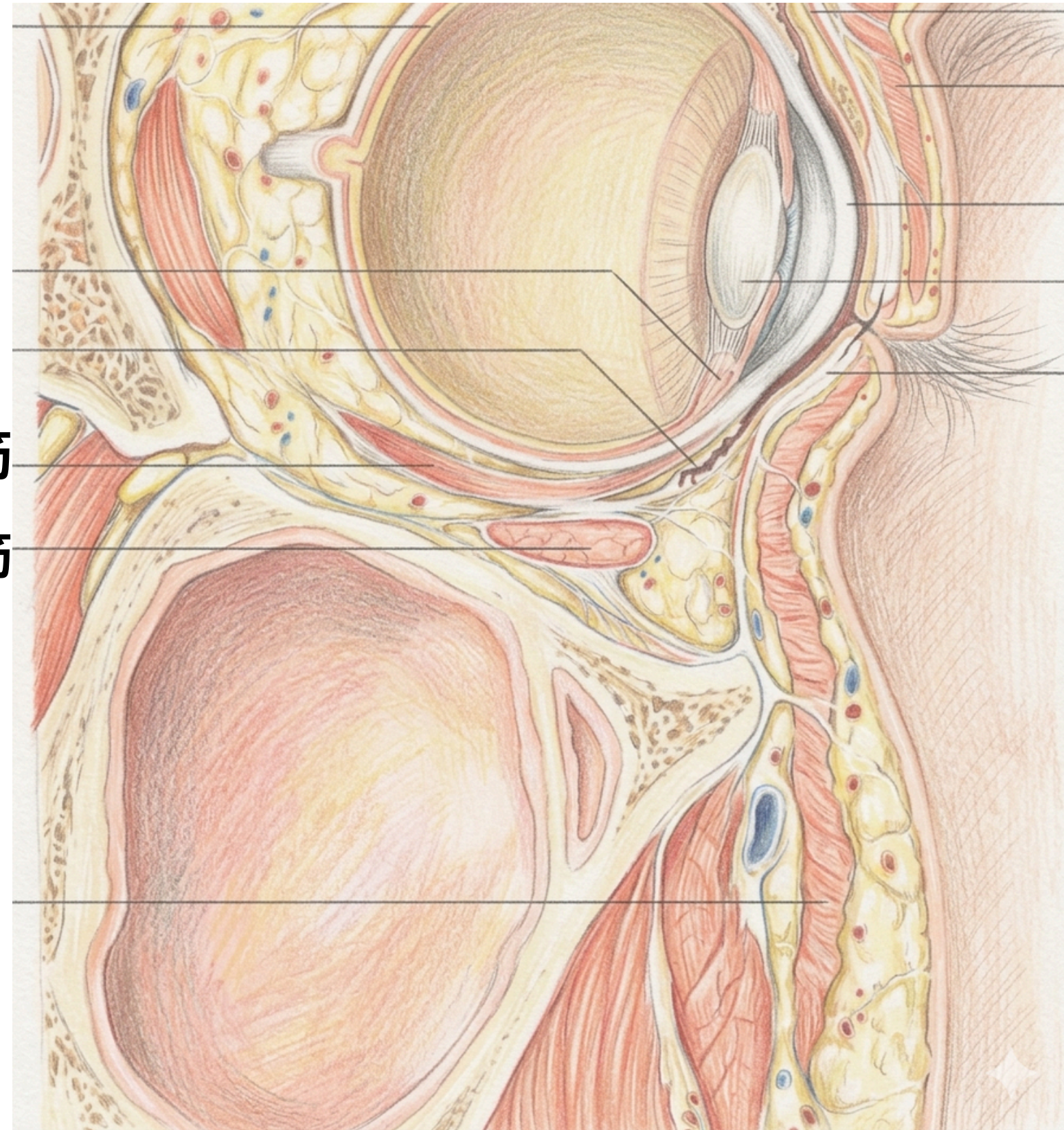
下眼瞼牽引筋腱膜（LER：Lower Eyelid Retractor）

下直筋と下斜筋を包む結合組織から下眼瞼の瞼板に延びる繊維性の膜はCPF（CapsuloPalpebral Fascia）と呼ばれ、これに平滑筋であるミュラー筋も含めた複合組織がLERで、このLERが瞼板を引き、下瞼を下方に牽引しています。

LERからは眼輪筋の間を通過して、皮膚に向かう穿通枝が伸びて皮膚の緊張を保っているため、目のたるみとの関与も深いと考えられます。

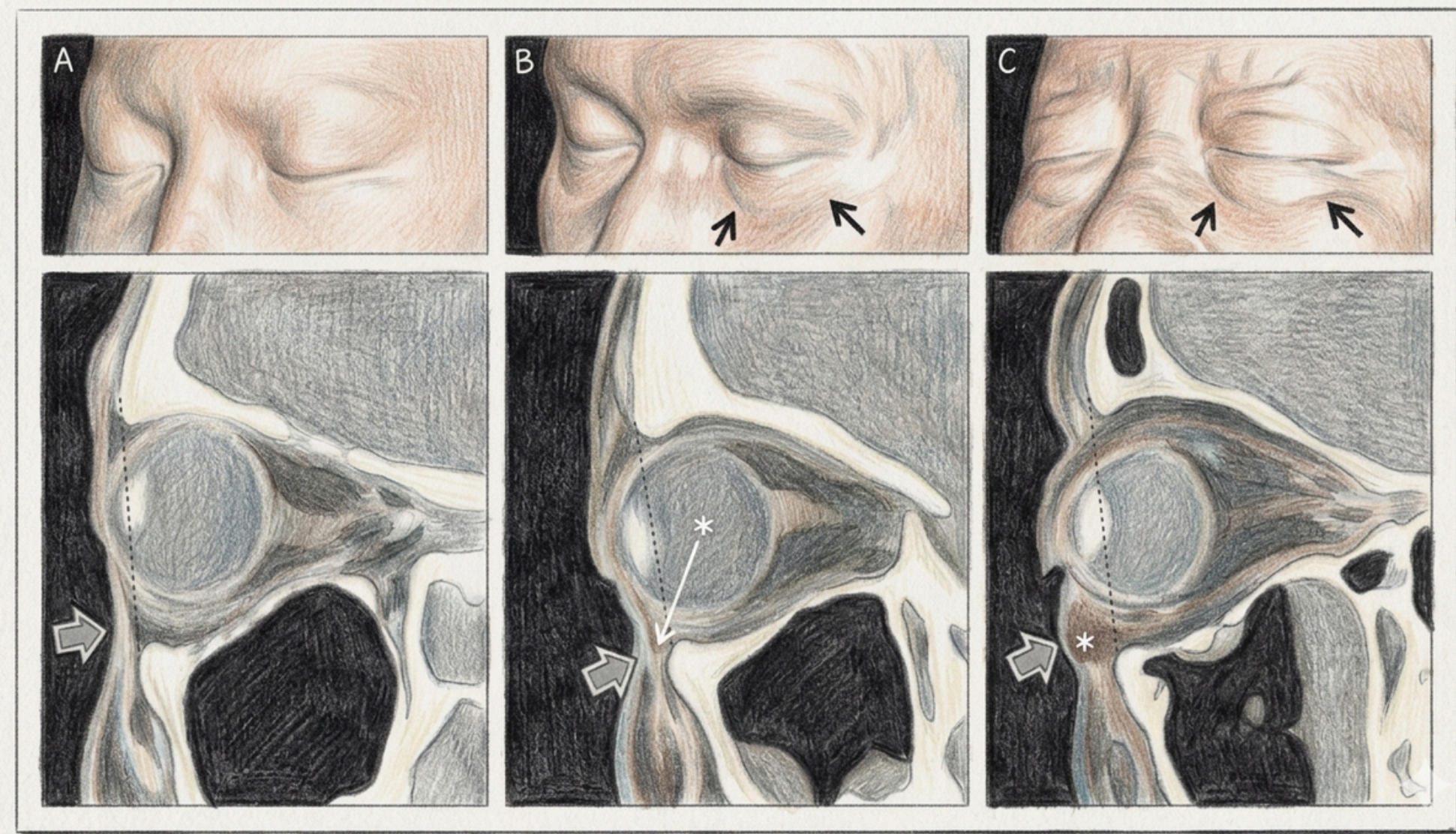


LERと外眼筋と脂肪



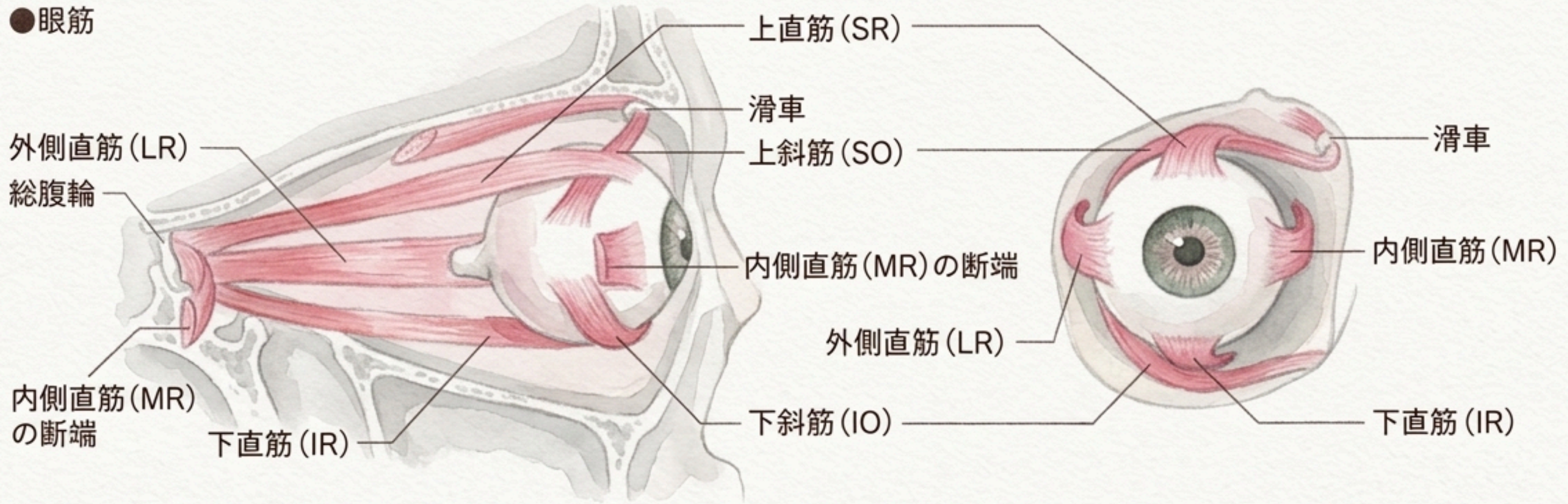
下直筋

下斜筋



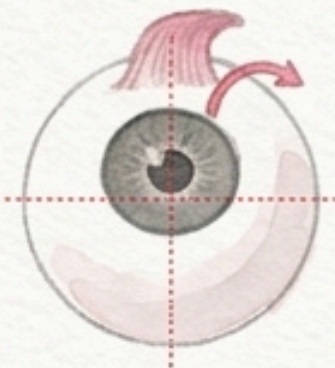
5 : バギーアイと外眼筋の考察

●眼筋



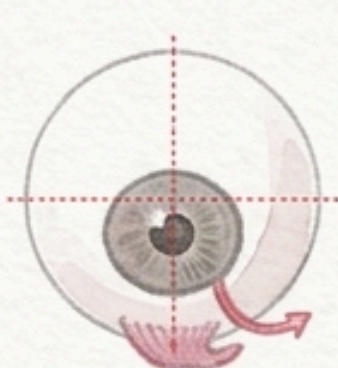
●眼筋の作用

上直筋 (SR)
superior rectus m.



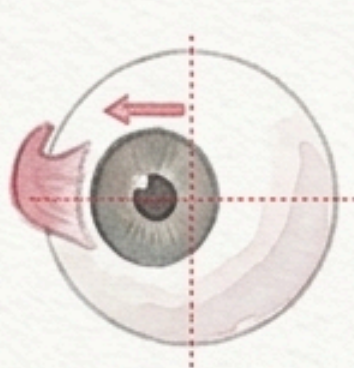
作用：上転、
内転、内旋

下直筋 (IR)
inferior rectus m.



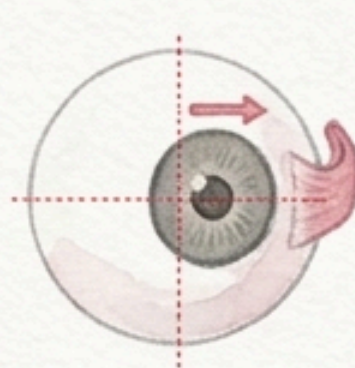
作用：下転、
内転、外旋

外側直筋 (LR)
lateral rectus m.



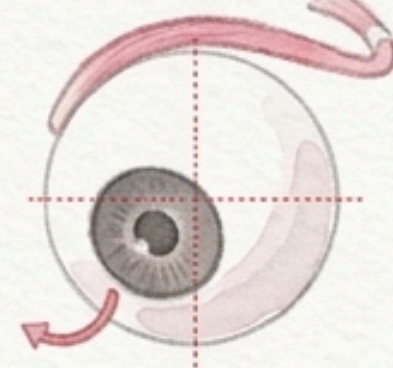
作用：外転

内側直筋 (MR)
medial rectus m.



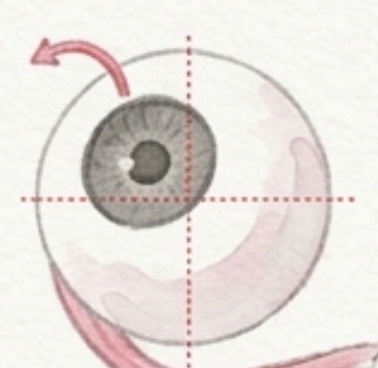
作用：内転

上斜筋 (SO)
superior oblique m.



作用：下転、
外転、内旋

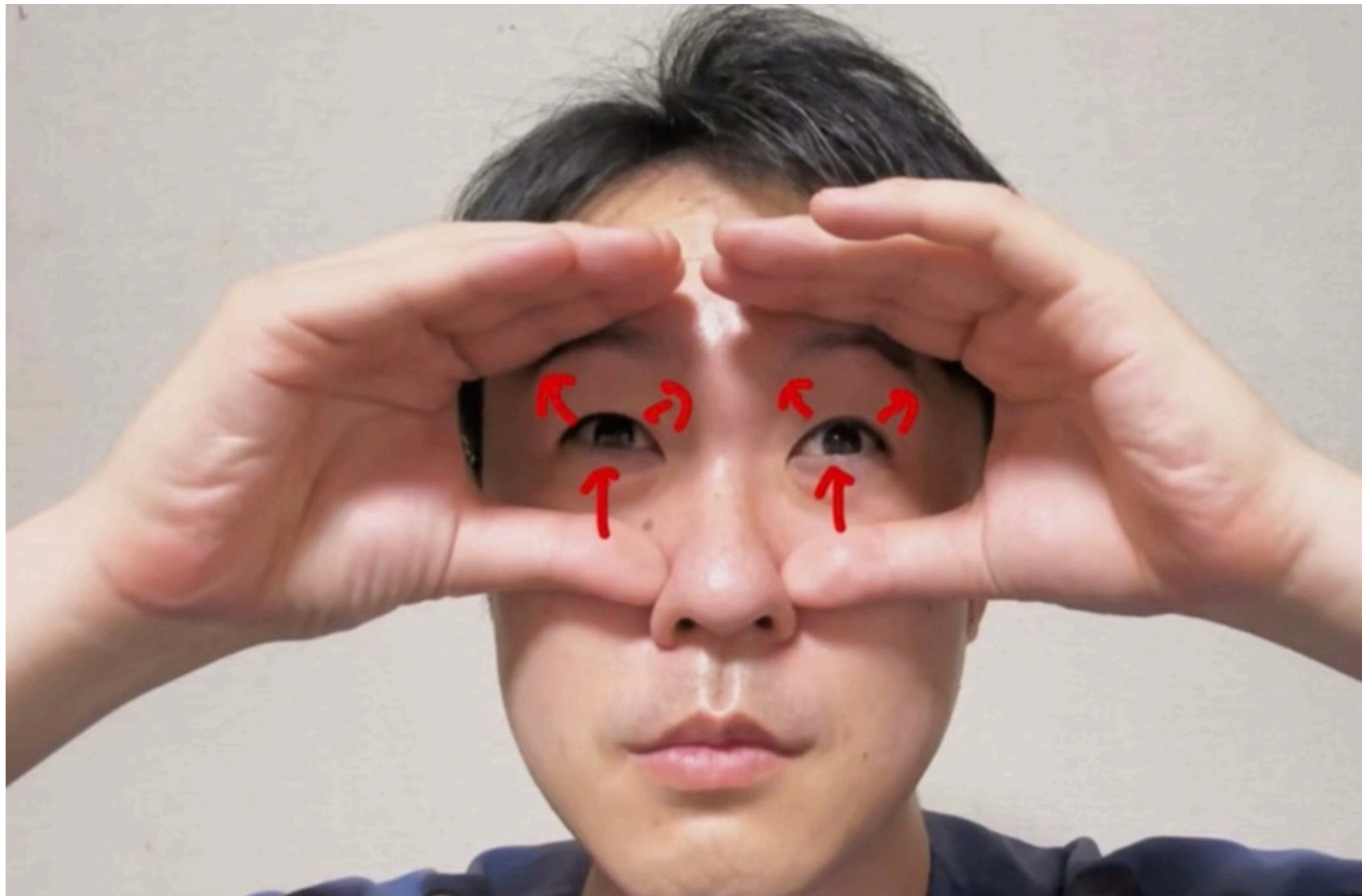
下斜筋 (IO)
inferior oblique m.



作用：上転、
外転、外旋

m.=musculus

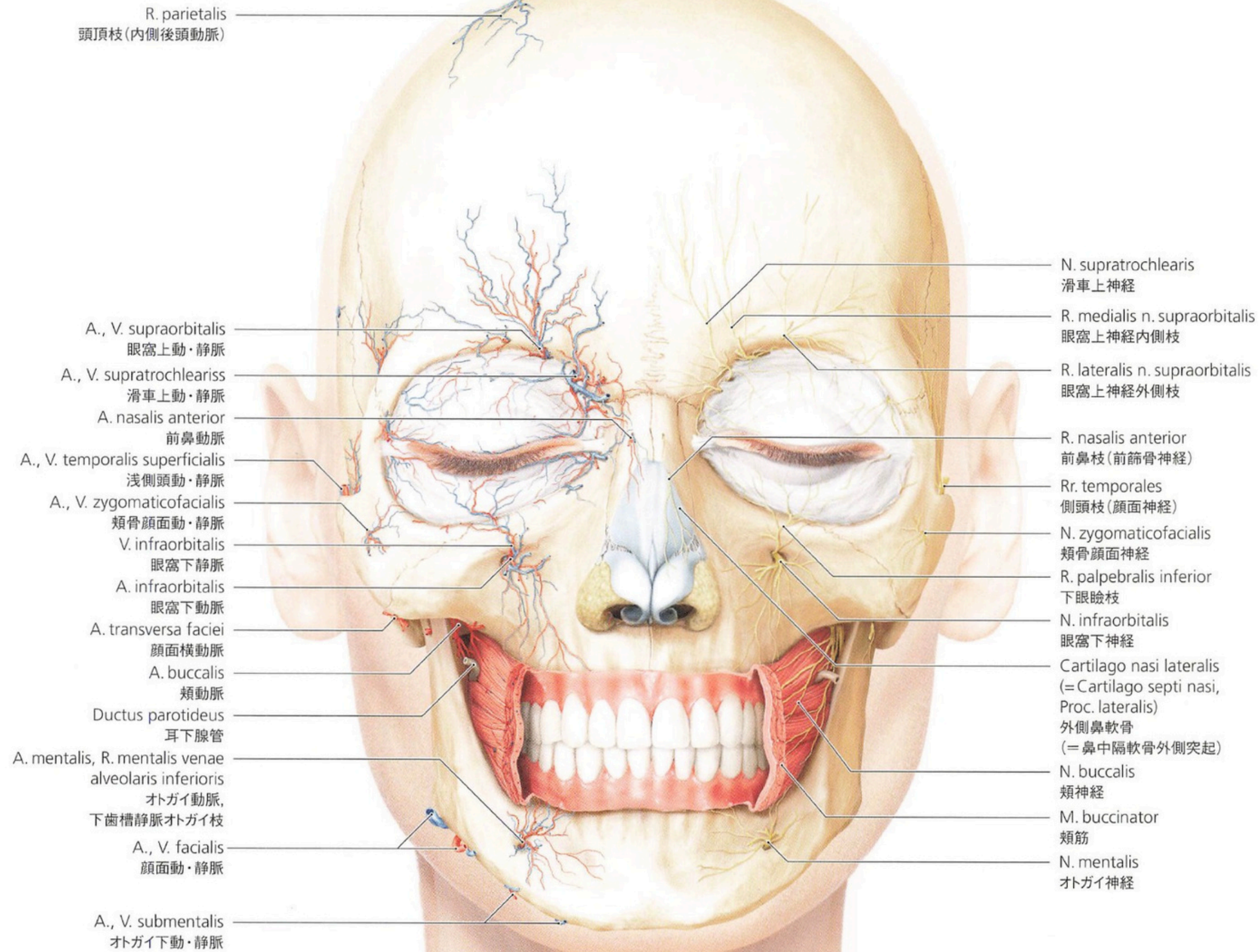
6：バギーアイに対して何をしたらよいのか？



双眼鏡のポーズ

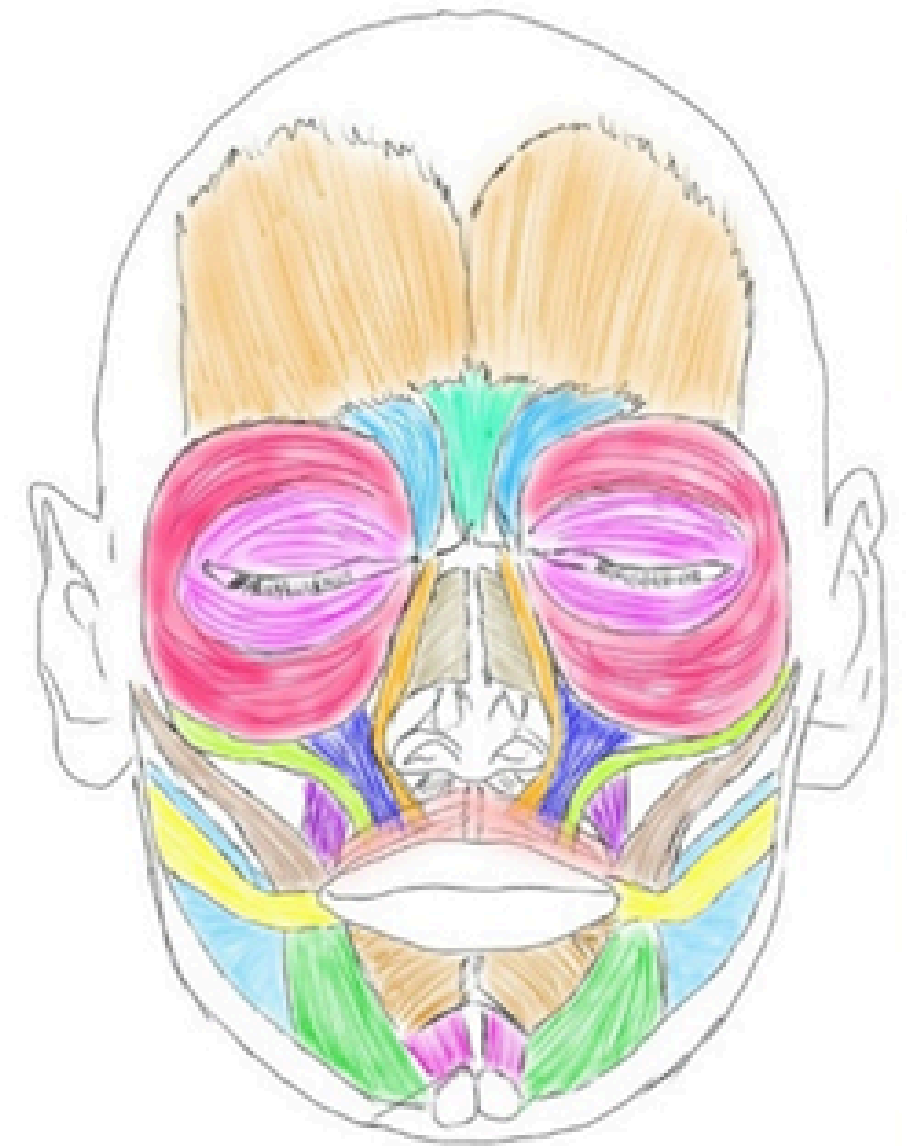


目ワイパー

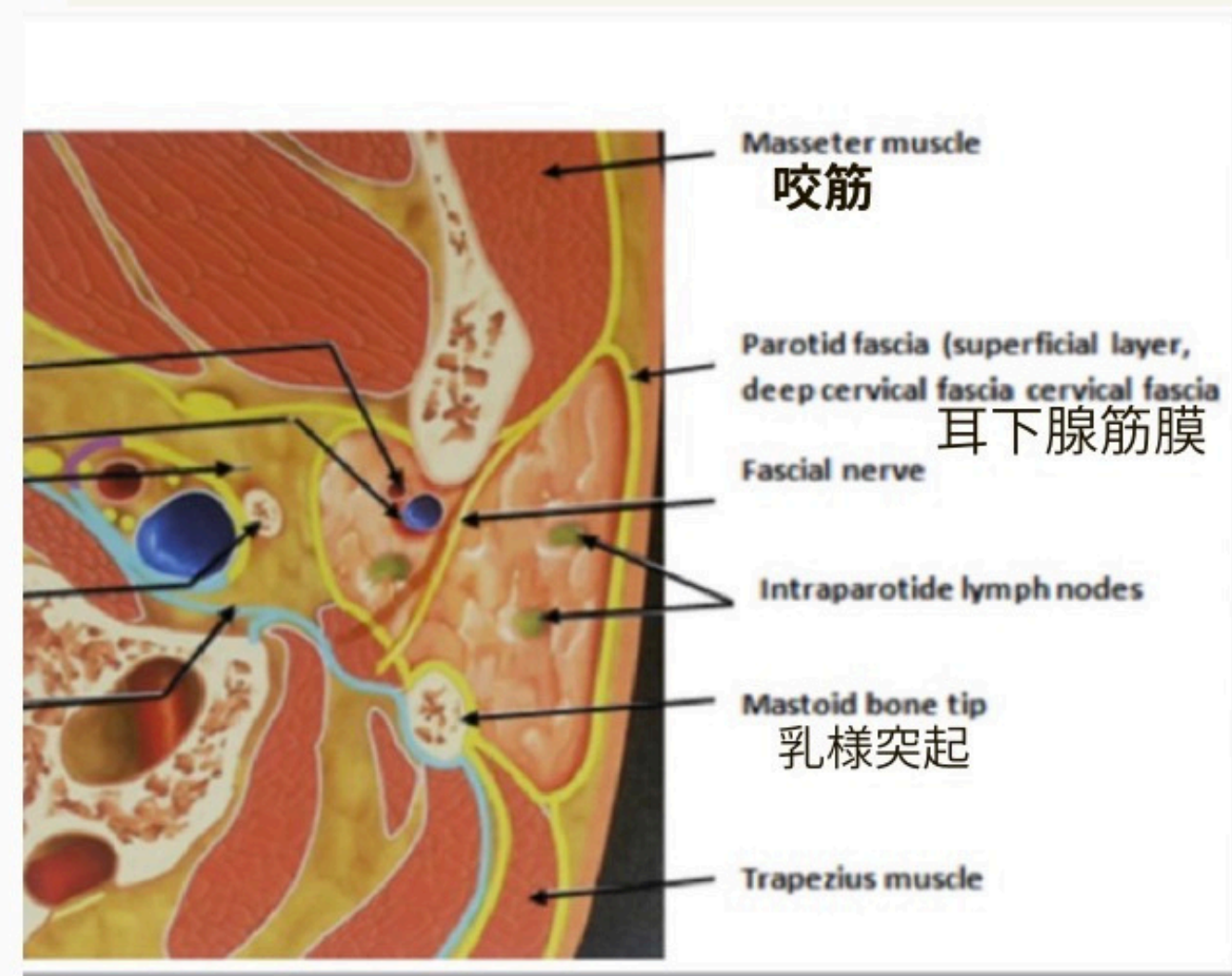
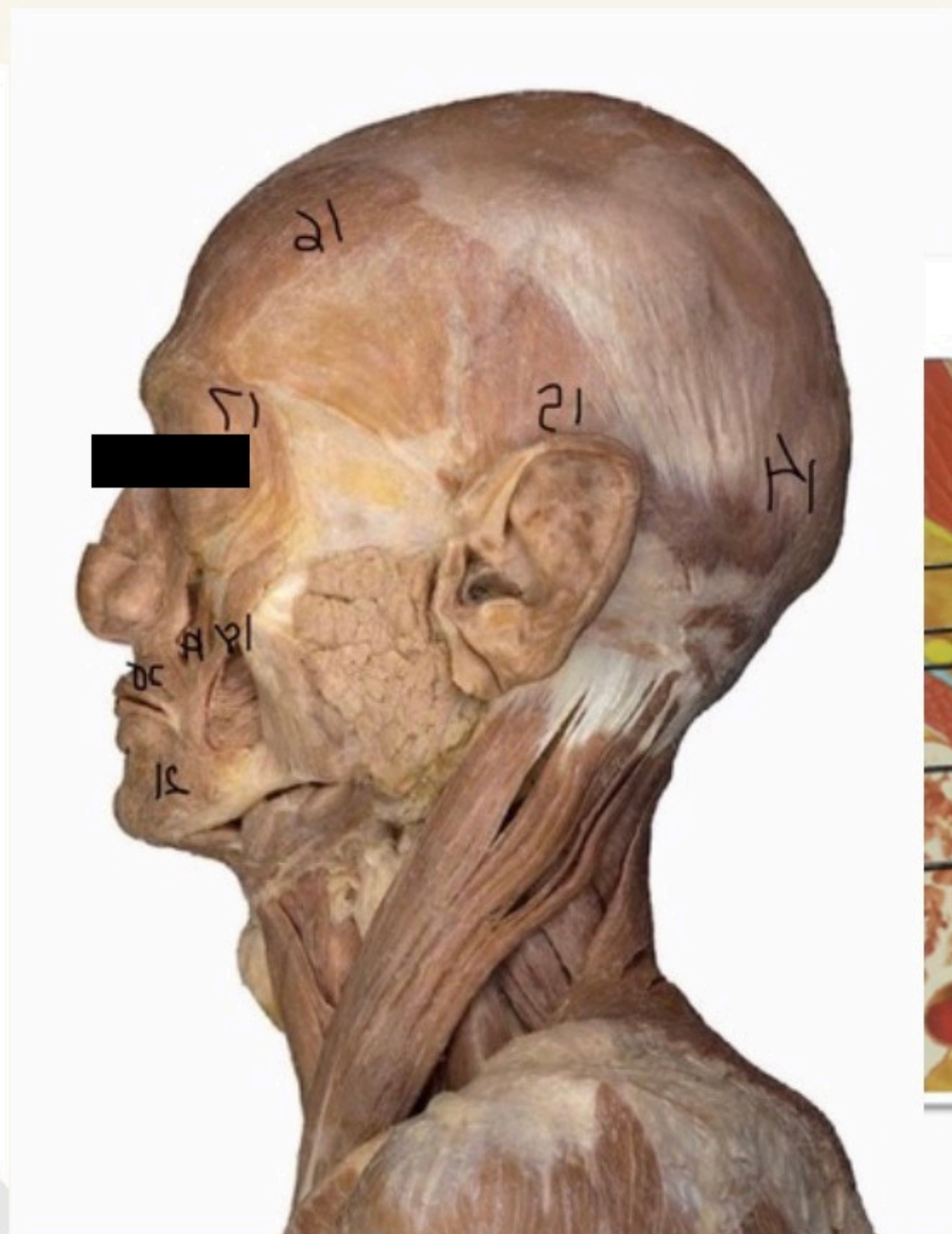
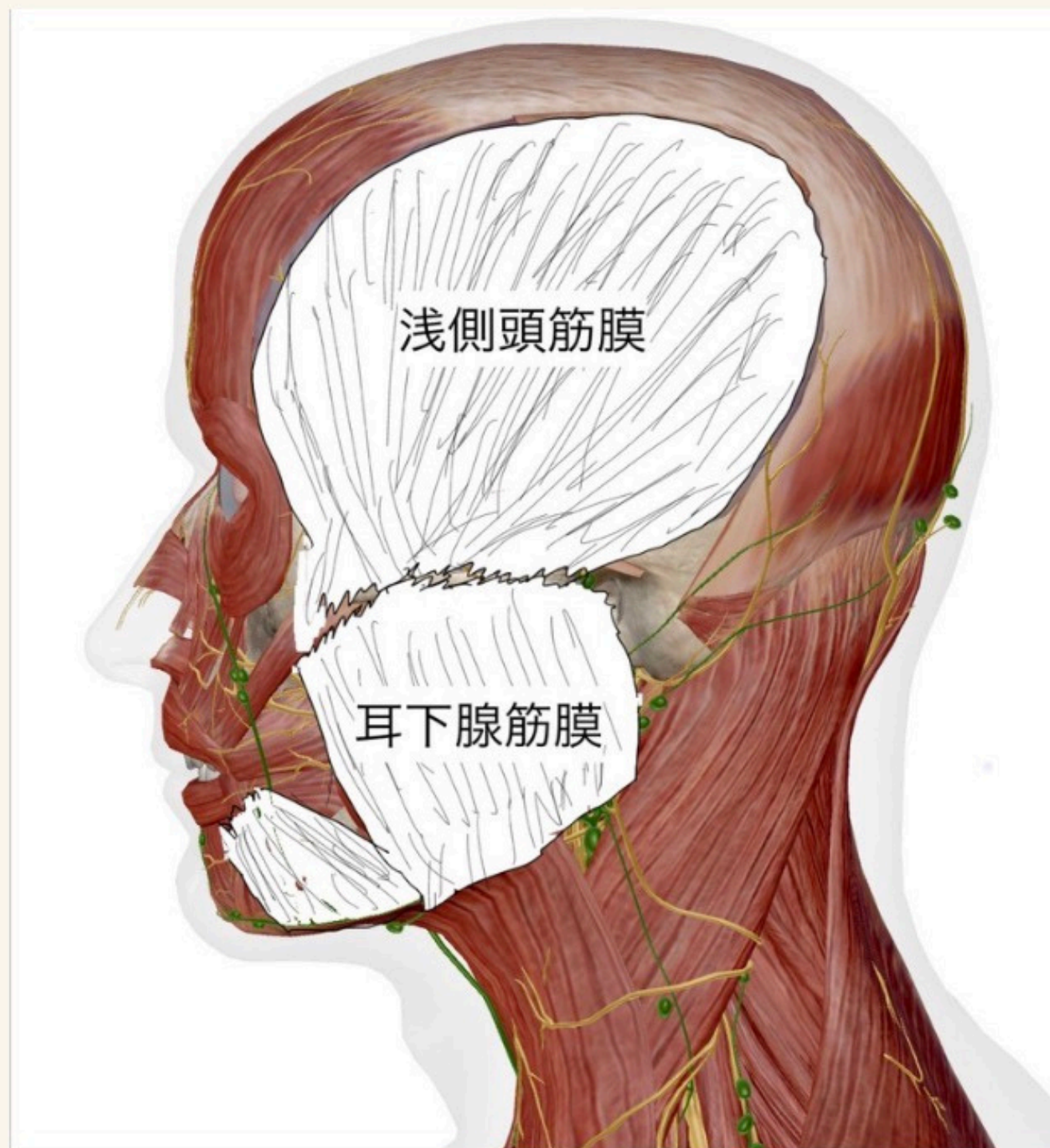


7 : SMASとバギーアイの関係

SMAS筋膜を理解するイメージ

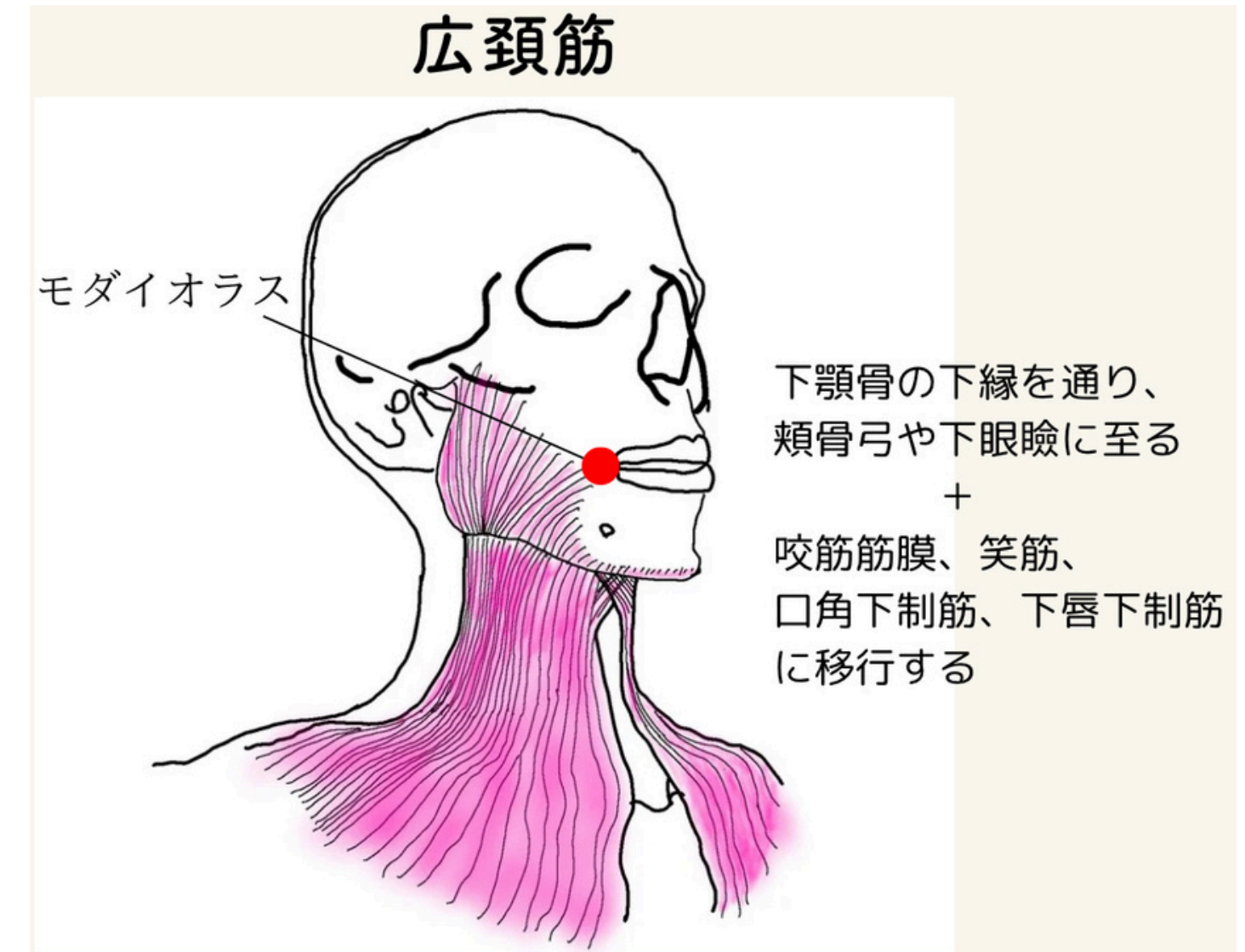
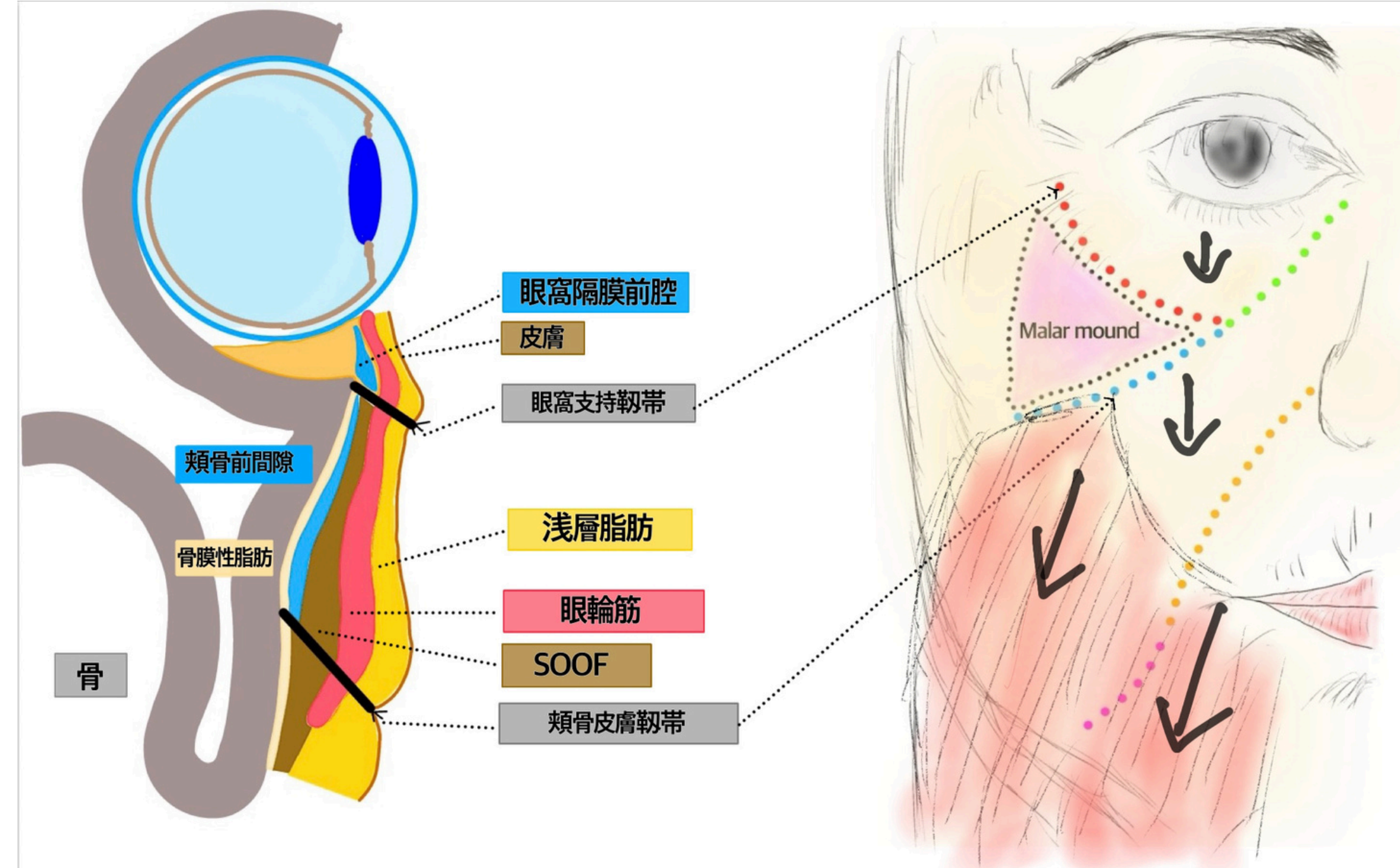


淺側頭筋膜 + 耳下腺筋膜 = SMAS 筋膜

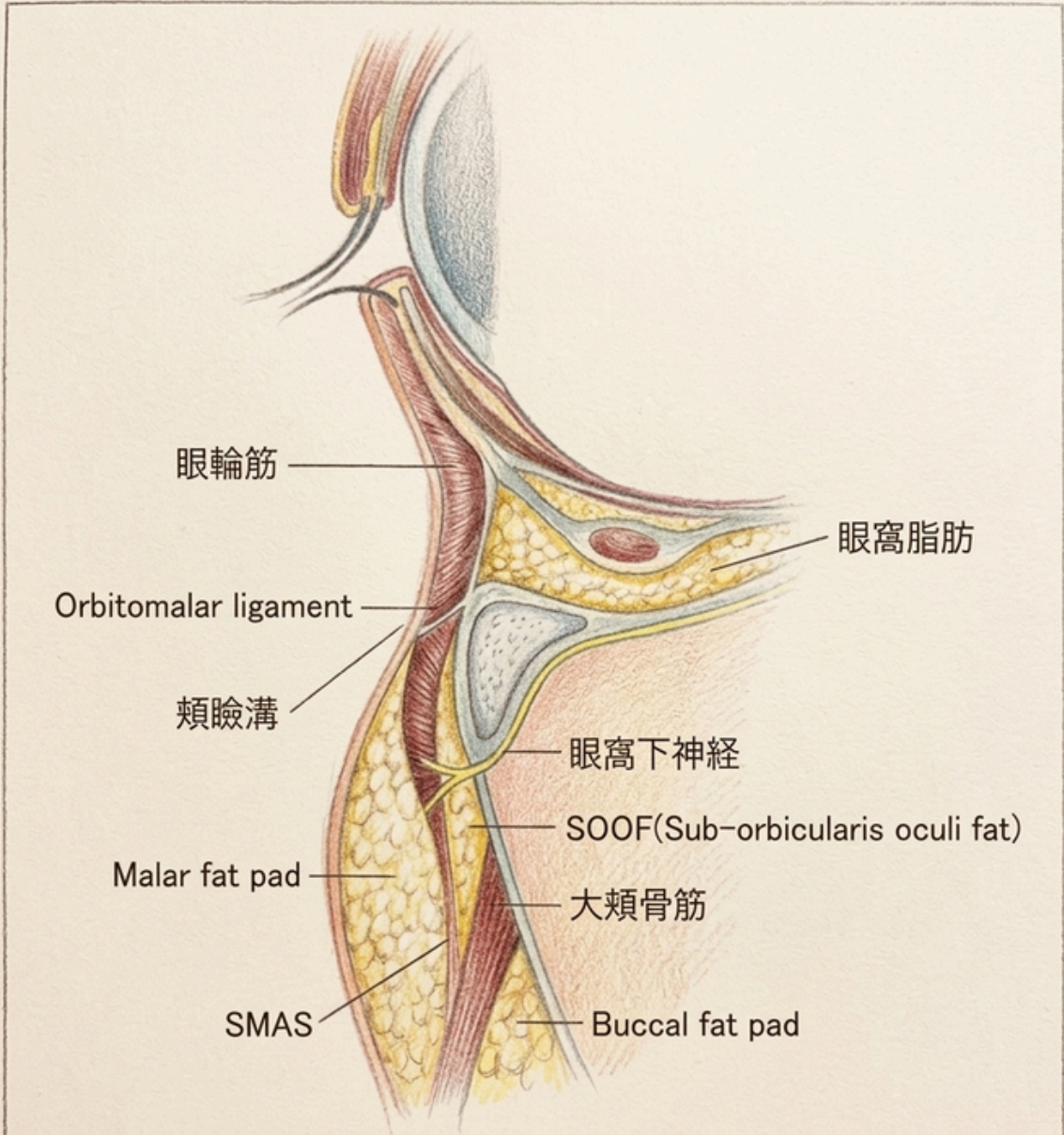




SMASから顔全体が垂れ下がるイメージ

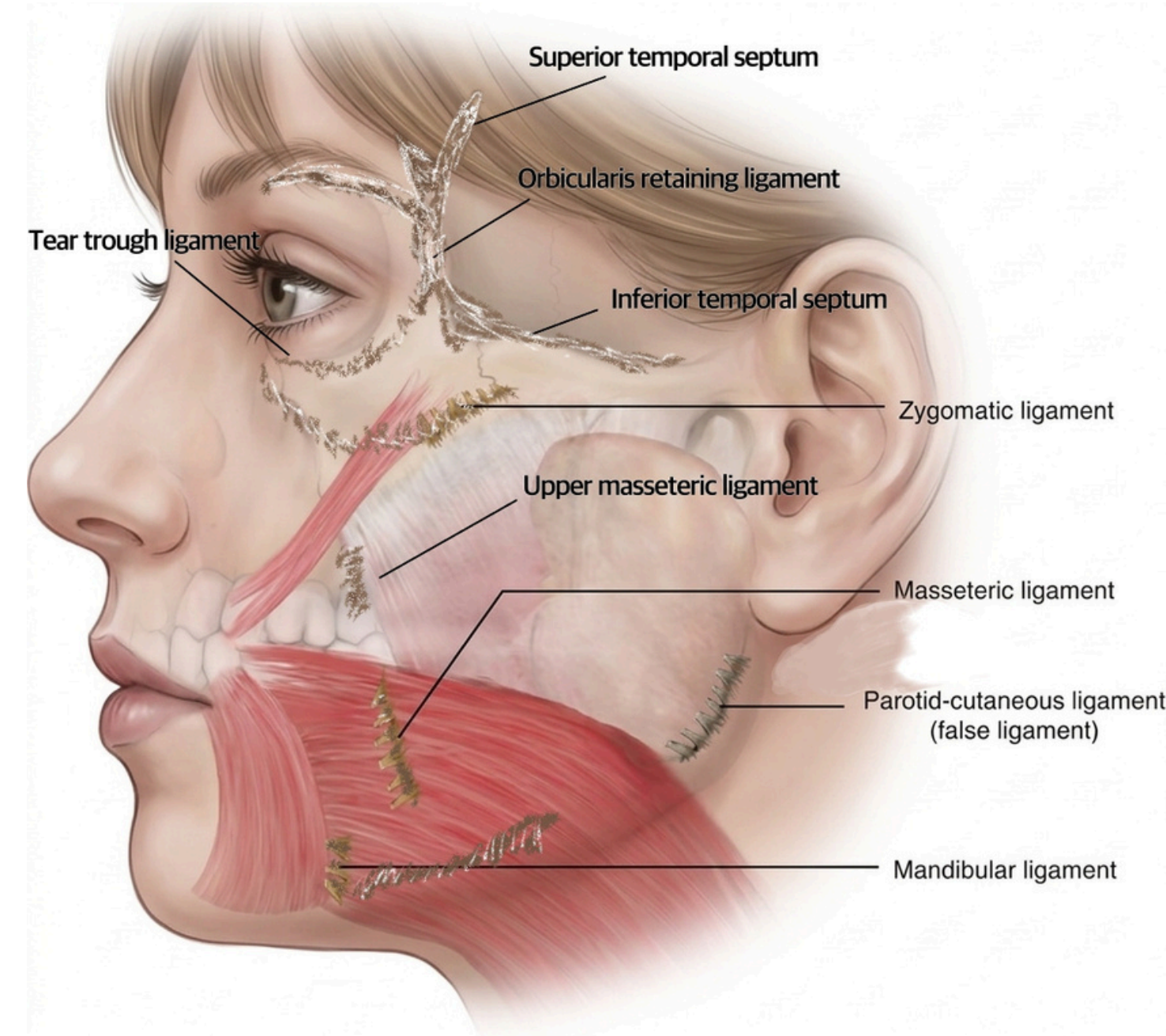
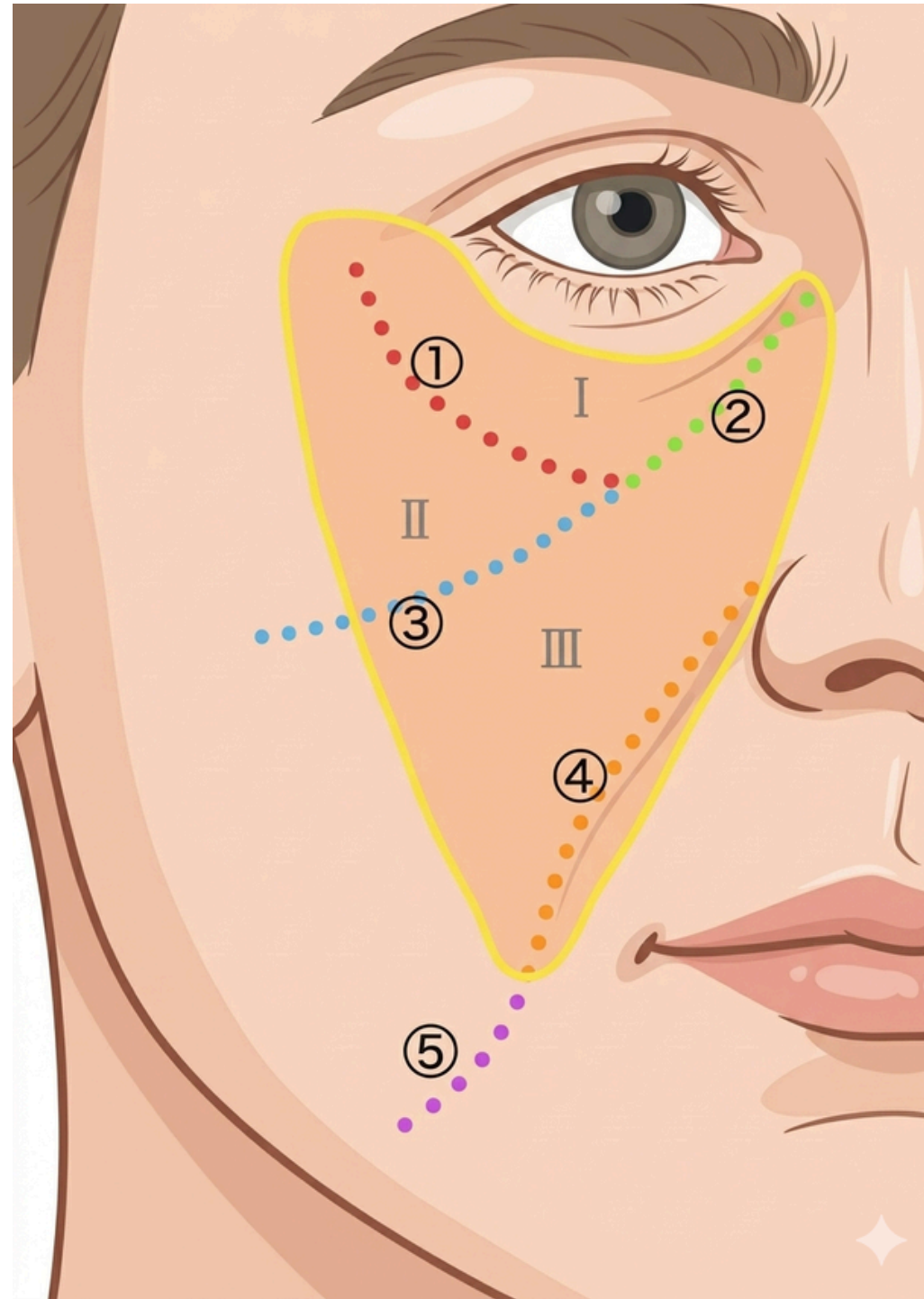


【中顔面における解剖】

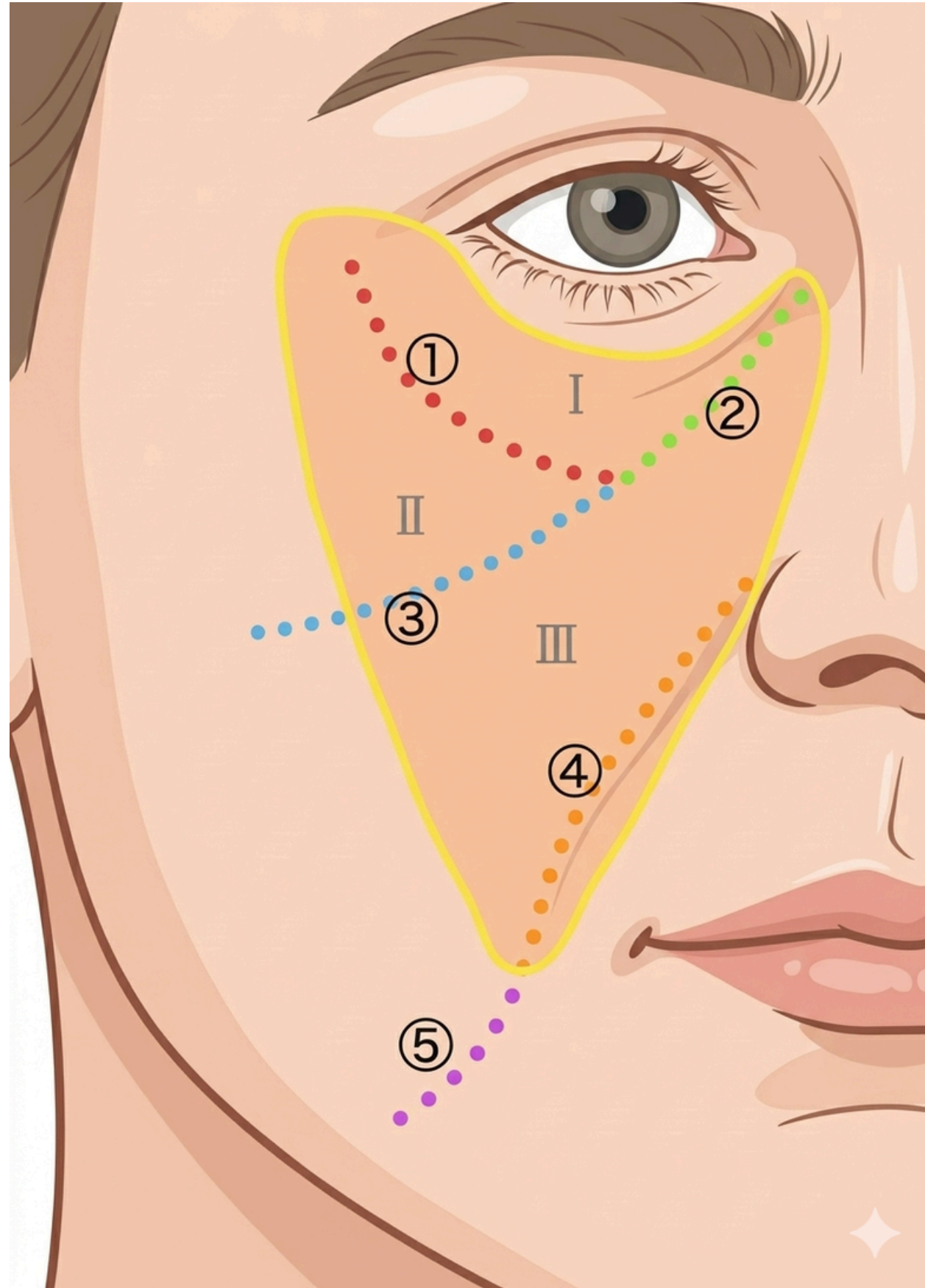


<中顔面における解剖>

SMASは眼輪筋下縁から口輪筋に向かって大頬骨筋上に存在するとされています。
頬部で特に発達した表在脂肪層を malar fat と表現します。



8 : ミッドチークの構造を理解する

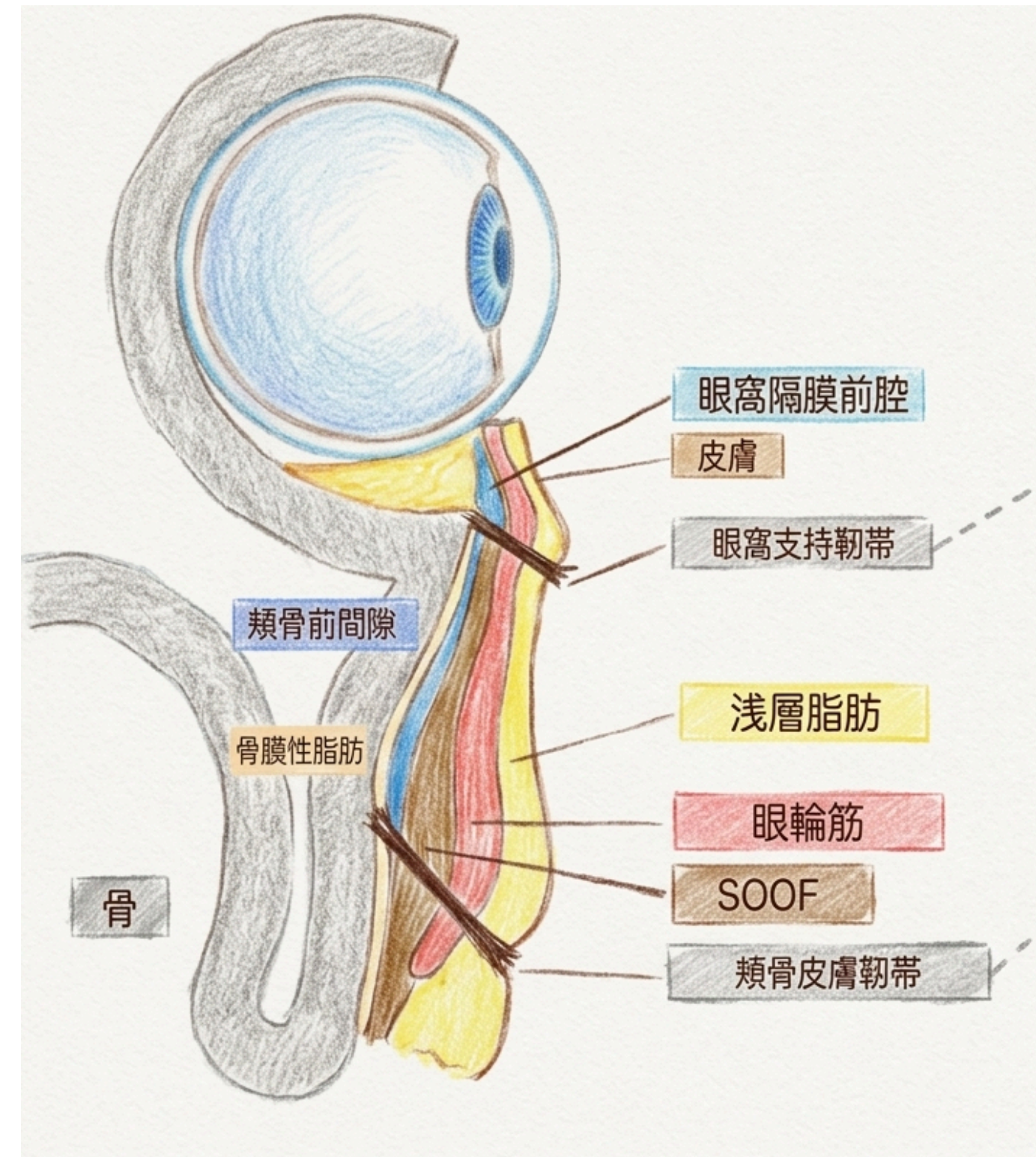
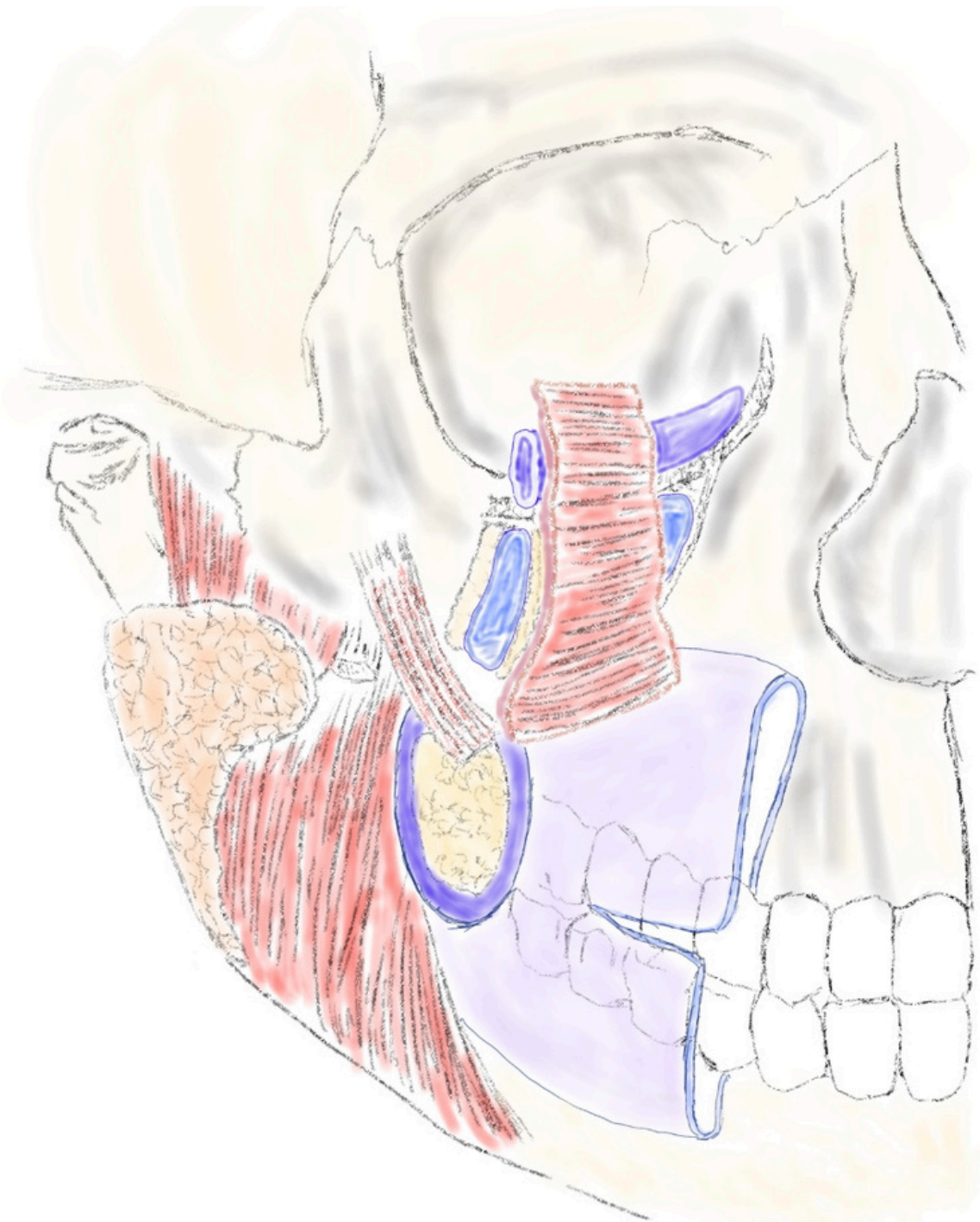
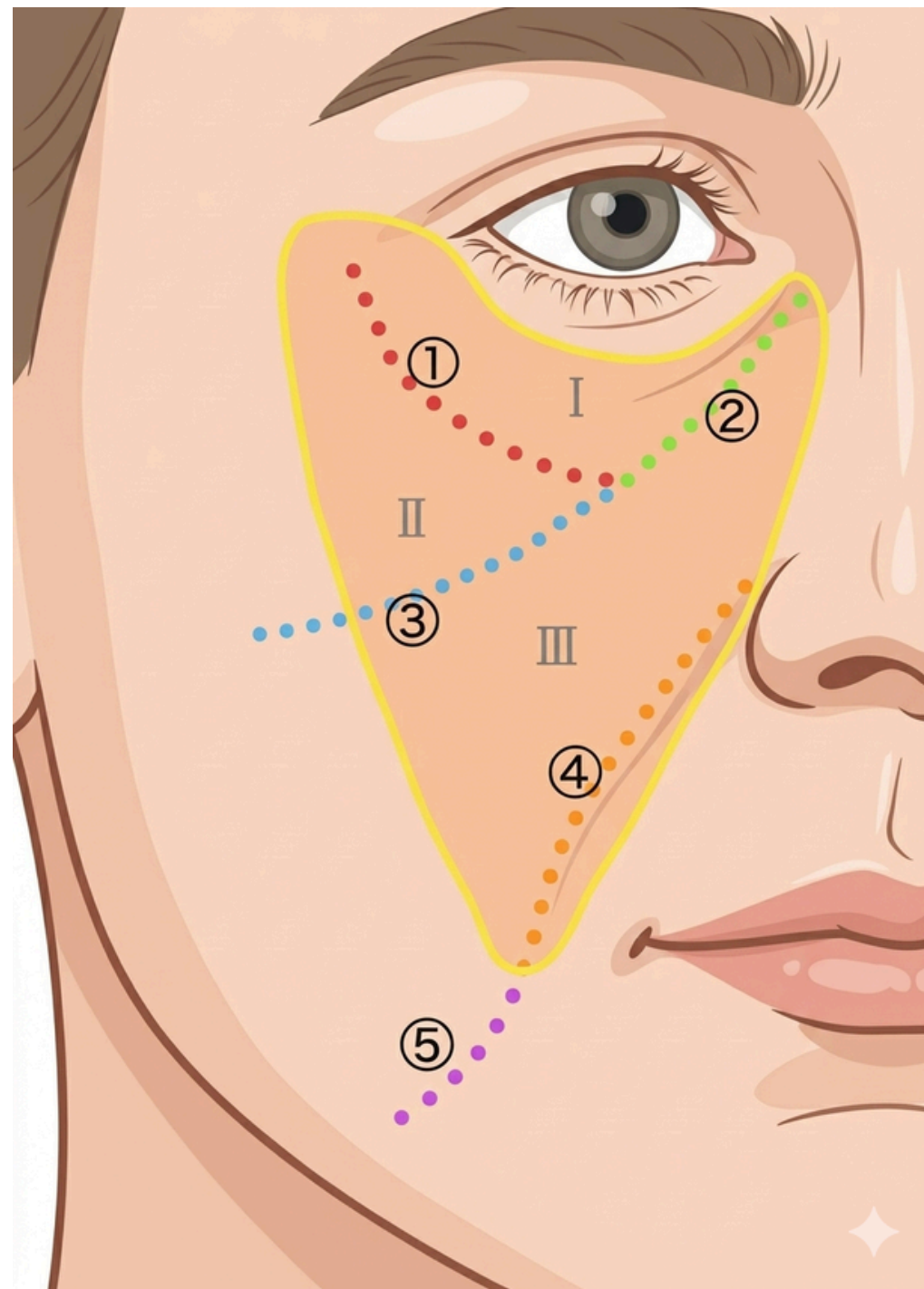


I:Lid cheek segment
II:Malar segment
III:Nasolabial segment

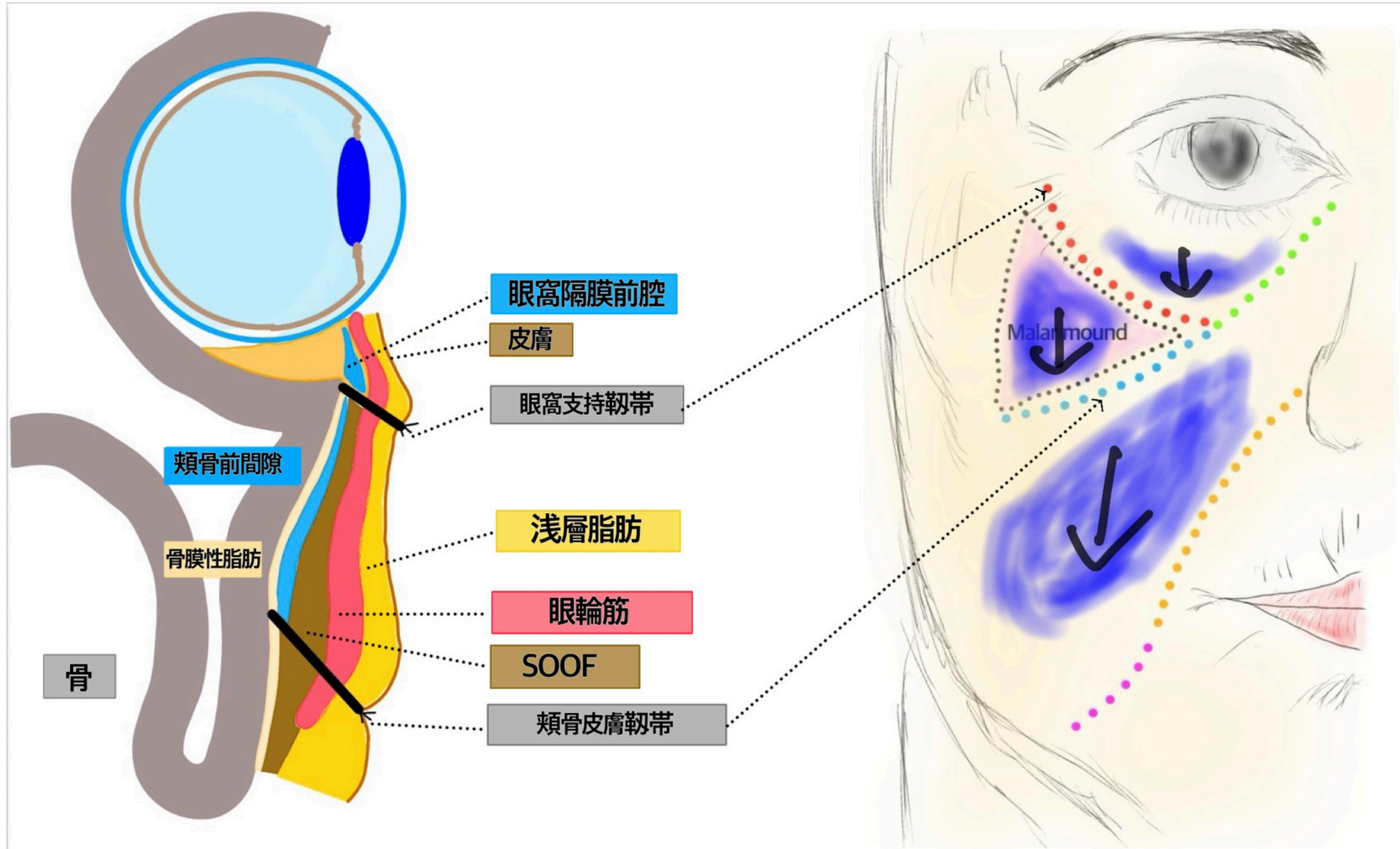
- ①palpebromalar groove
- ②nasojugal groove
- ③mid cheek groove
- ④nasolabial fold
- ⑤labiomandibular fold

I : Lid cheek segment

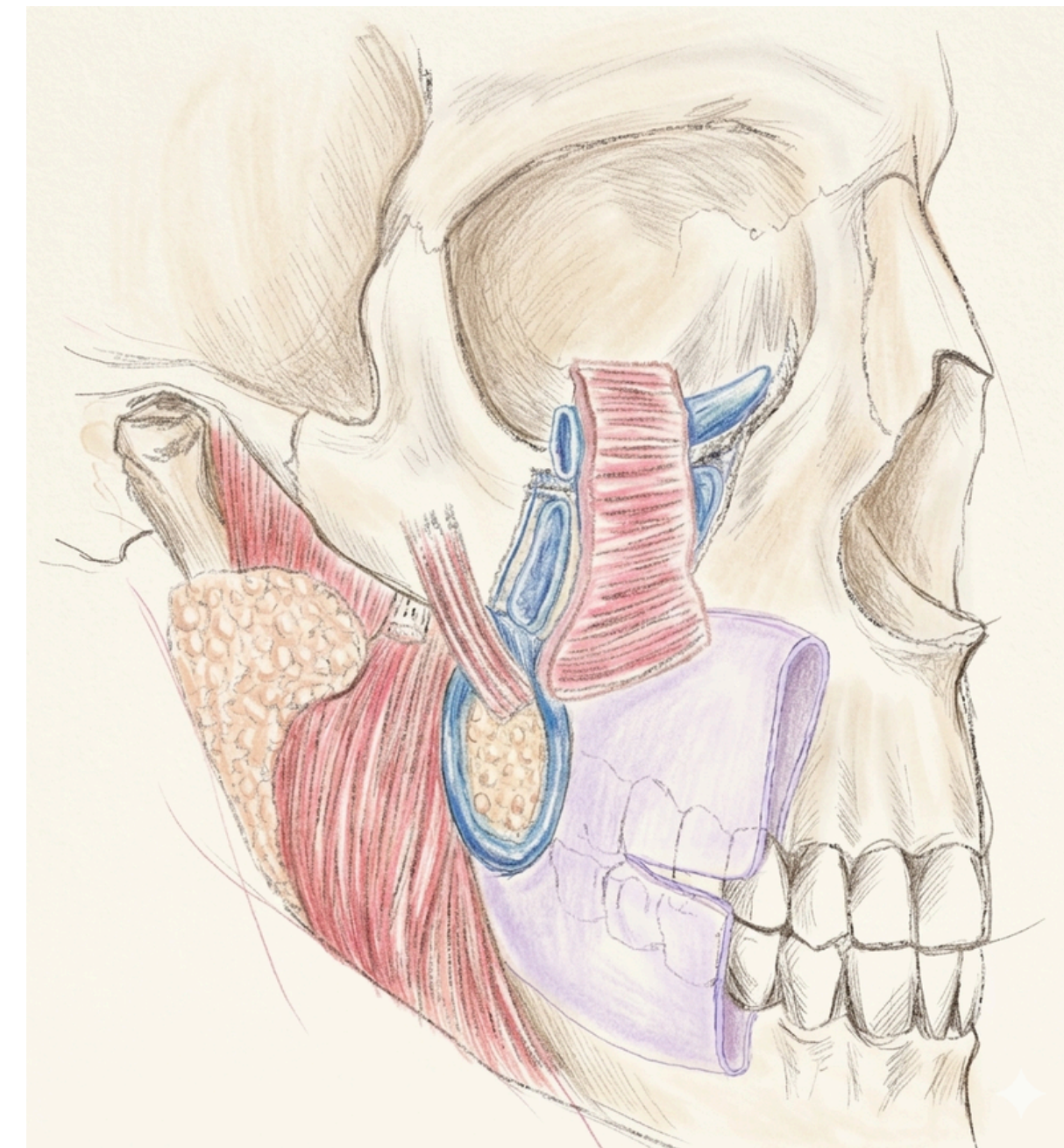
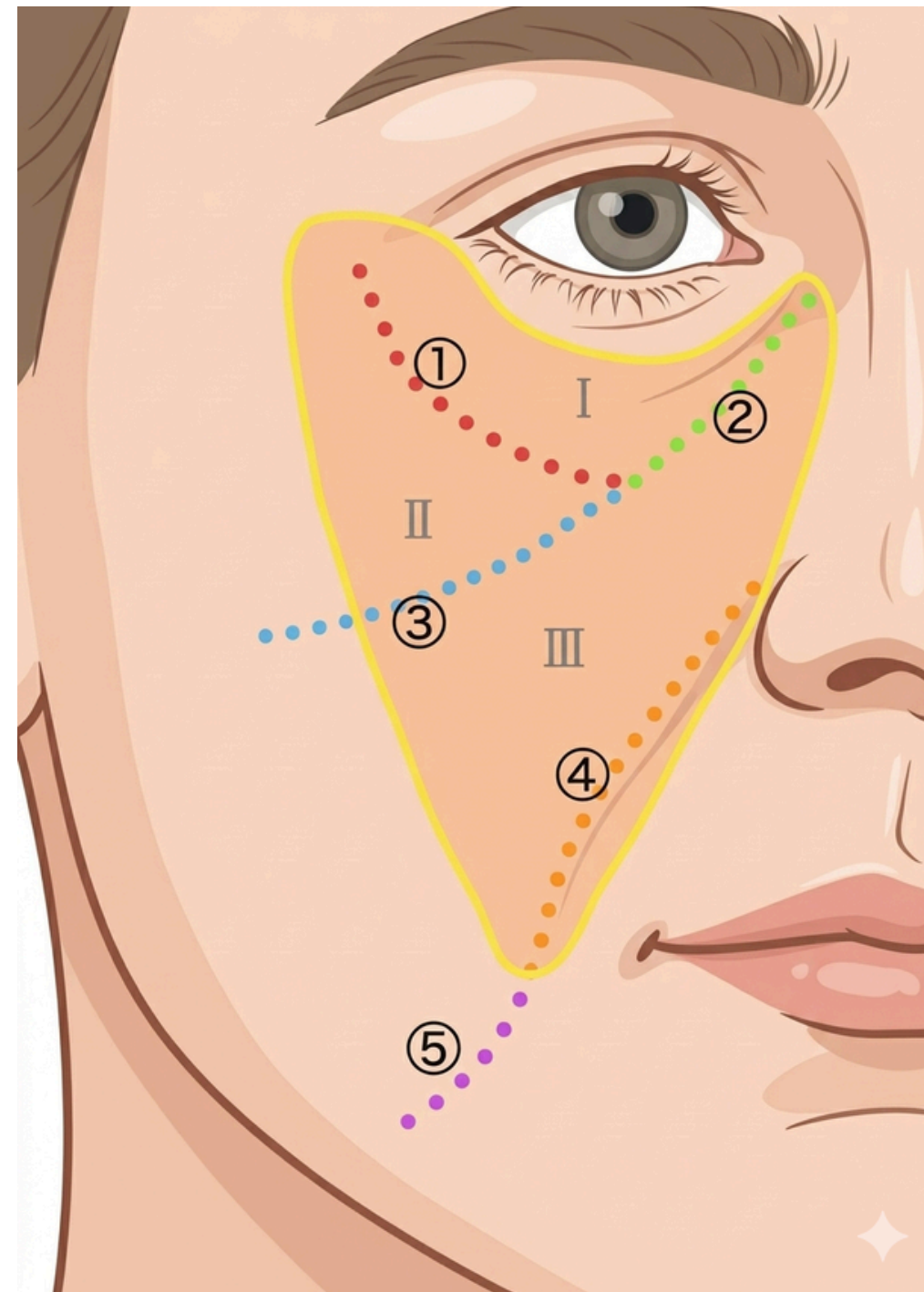
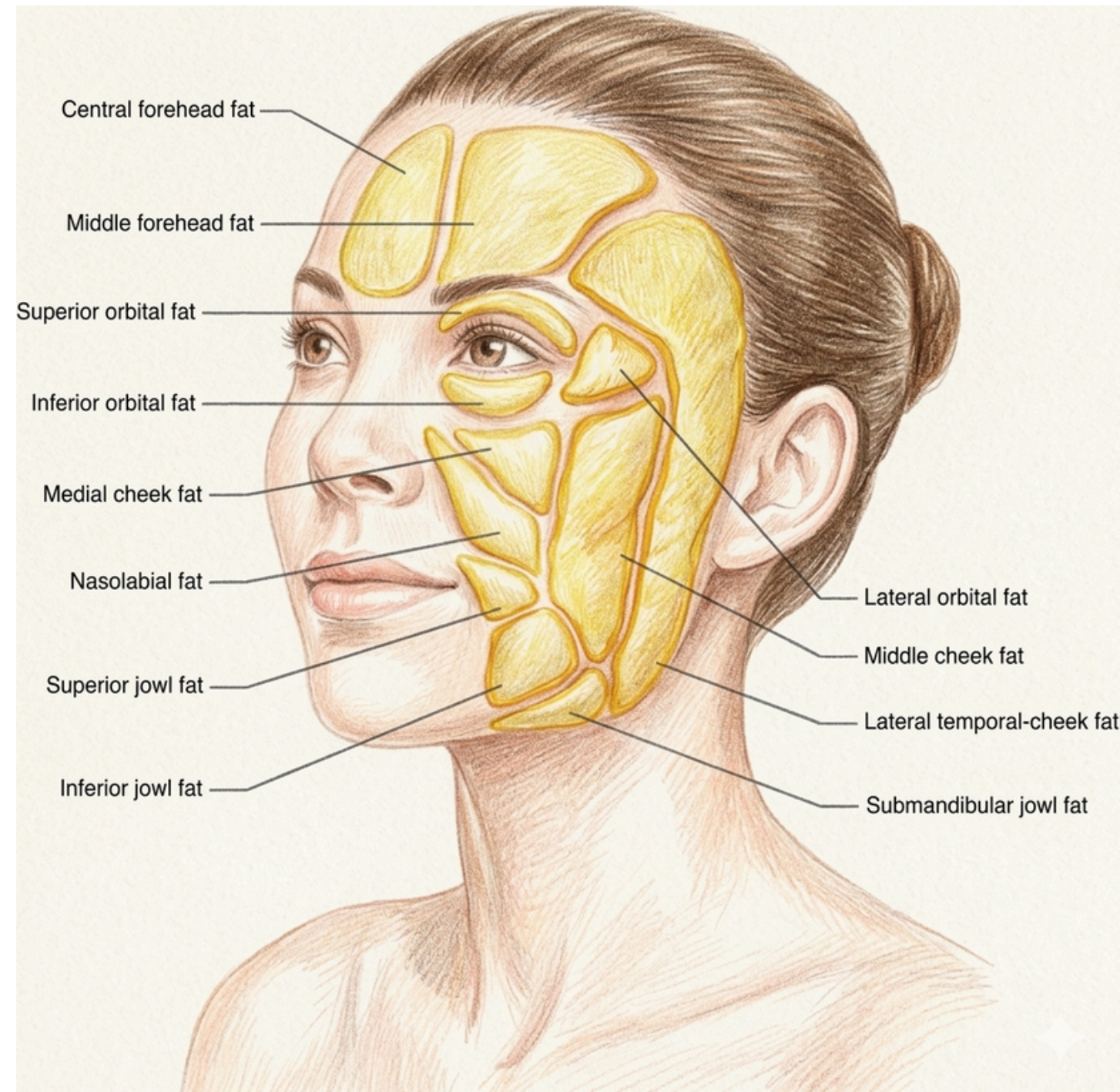
II : Malar segment



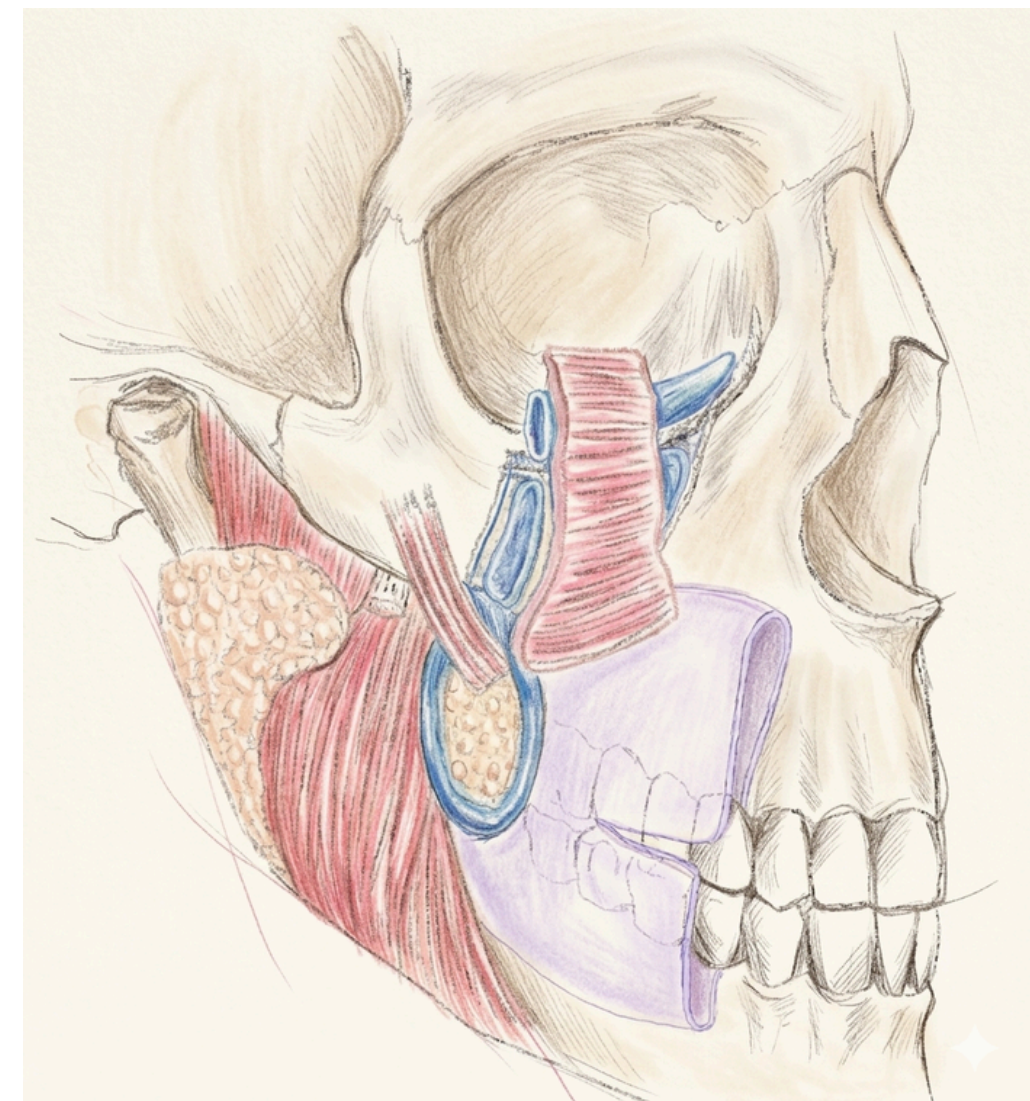
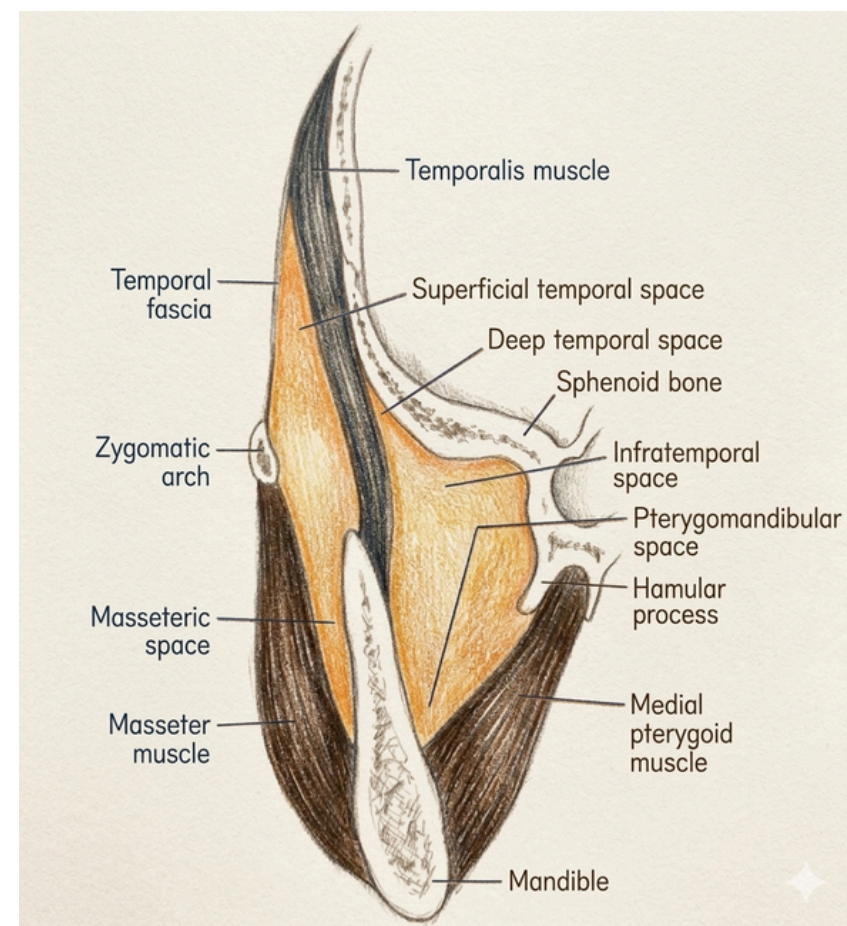
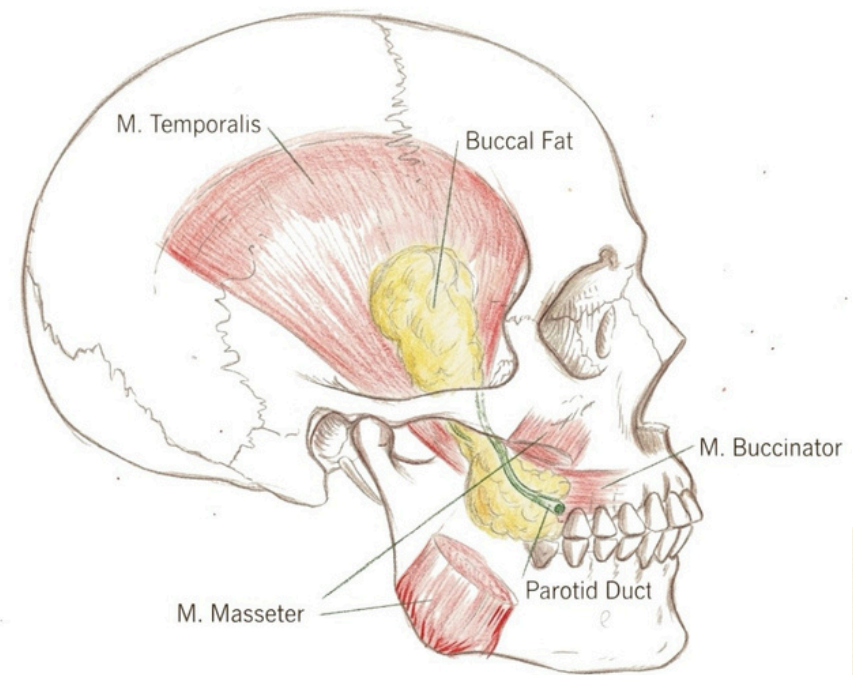
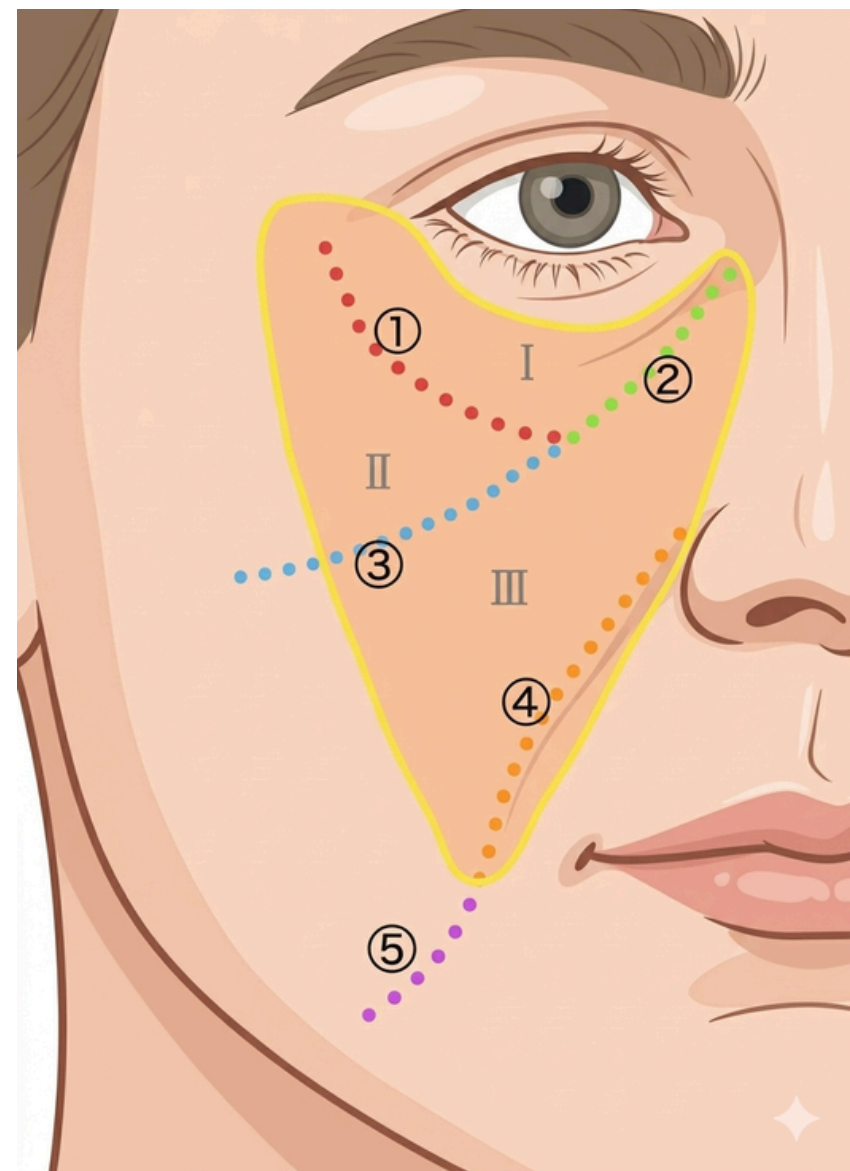
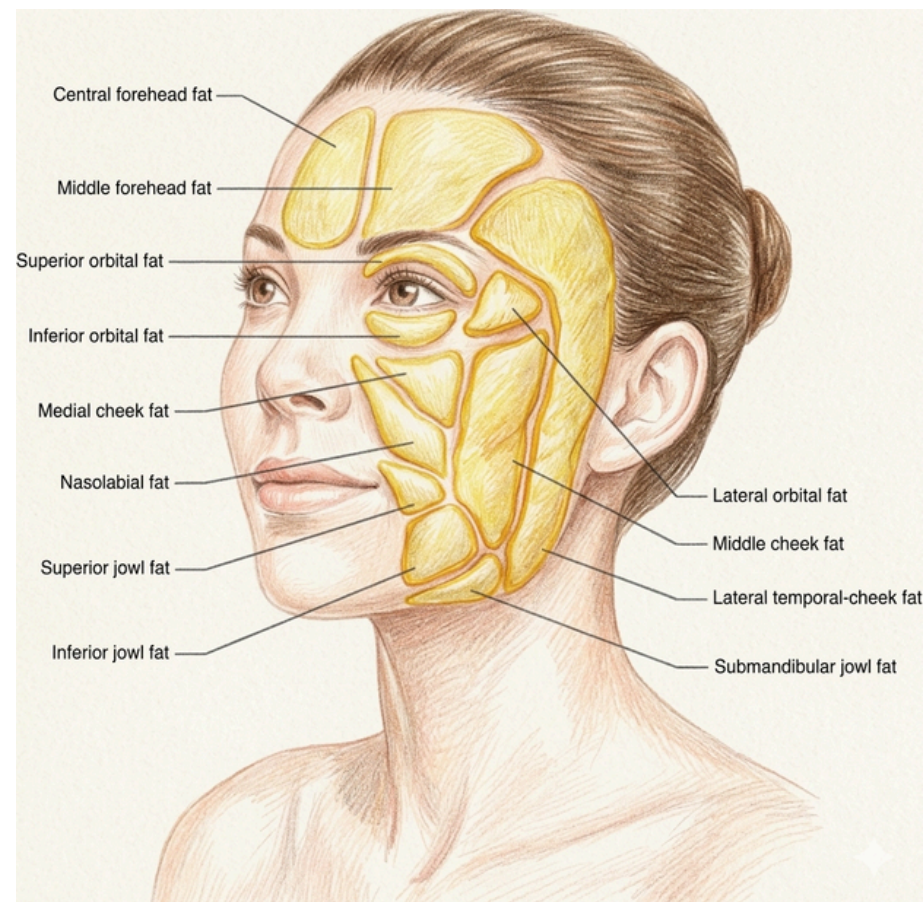
浮腫みとたるみ

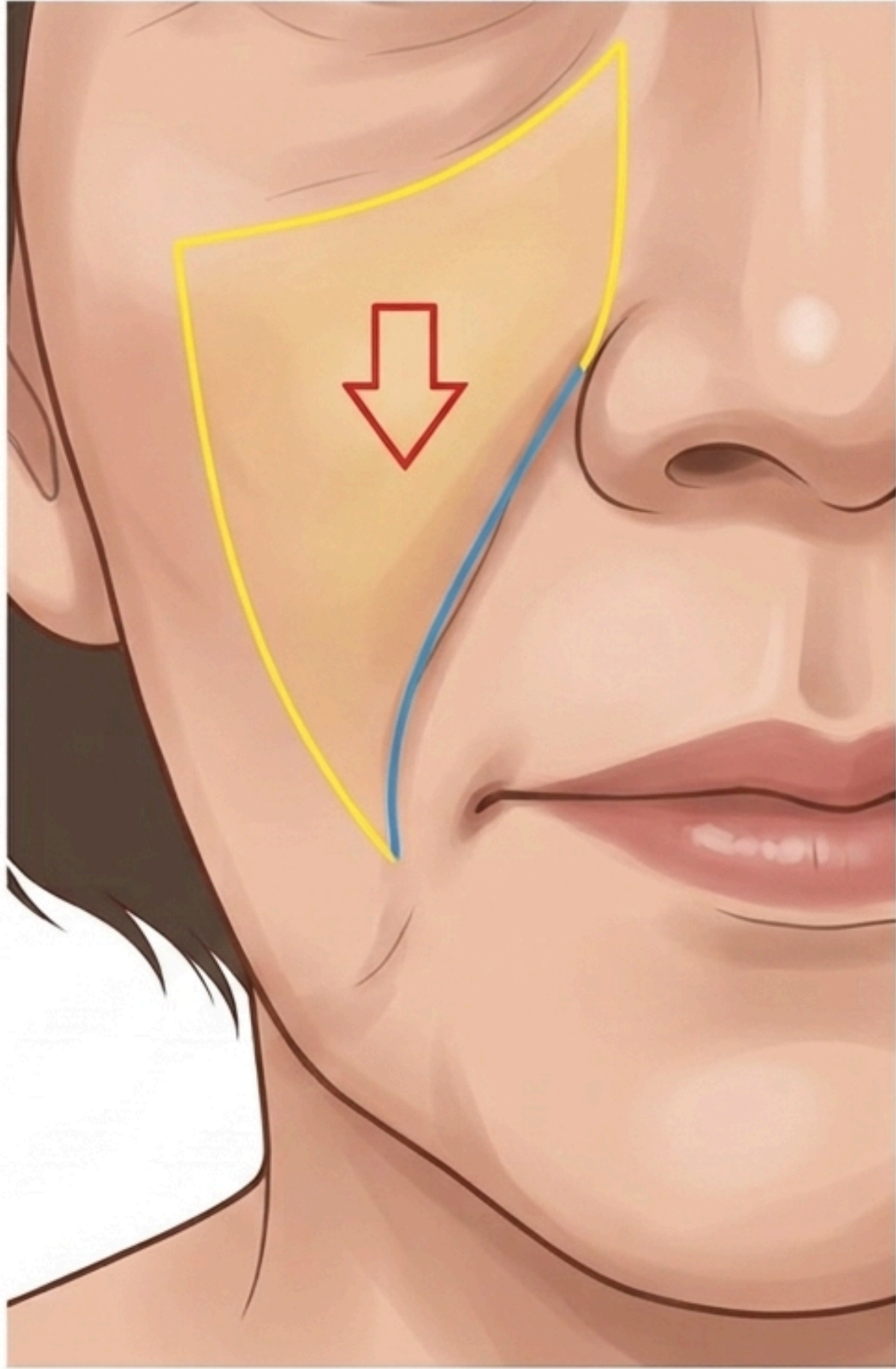


III : Nasolabial segment

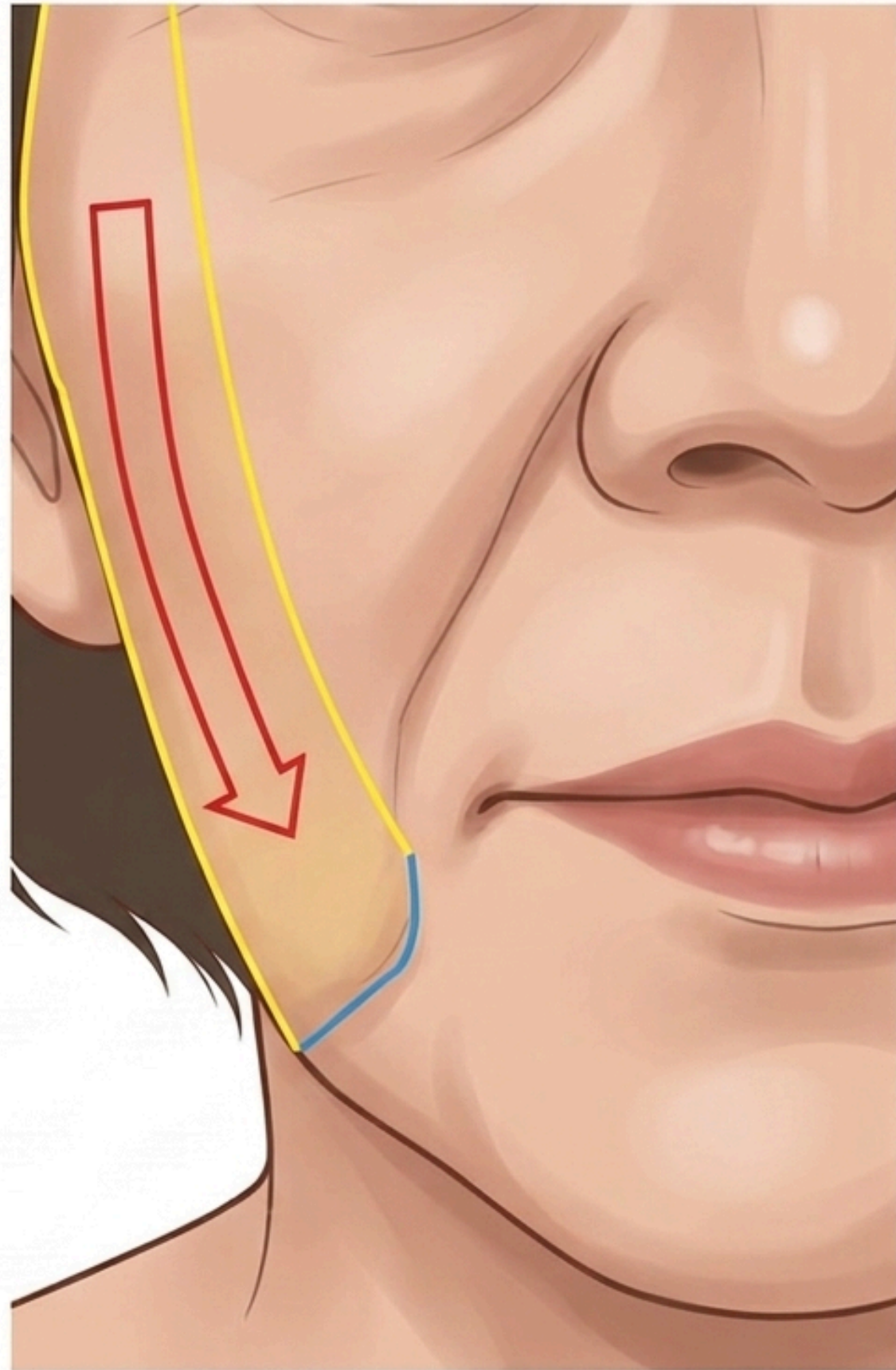


⑤ labiomandibular fold = マリオネットライン



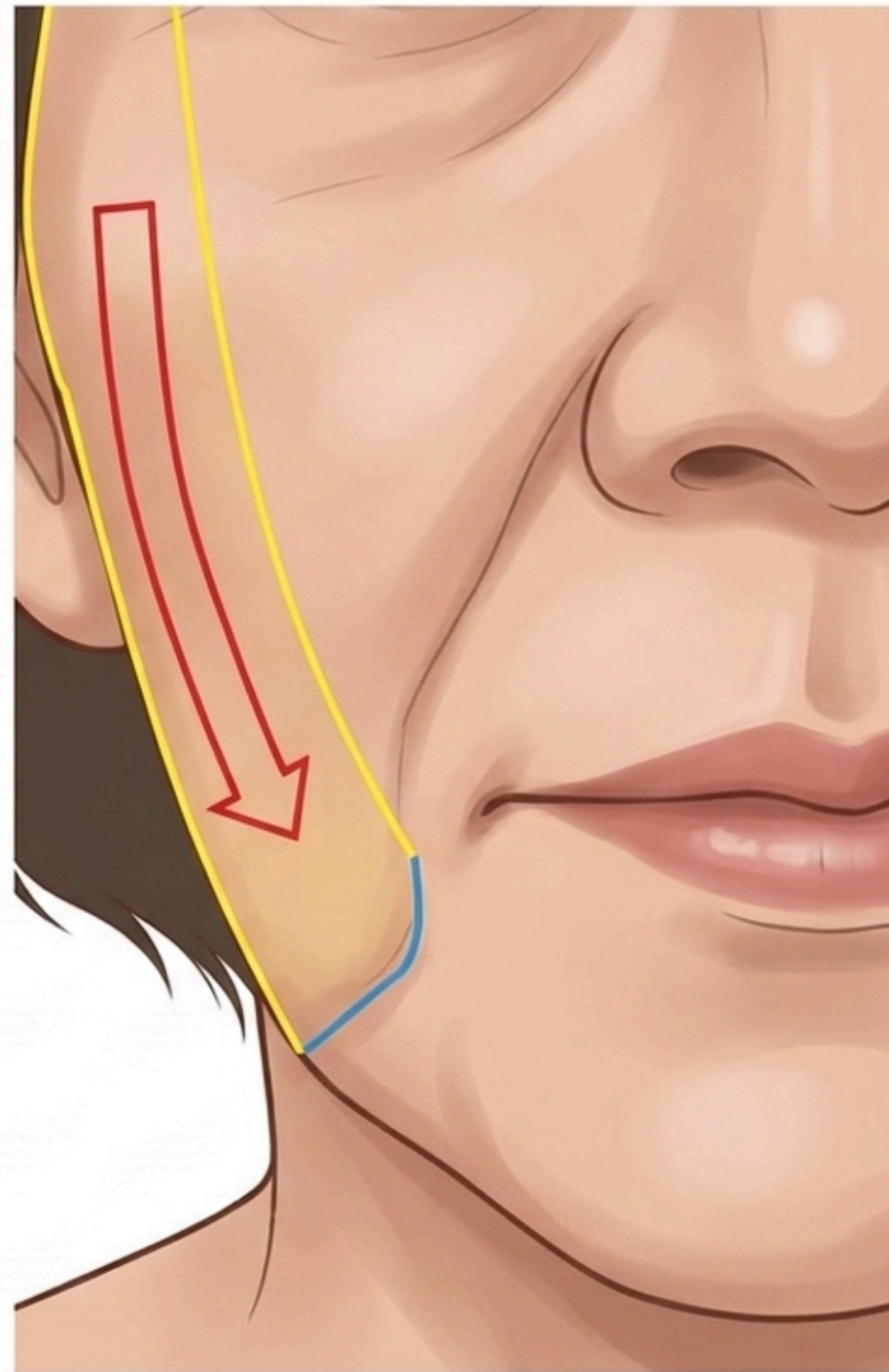
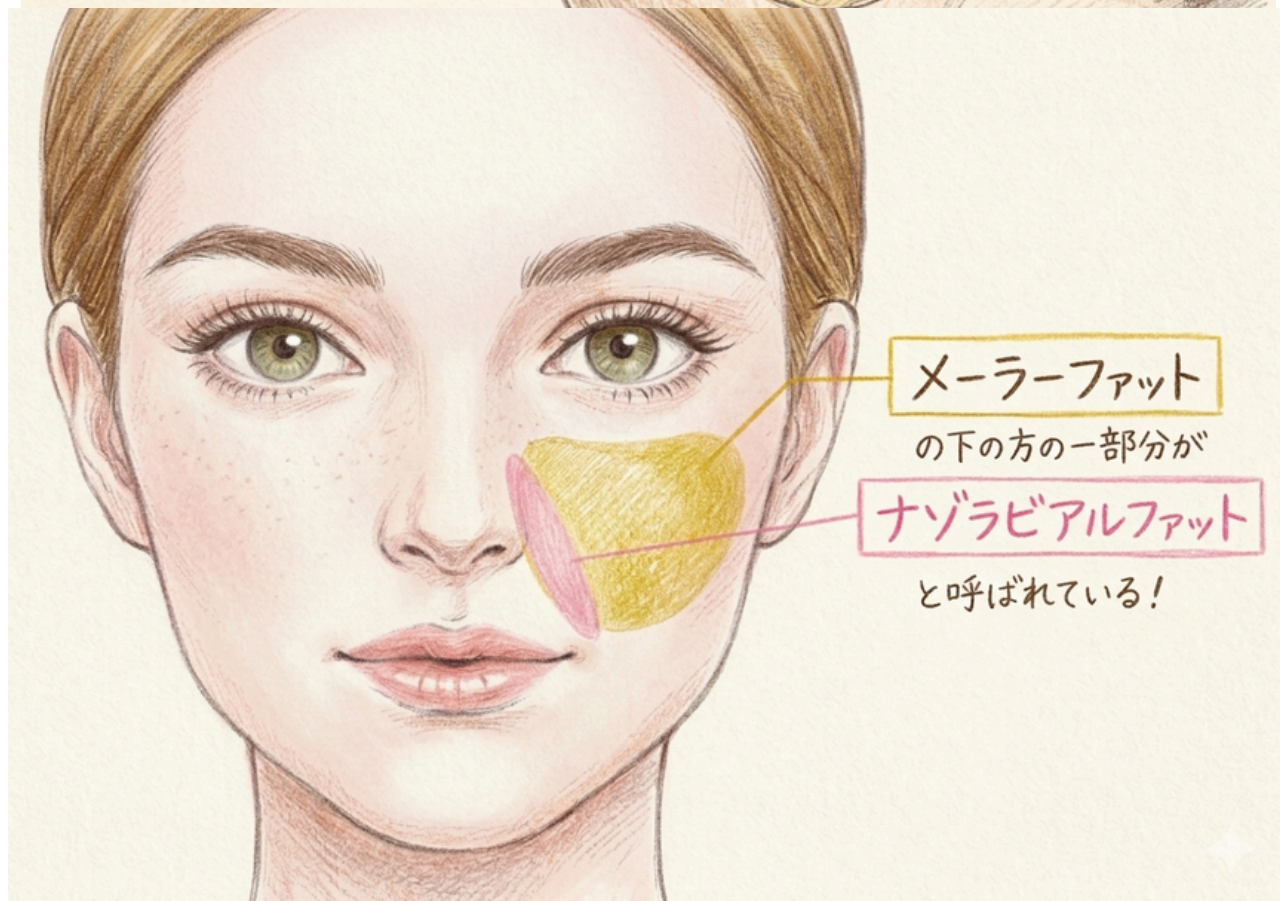
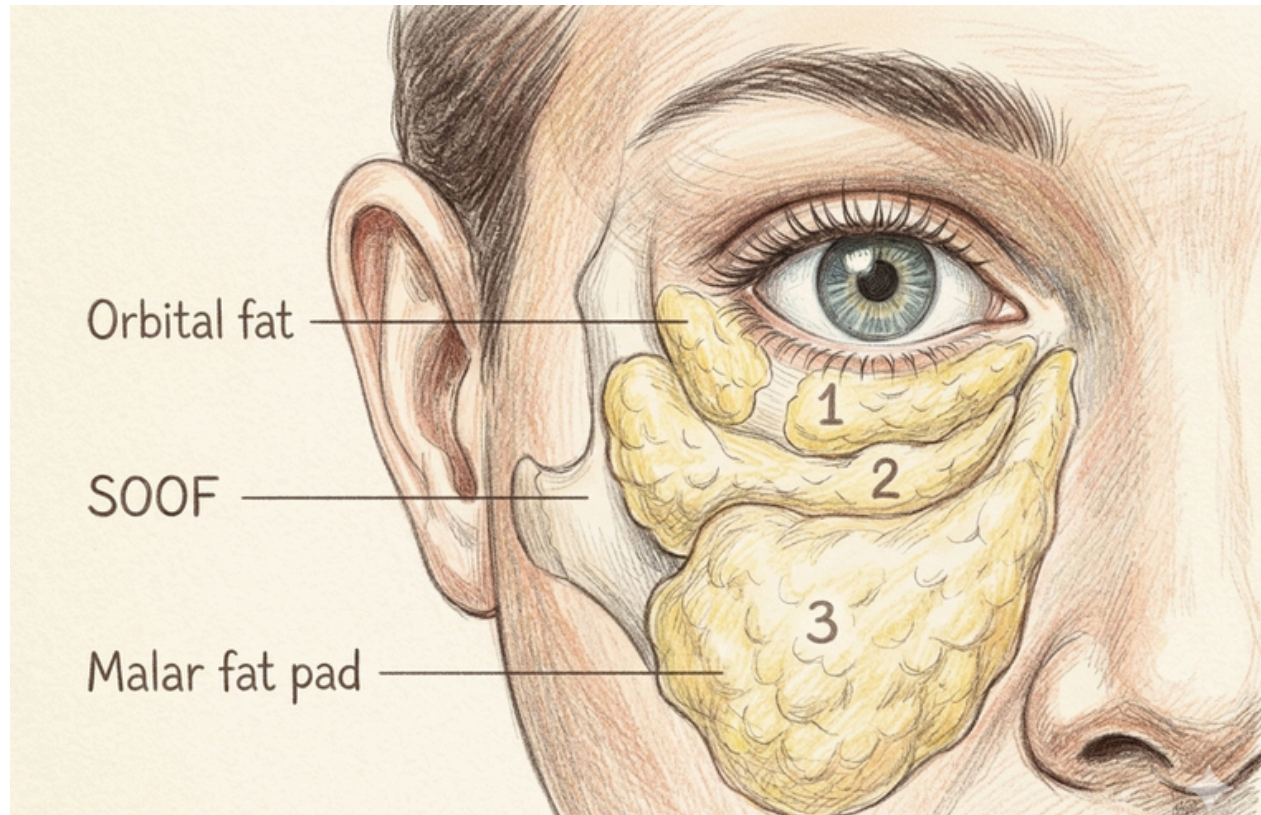


頬内側のたるみ⇒ほうれい線

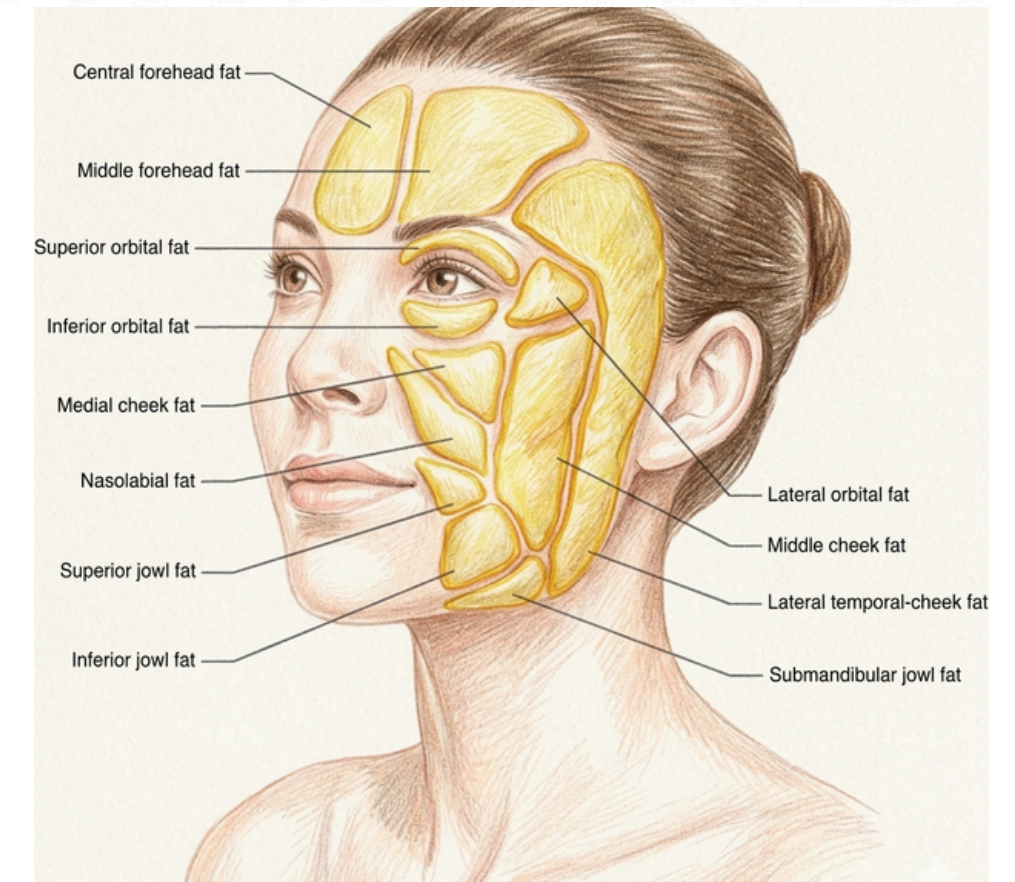
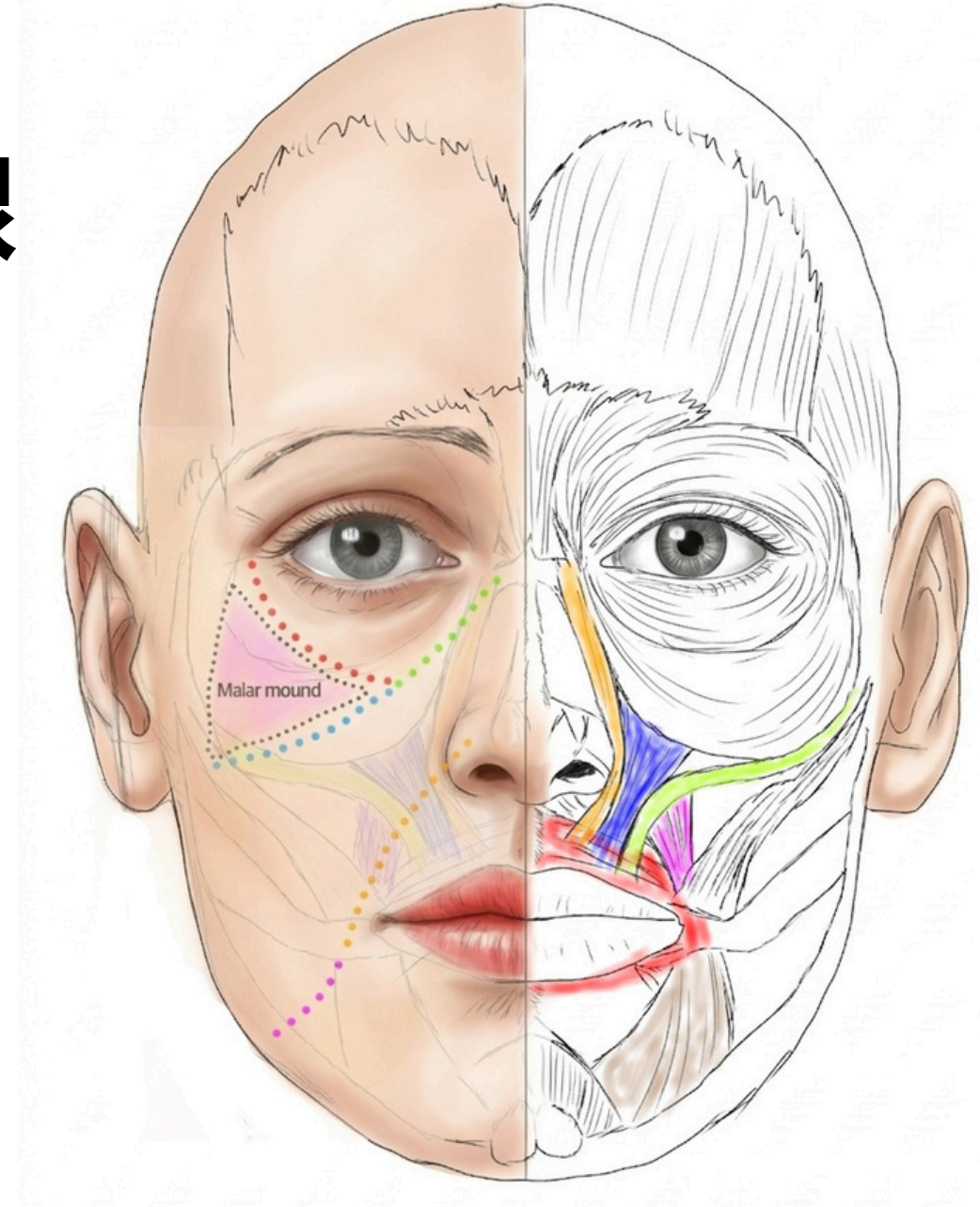


頬外側⇒マリオネットライン

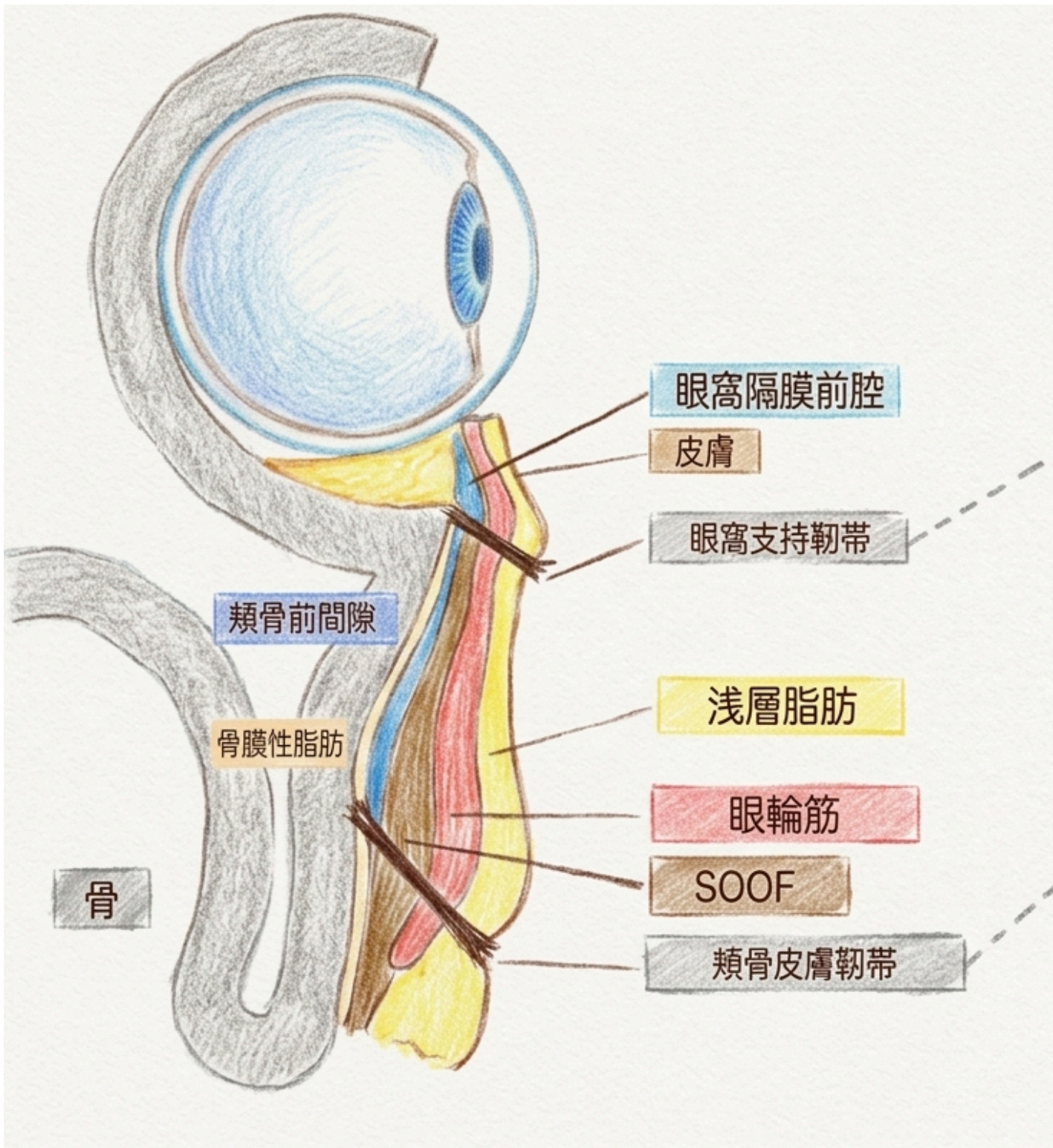
④ nasolabial fold:ほうれい線



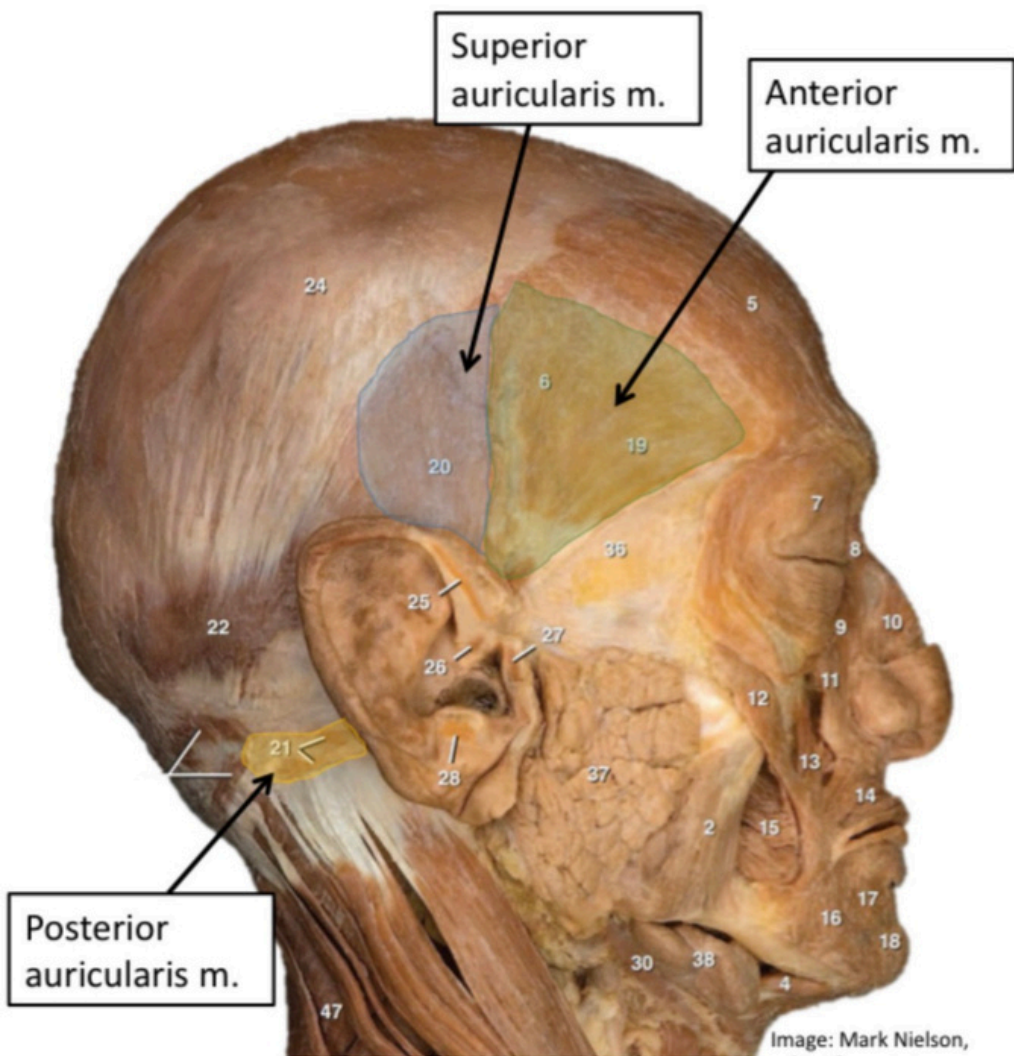
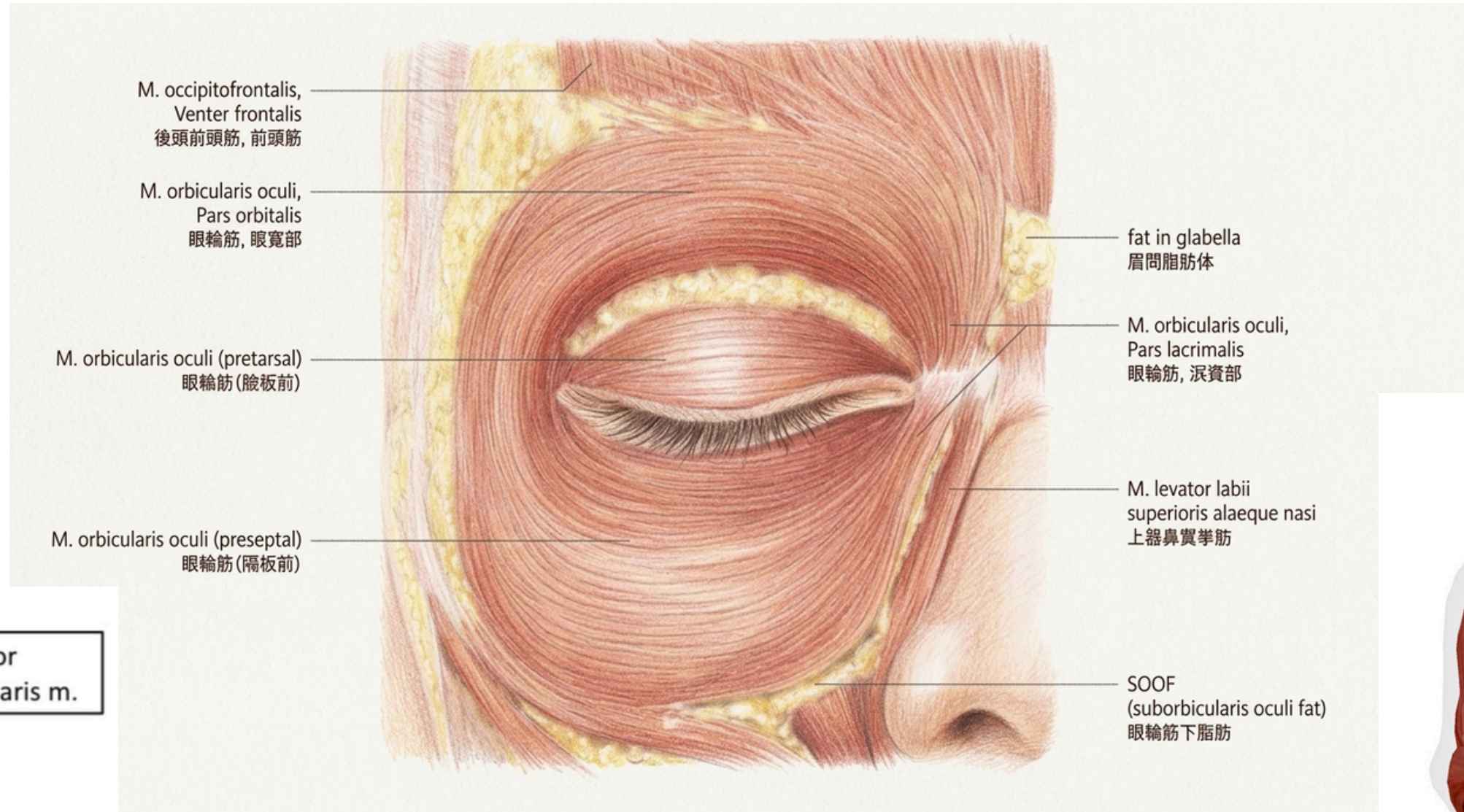
頬外側⇒マリオネットライン



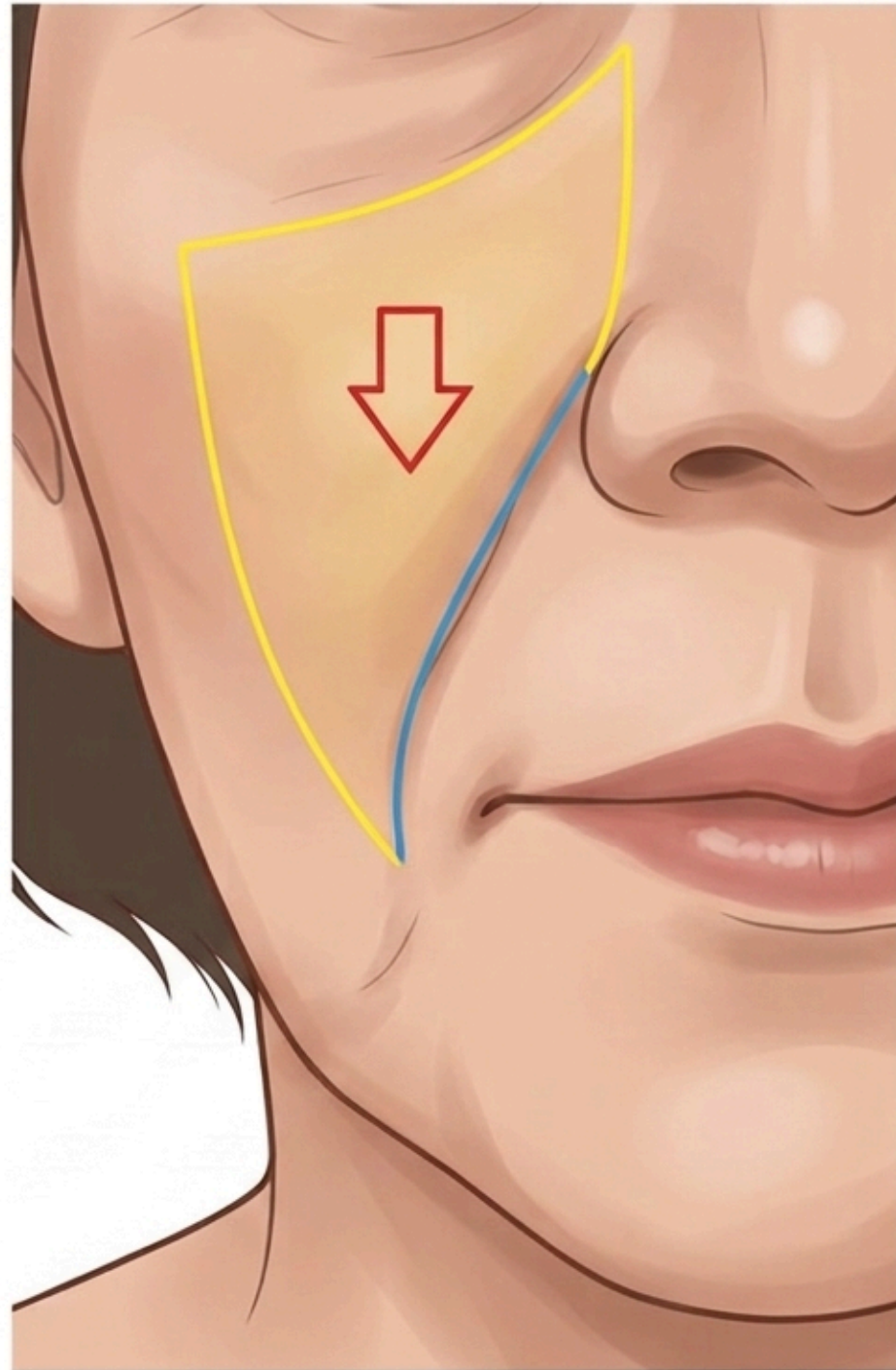
目のたるみをまとめると



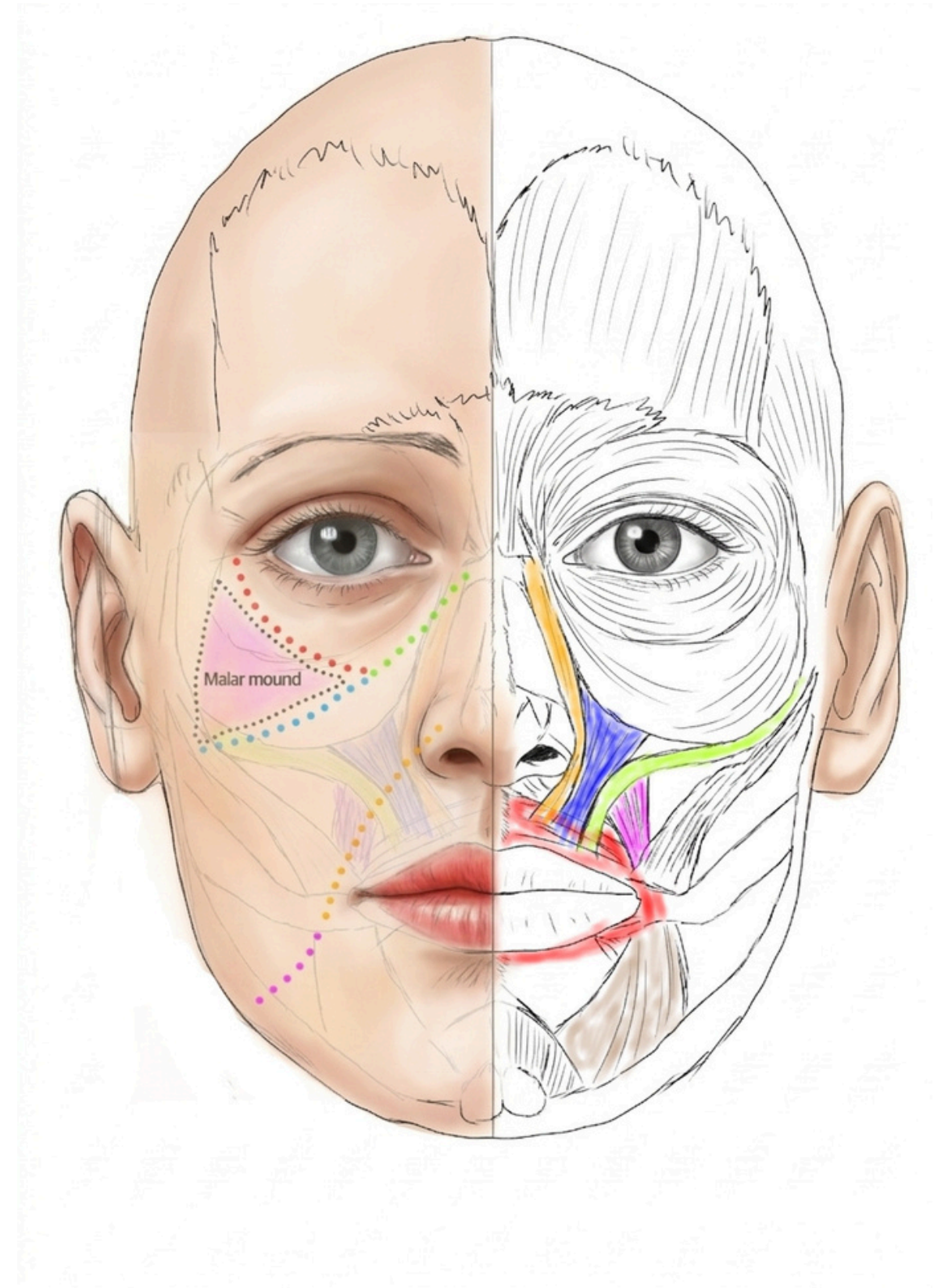
目のたるみに何ができるか？パート2



ほうれい線のポイント



頬内側のたるみ⇒ほうれい線

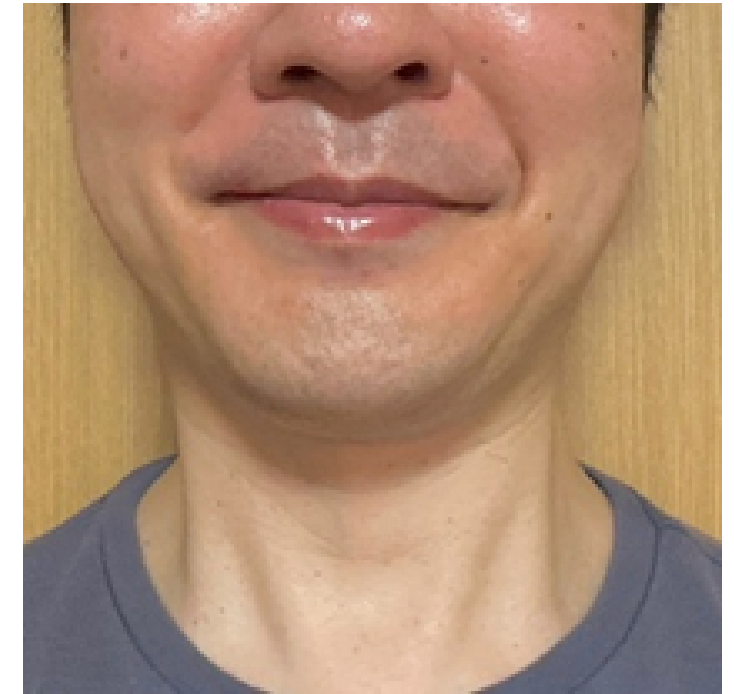


いろいろなほうれい線

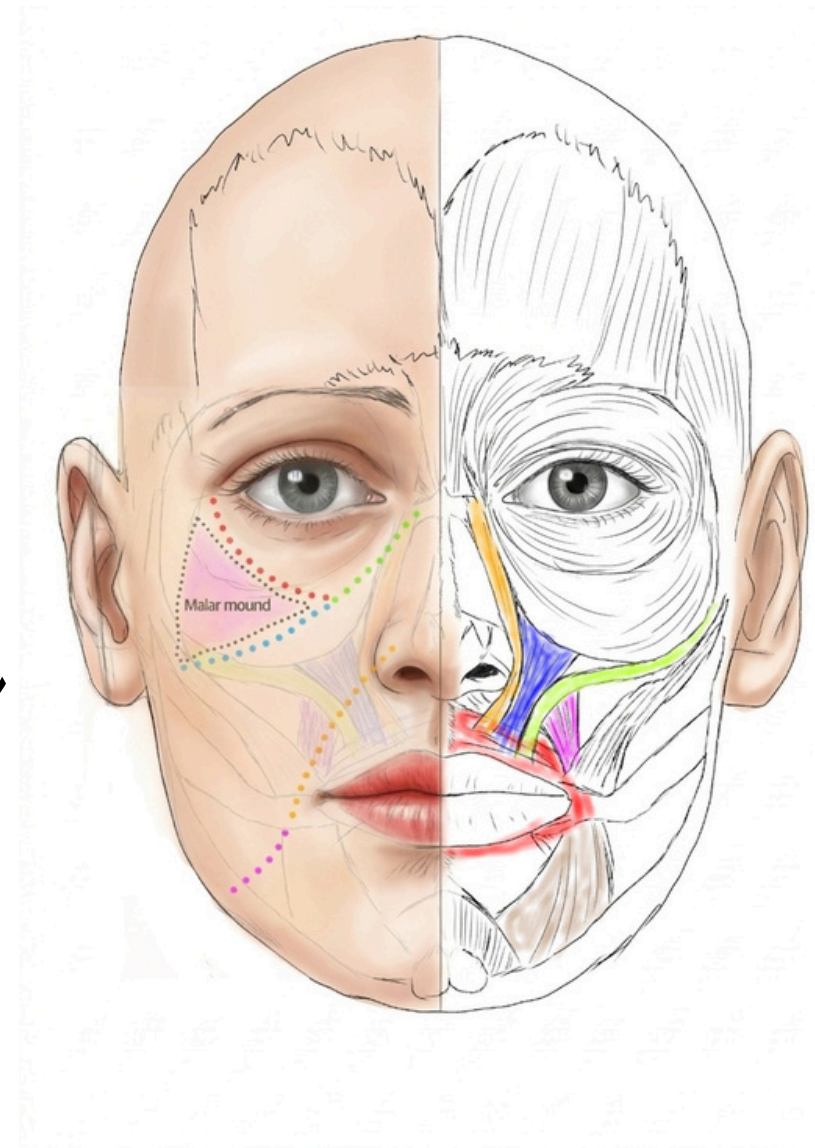
パターン①頬骨筋パターン



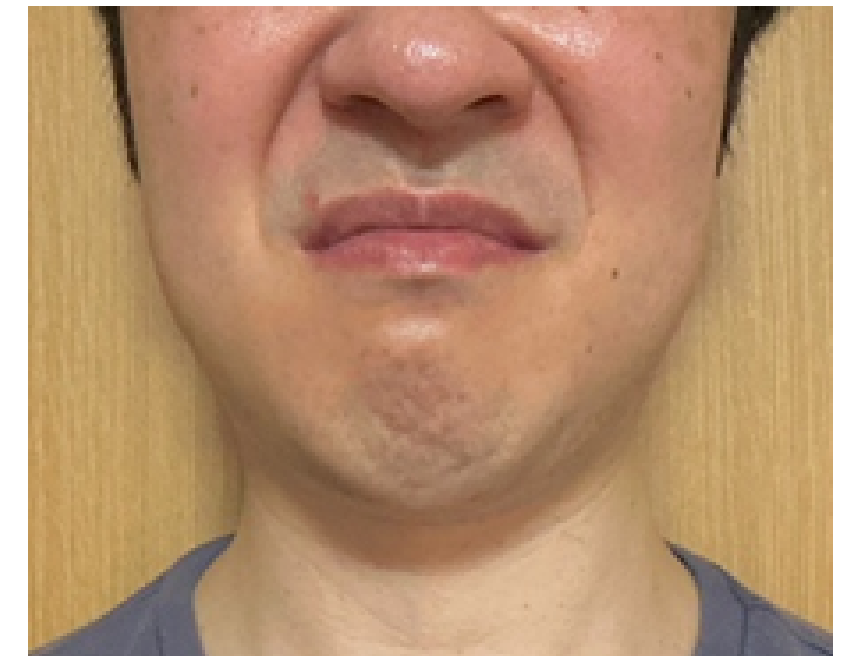
パターン②喰いしばり、咬筋、笑筋パターン



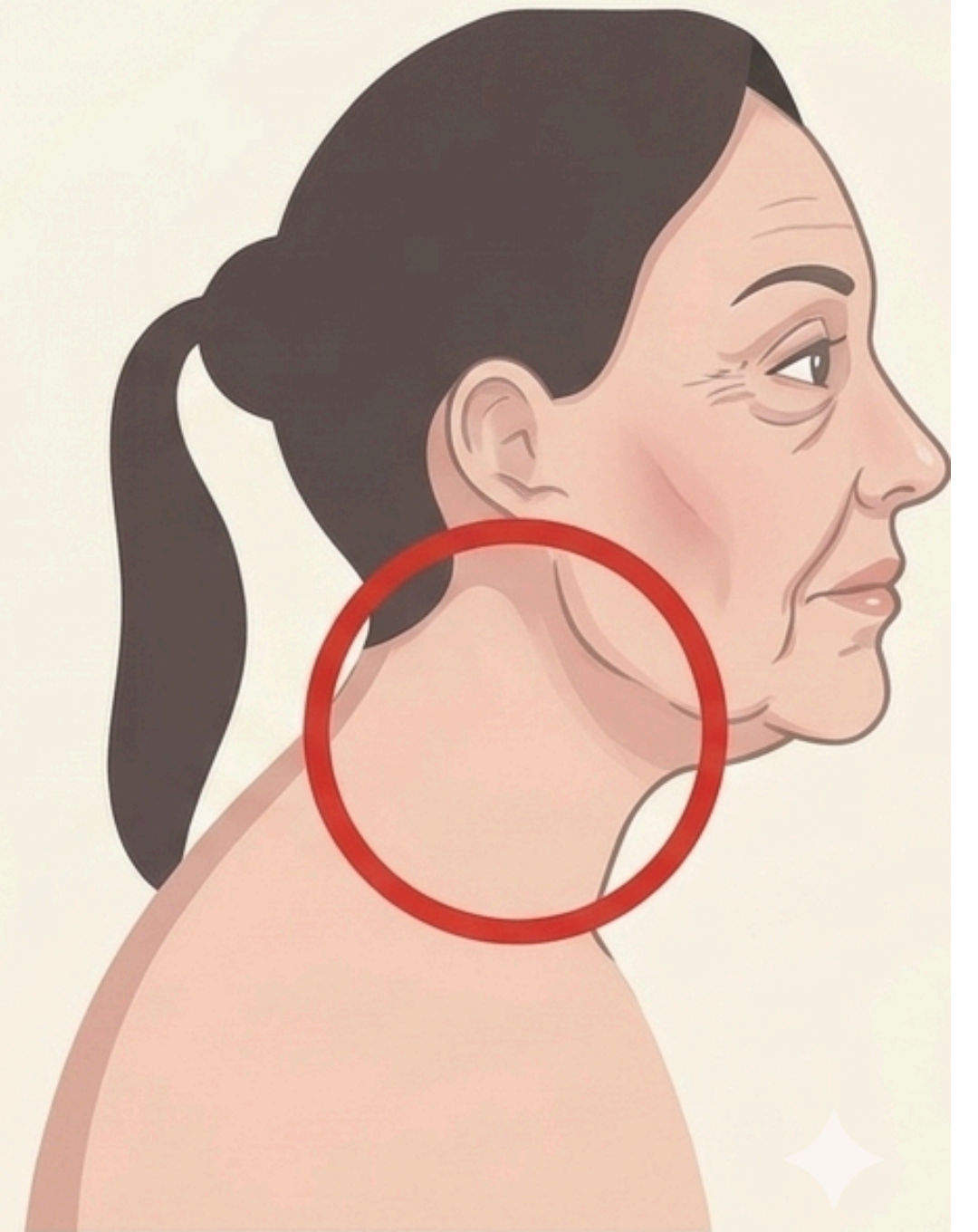
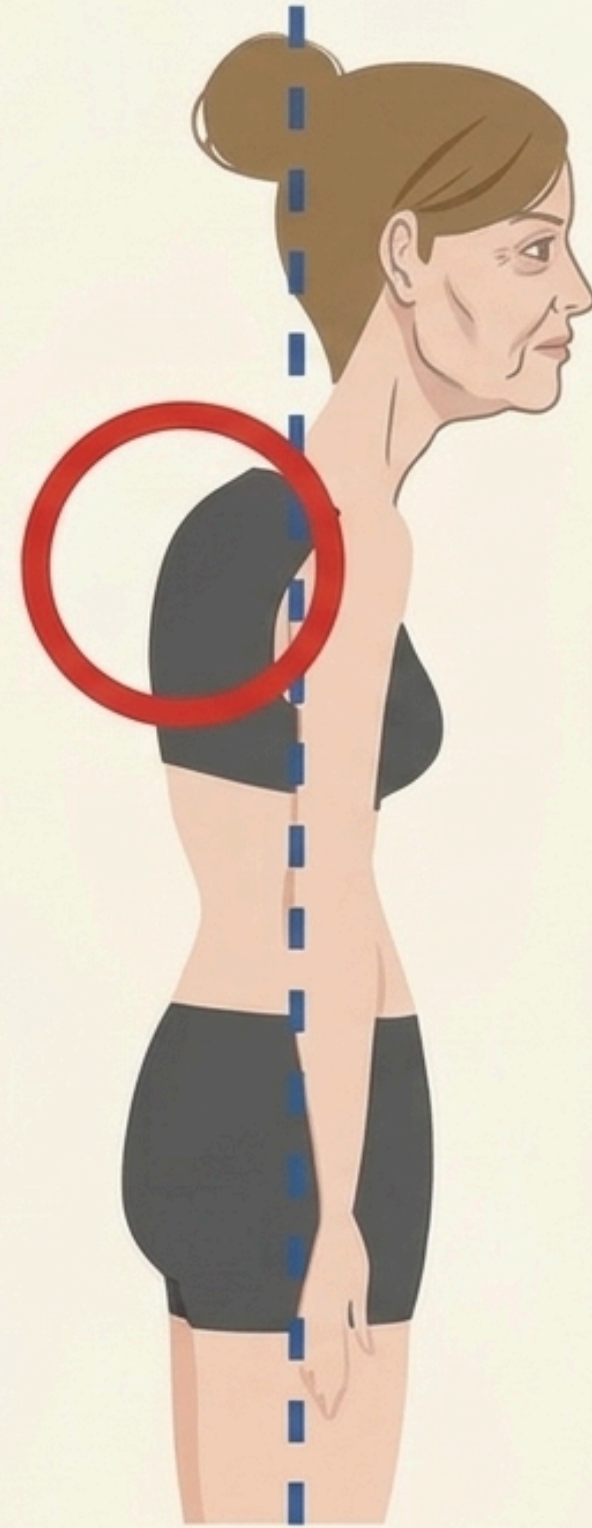
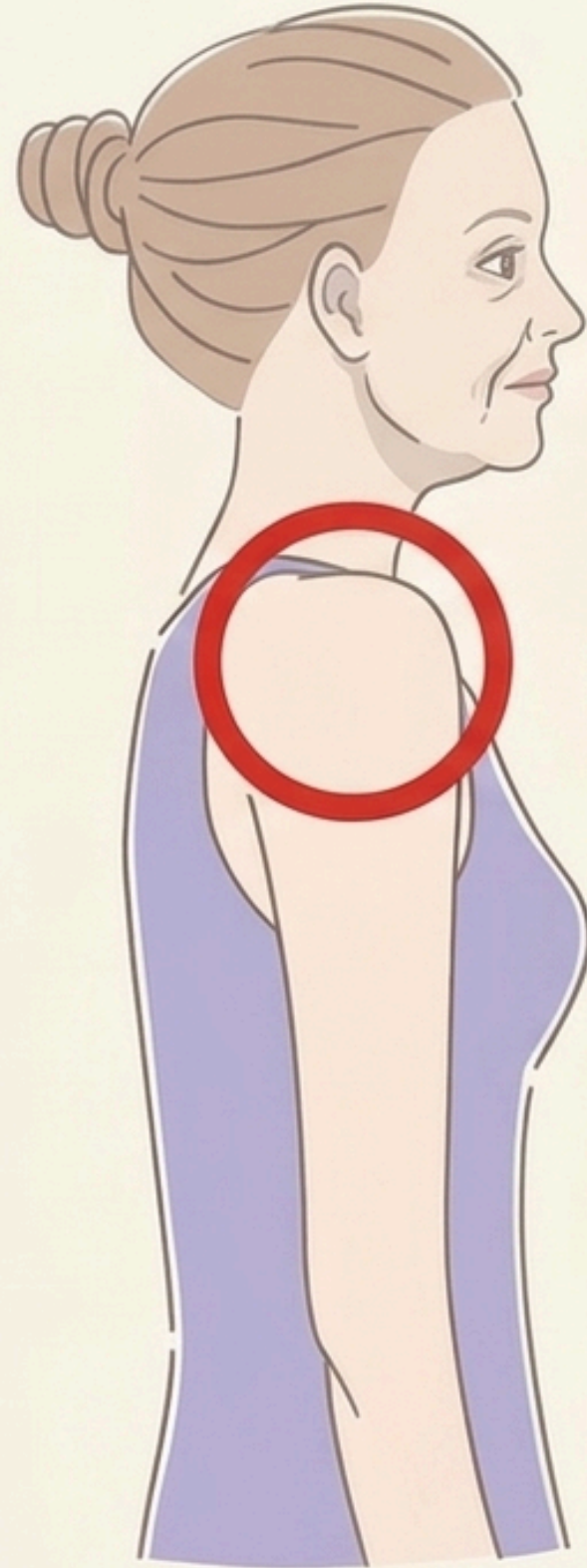
パターン③口角下制筋パターン



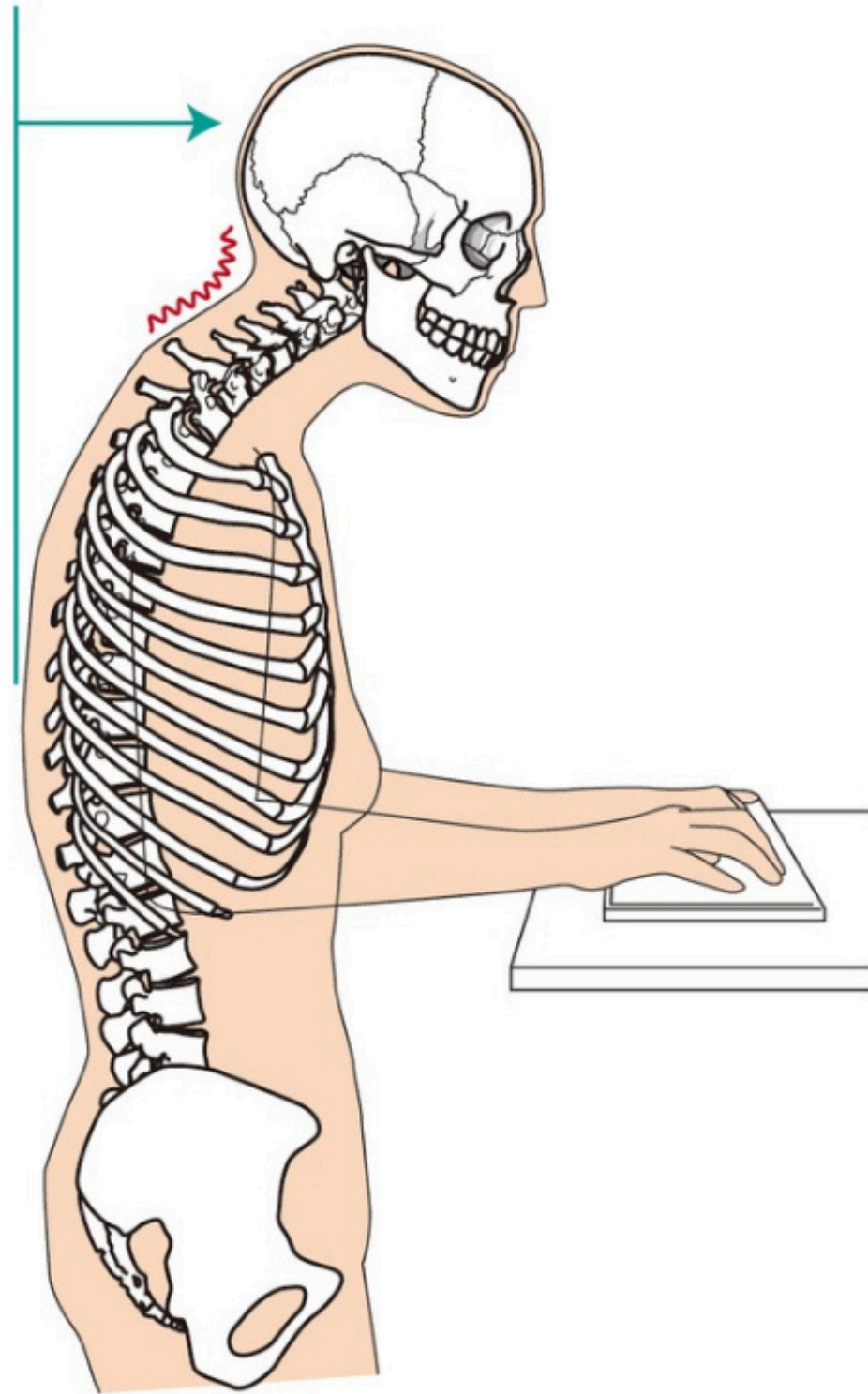
パターン④上唇鼻翼挙筋パターン



不良姿勢

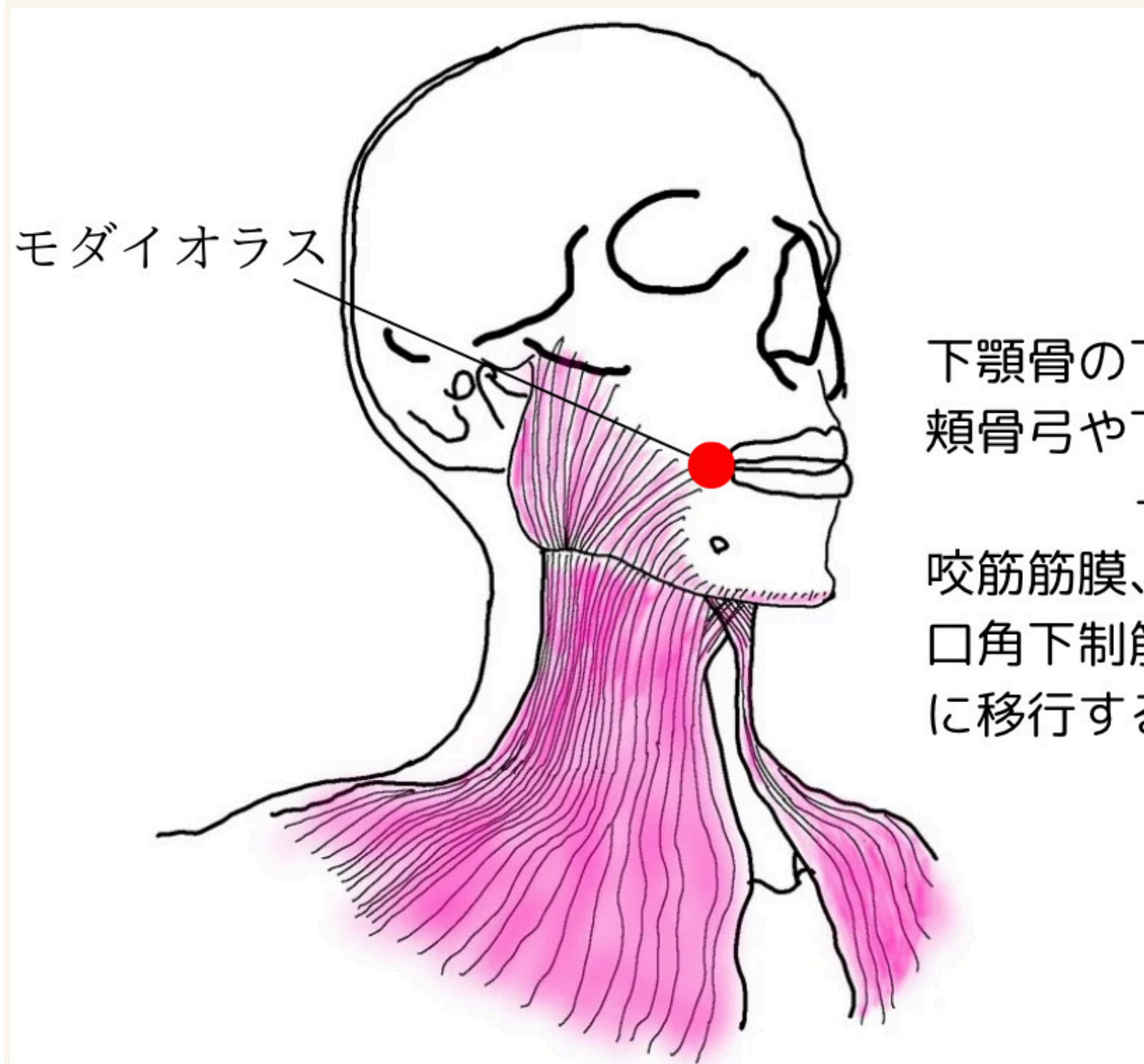


猫背と食いしばり

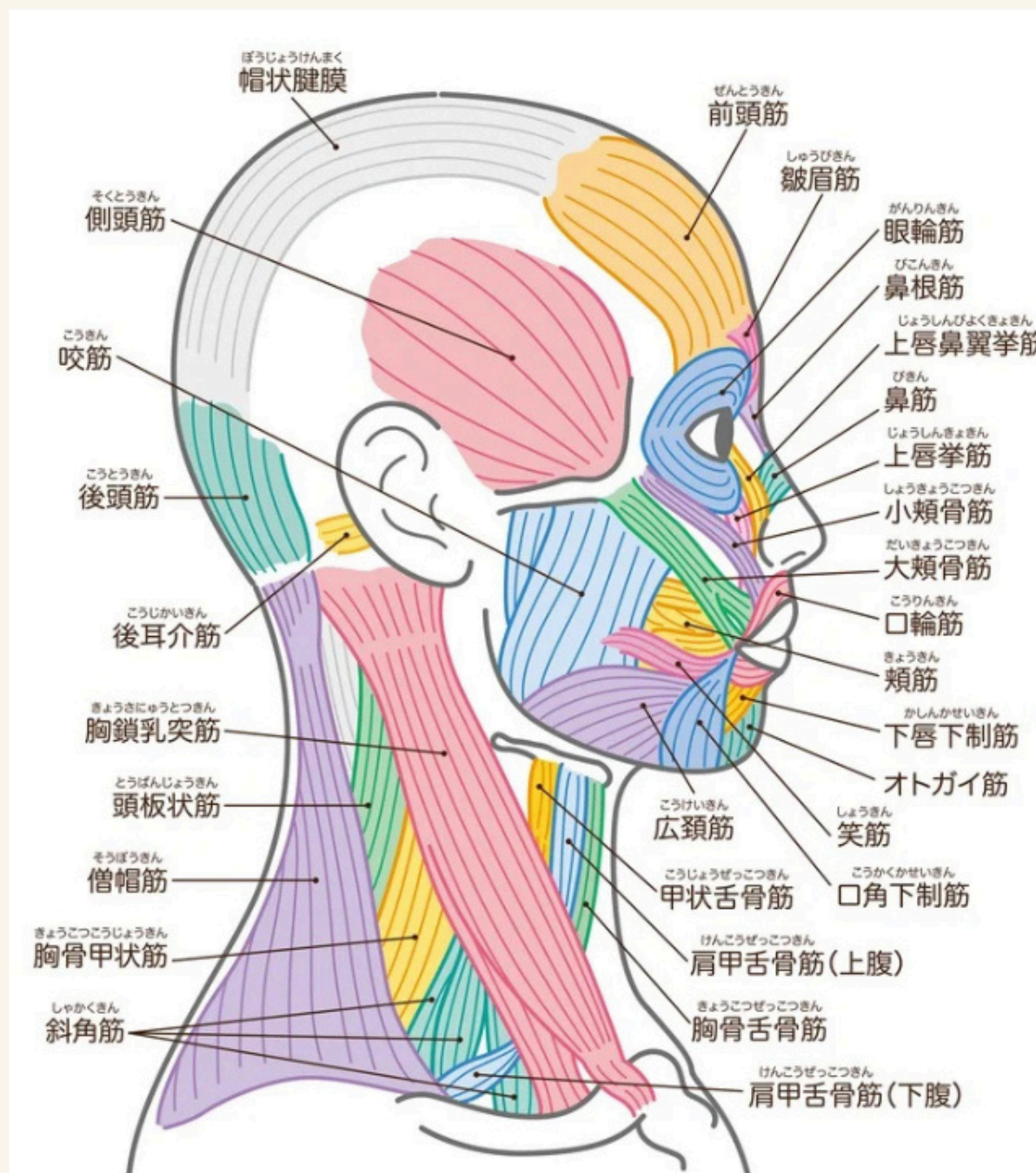


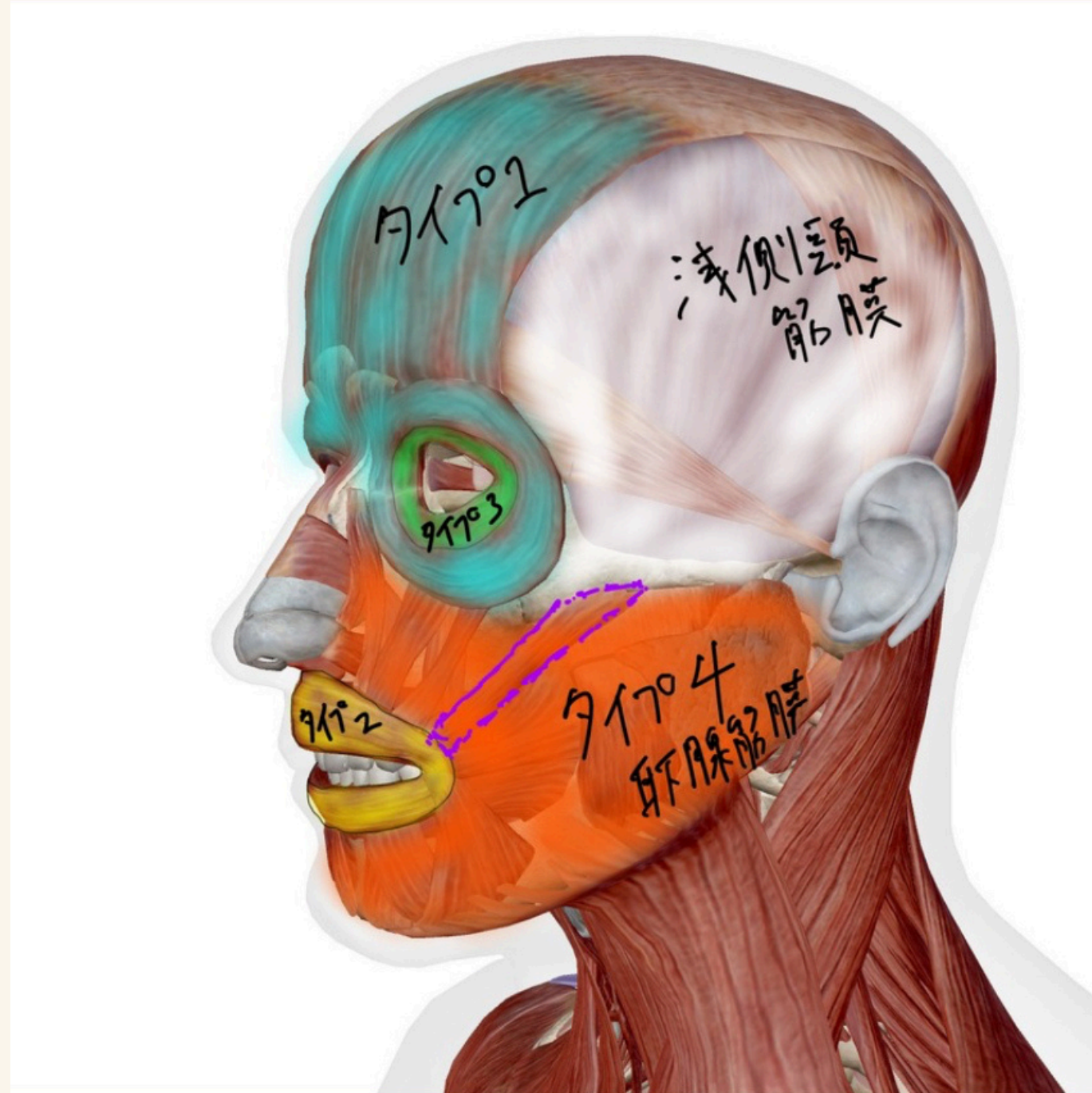
モダイオラスと広頸筋

広頸筋



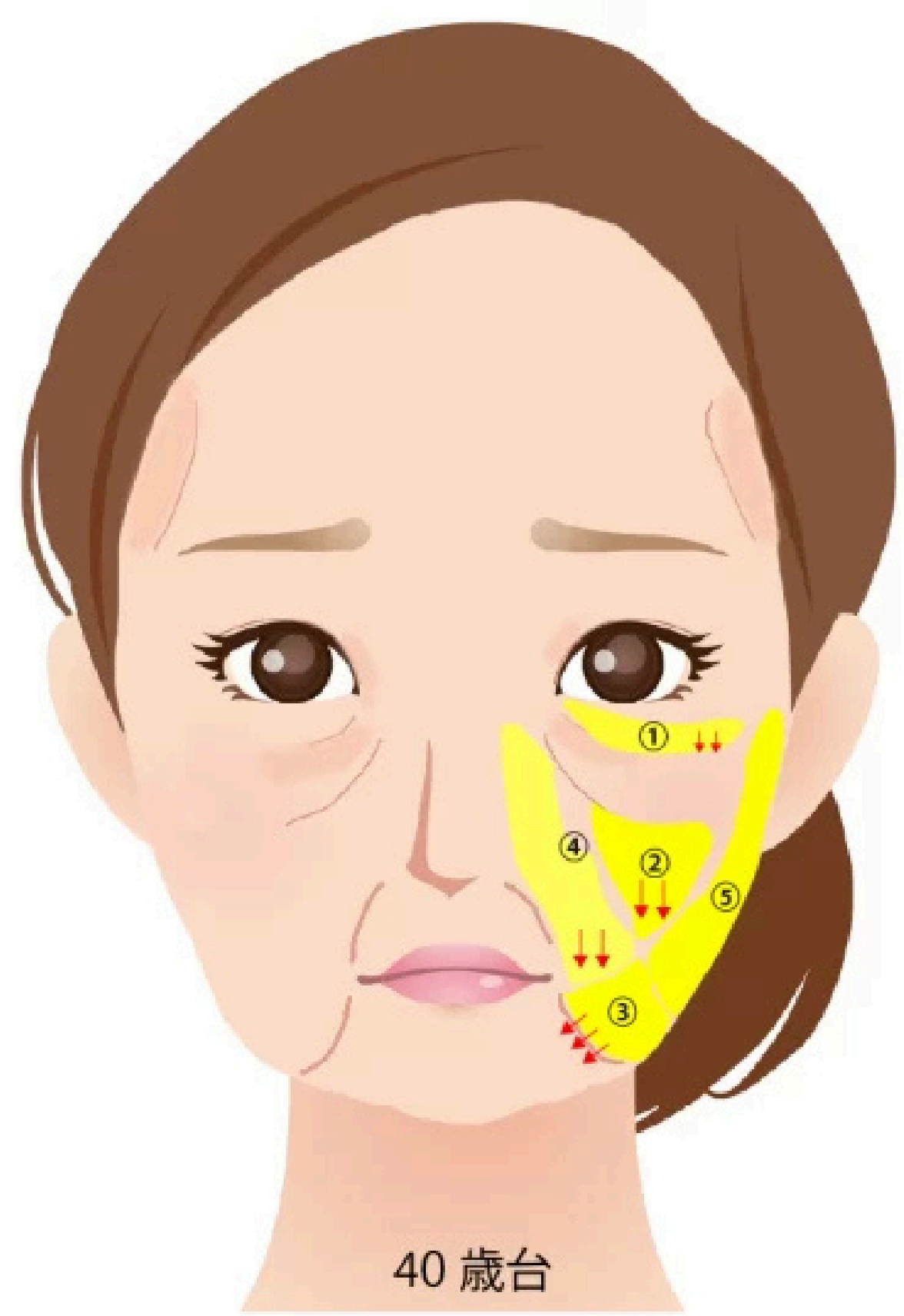
下顎骨の下縁を通り、
頬骨弓や下眼瞼に至る
+
咬筋筋膜、笑筋、
口角下制筋、下唇下制筋
に移行する





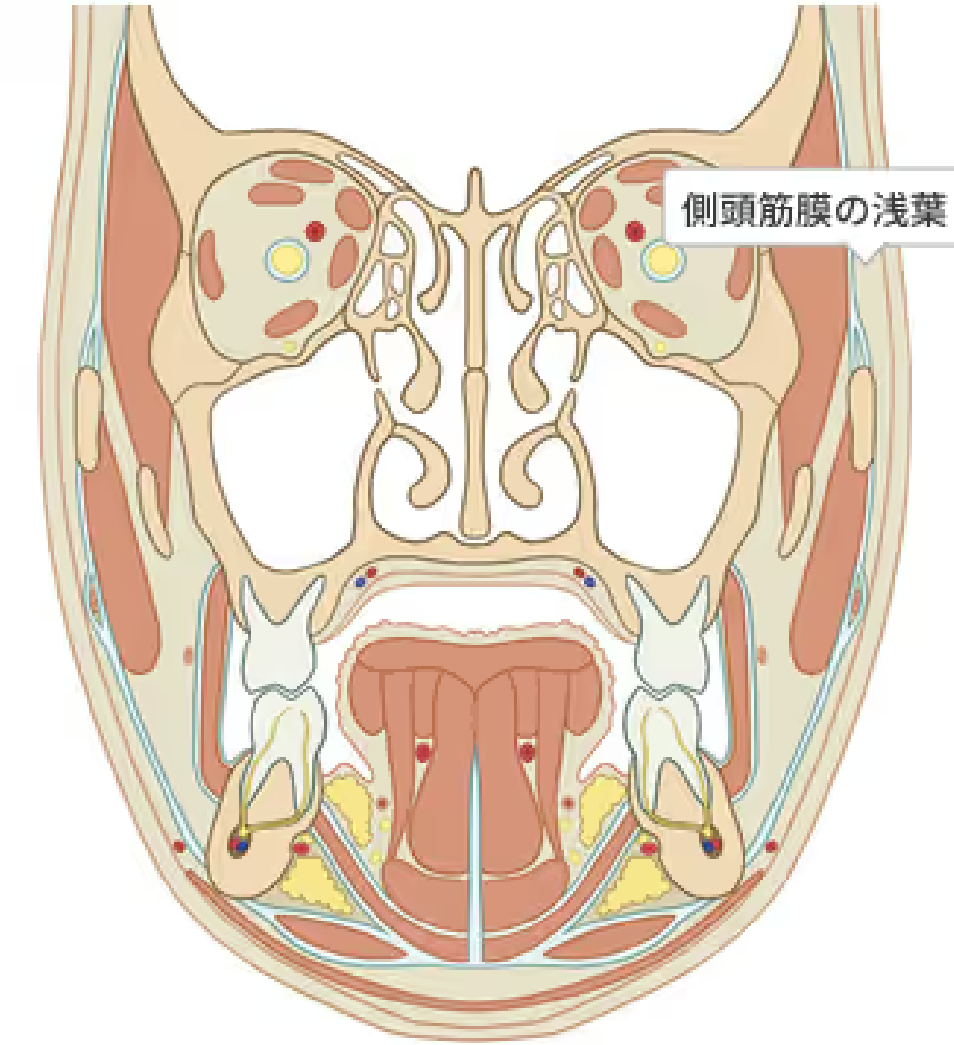
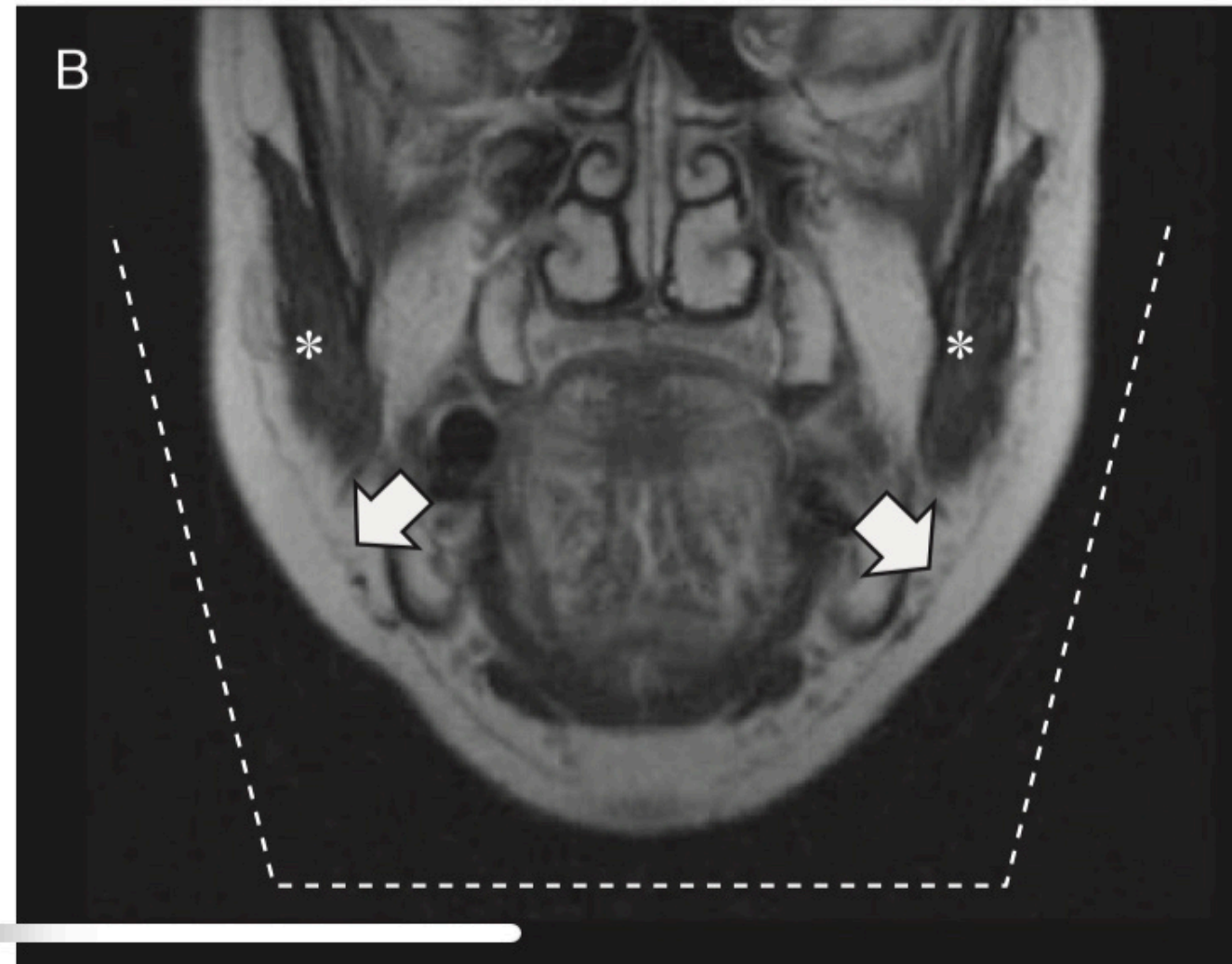
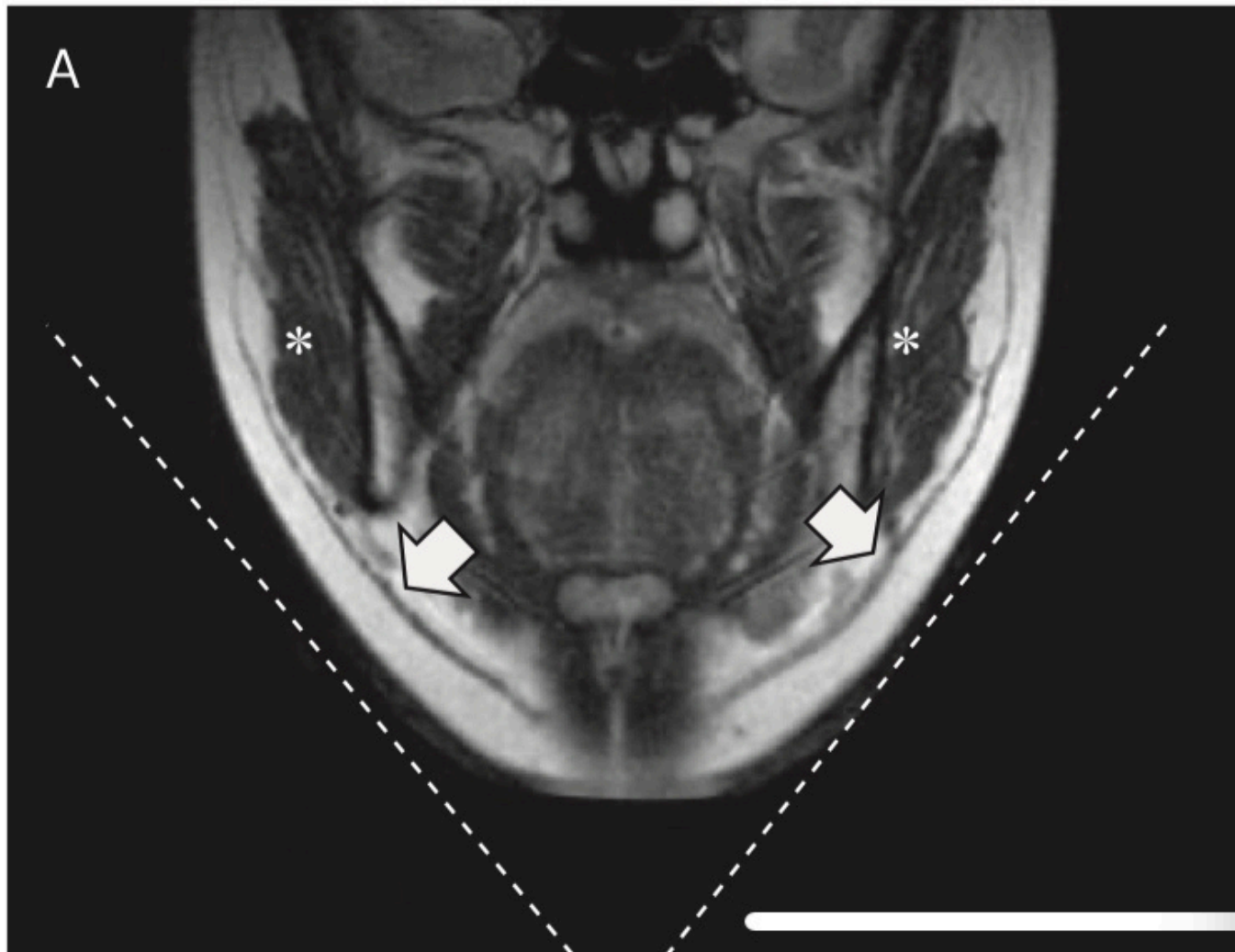


- ① 下眼窩脂肪
- ④ 鼻唇脂肪体

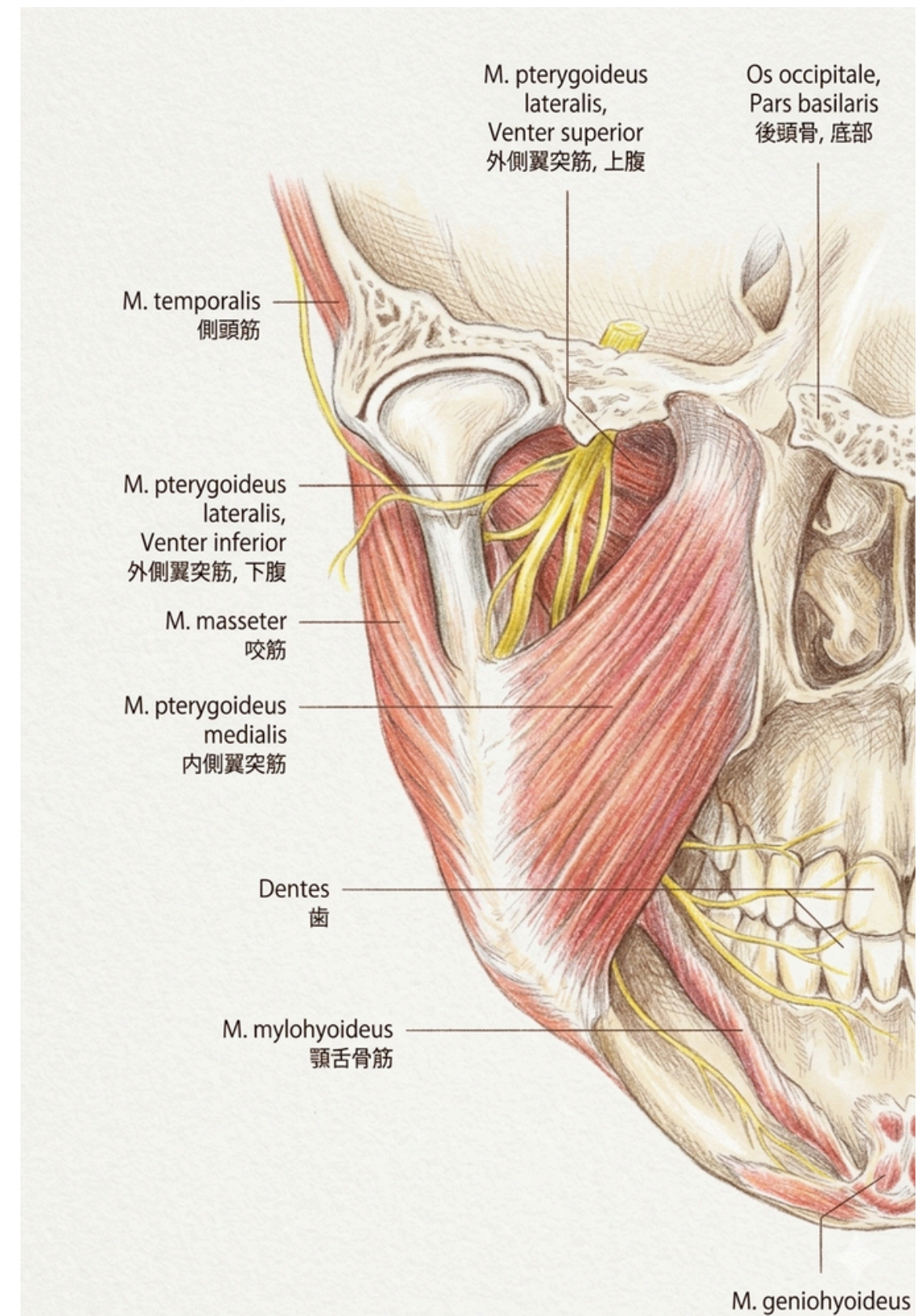
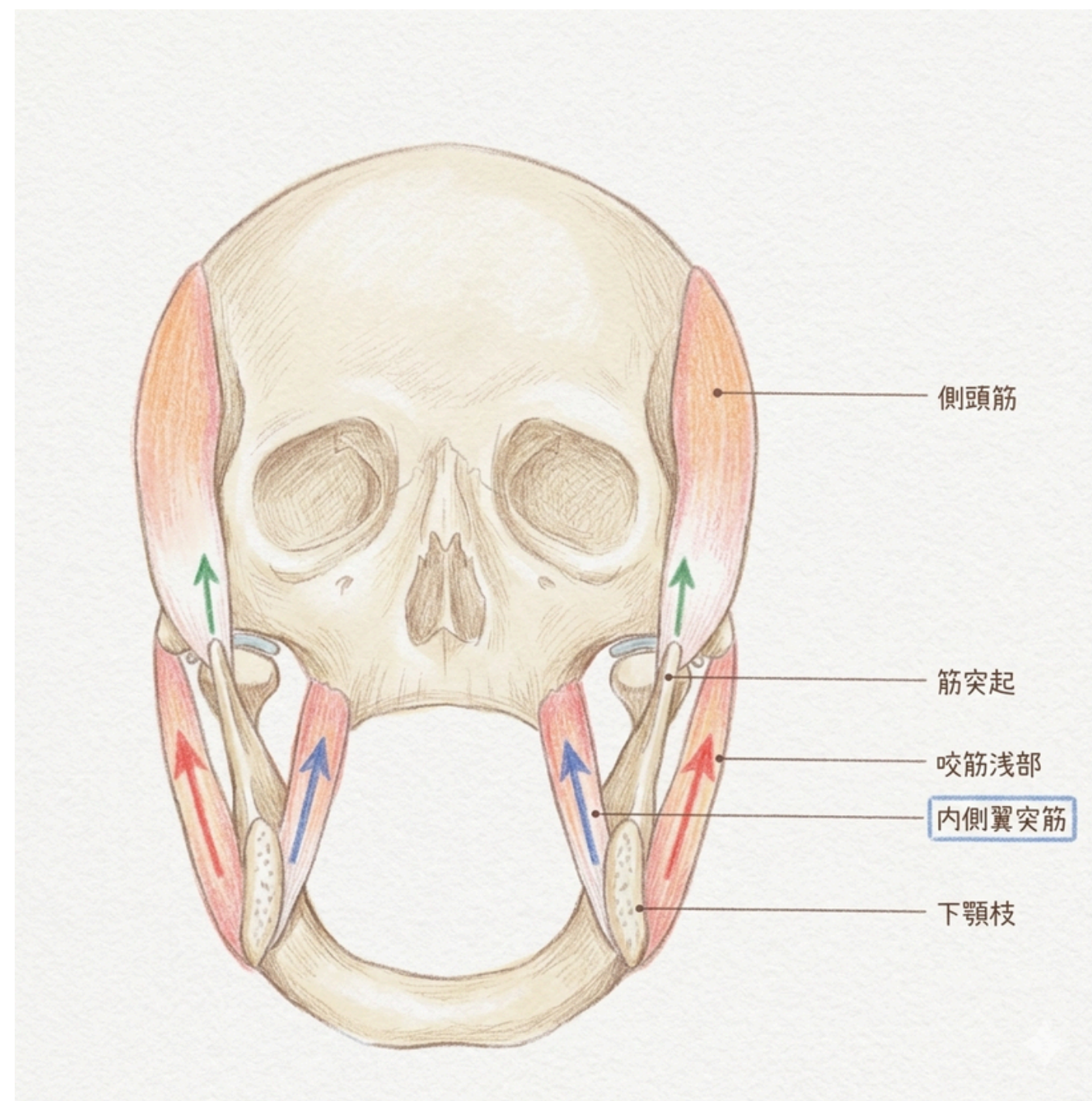
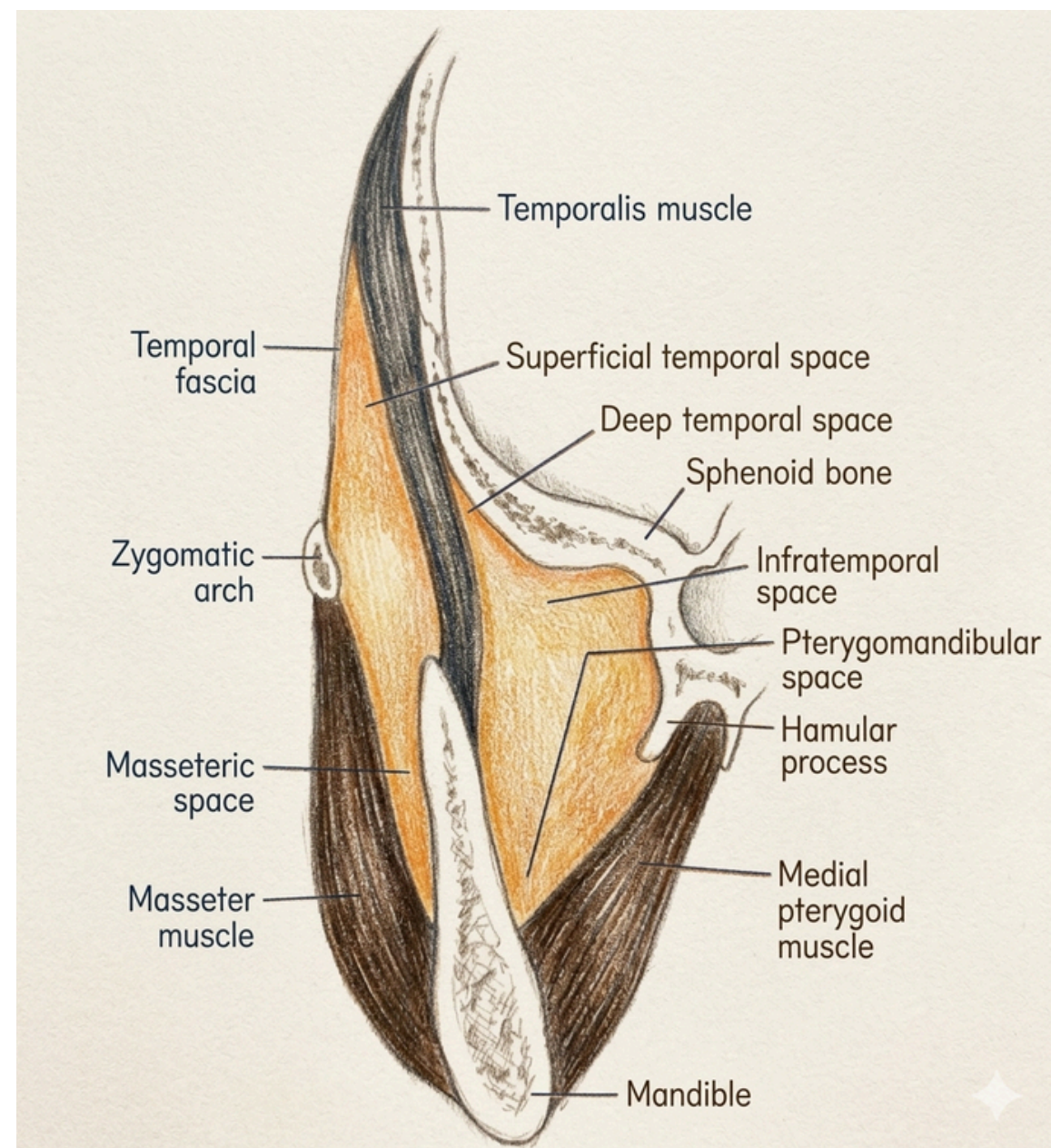


- ② 内側頬部脂肪
- ③ 下顎脂肪
- ④ 頬中間脂肪

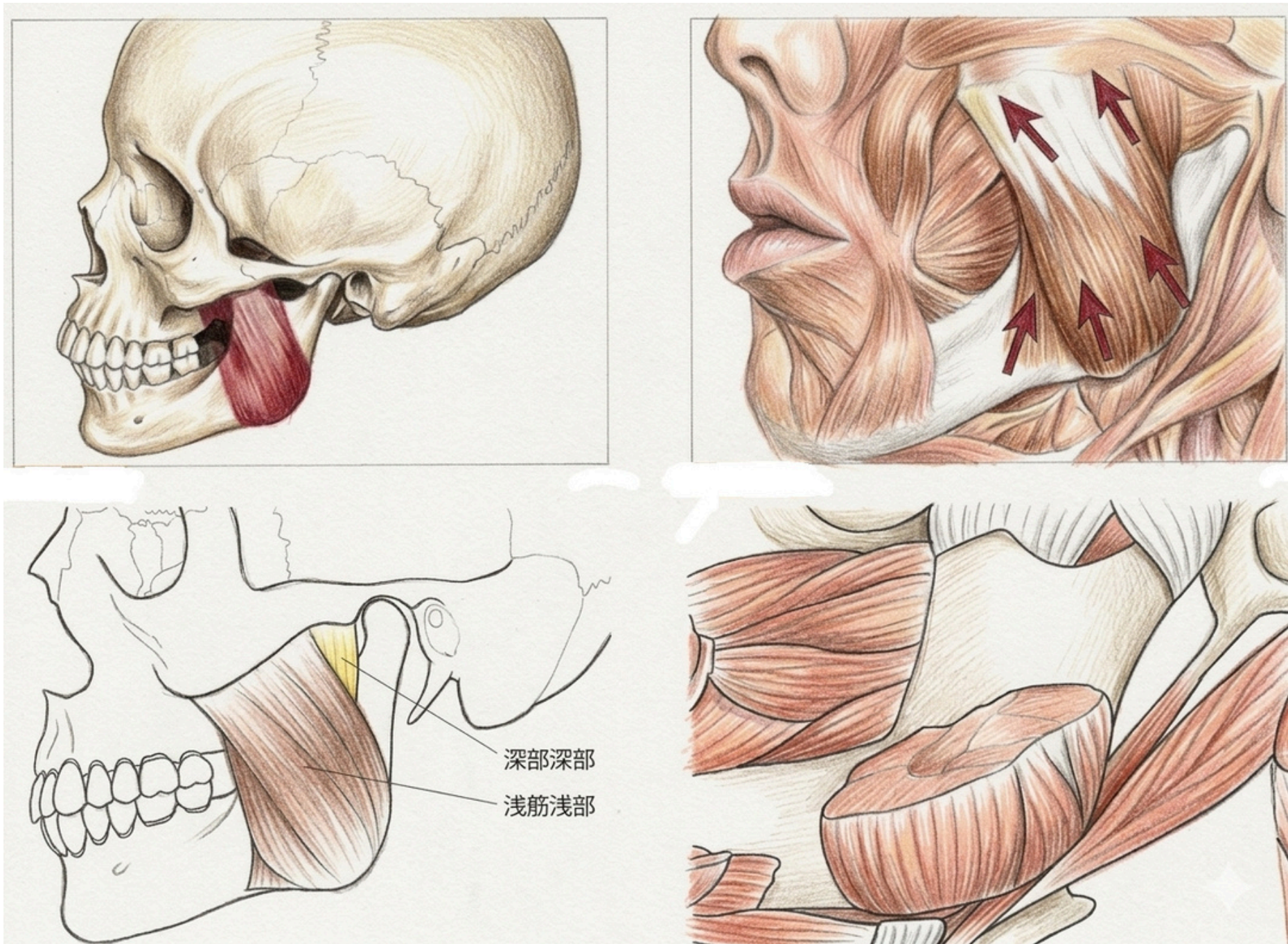
SMASの経年変化



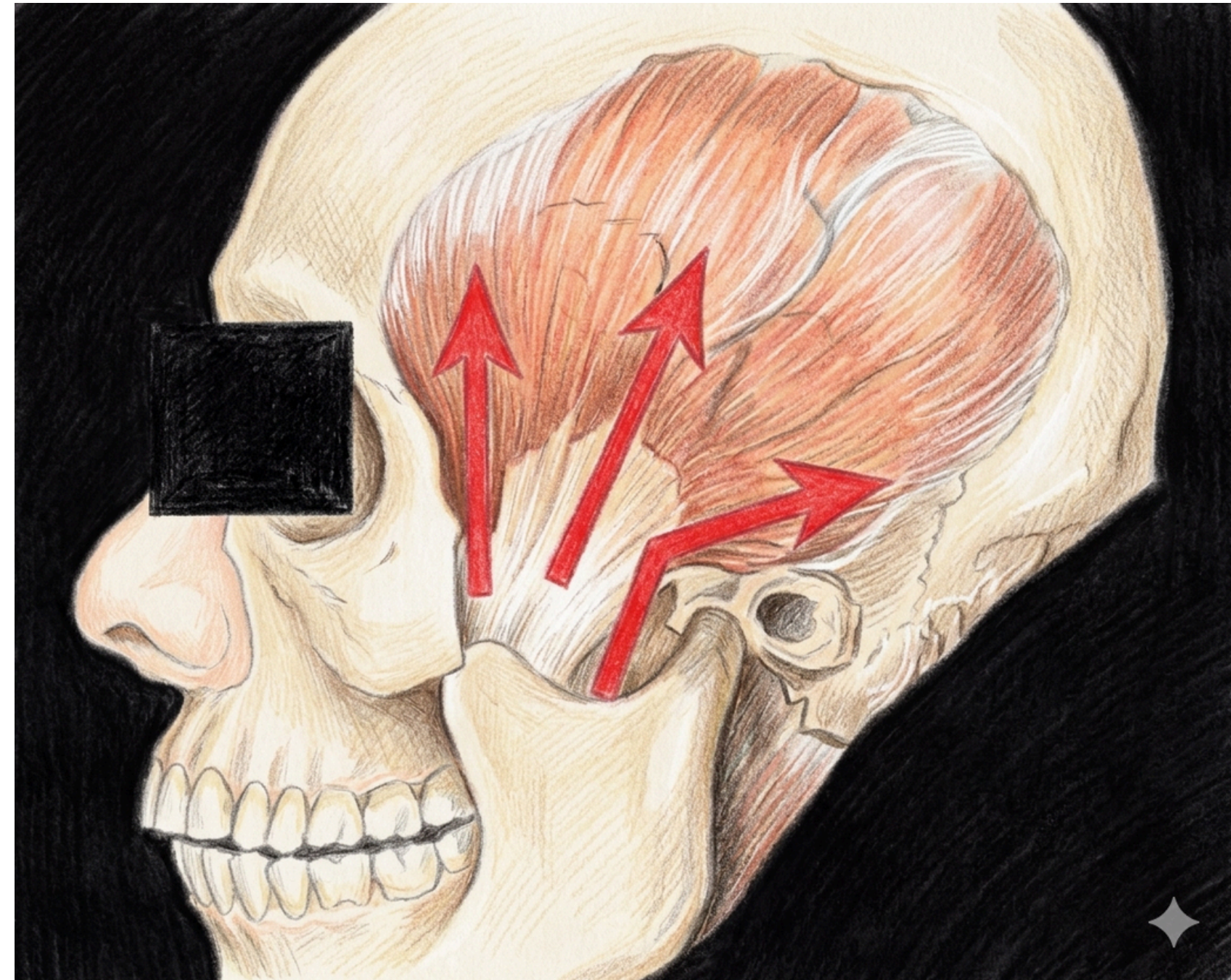
咬筋と内側翼突筋



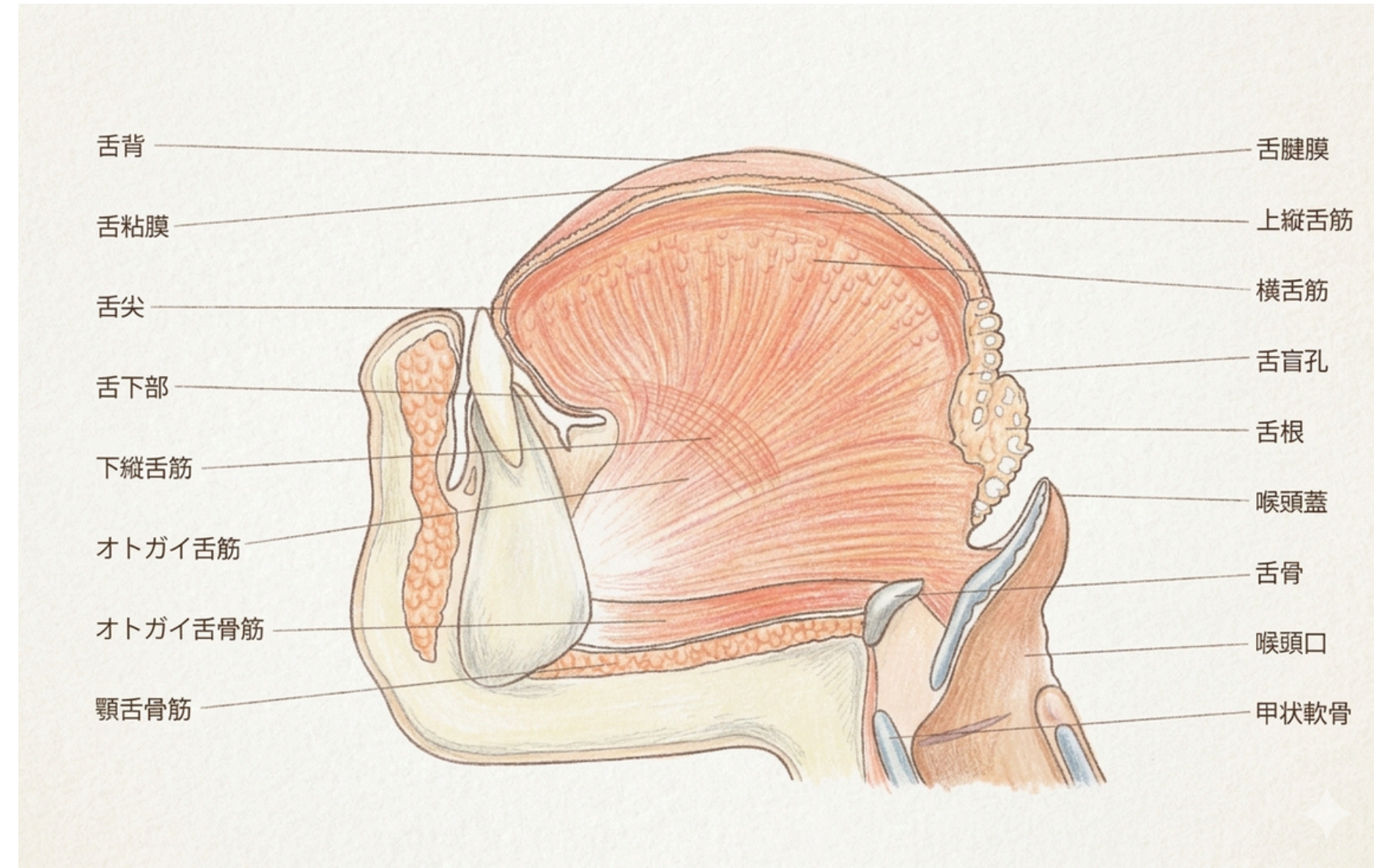
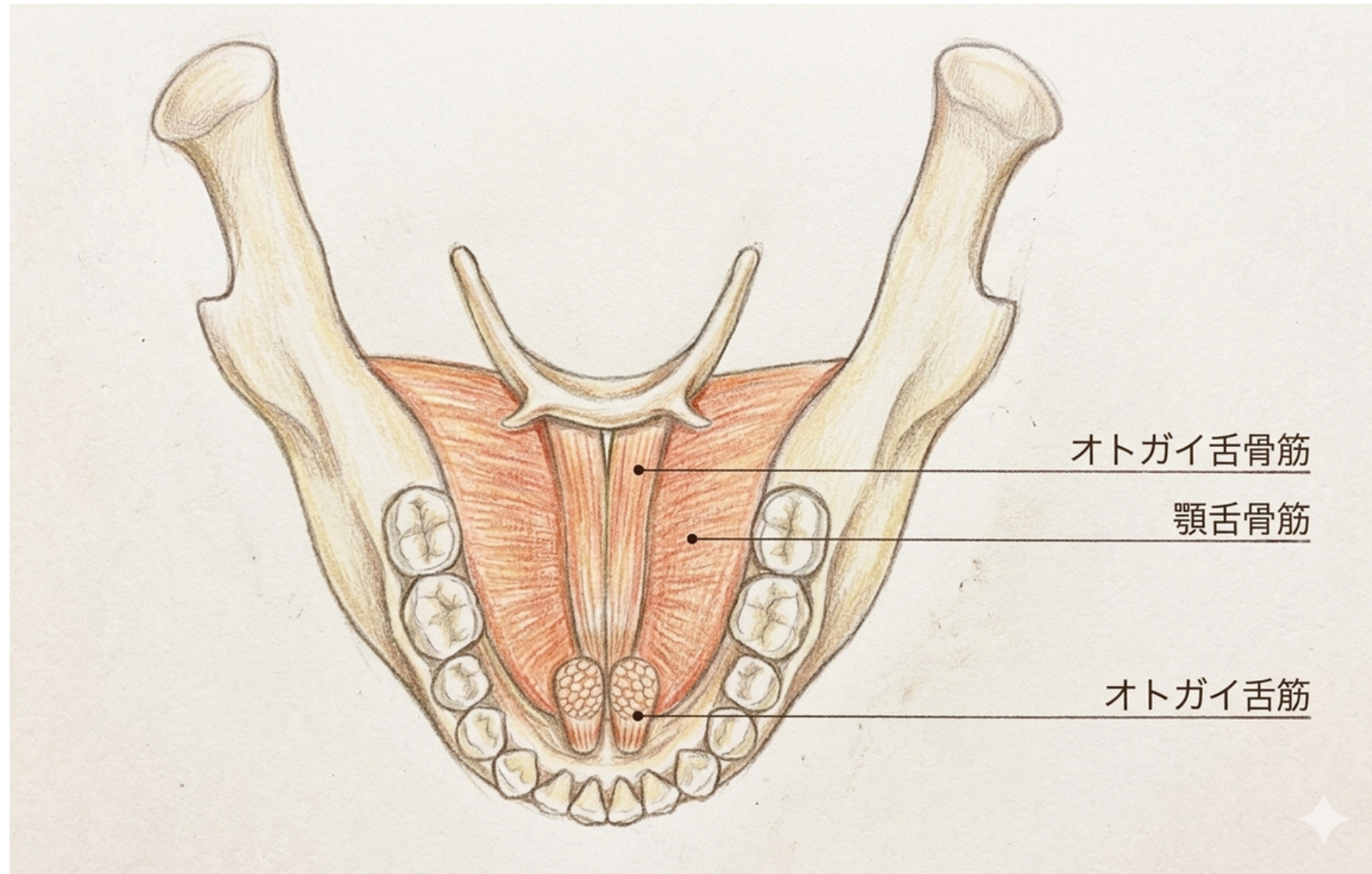
咬筋



側頭筋



口腔底と舌



ほうれい線にできること

